

秋葉区地域カルテ

- 新津第一中学校区 . . . 1
- 新津第二中学校区 . . . 1 1
- 新津第五中学校区 . . . 2 1
- 小合中学校区 . . . 3 3
- 金津中学校区 . . . 4 3
- 小須戸中学校区 . . . 5 5

地域カルテ（人口データ）留意事項

H30年8月更新

1. 推計に使用するデータ

○2011年、2016年9月末の住民基本台帳人口を中学校区単位に加工

2. 推計方法

○2016年と5年前の2011年の男女5歳刻み人口を用い、コーホート変化率を求め、その変化率が将来も継続すると仮定し、人口を推計するコーホート変化率法を用いている

○出生率については、20～39歳女性人口に対する0～4歳人口比を用い、その比率が将来も継続すると仮定し、推計

3. コーホート変化率について

○コーホートとは、同期間に出生した集団のこと（このカルテにおいては男女別の5歳刻みの年代）

○2011年に15～19歳だった人は、2016年には20～24歳になっている。15～19歳が20～24歳に移行する際の増減率（コーホート変化率）が将来に渡り継続すると仮定し、男女別で計算し、推計している

	15～19歳	20～24歳
2011	100人	
2016	80人	90人
2021	75人	72人
2026		68人

2011年から2016年のコーホート変化率
 $90/100=0.9$ （10%減少）

2011年から2016年のコーホート変化率を適用し、2021年の20～24歳人口を算出
 $80 \times 0.9 = 72$

【留意点】

- 実際の人口推移と人口推計は、人口規模が小さくなるほどかい離が大きくなる
- 2011年から2016年に人口が大幅に増えた中学校区では、将来もその増加率がそのまま適用され、実際にはこの傾向が継続しないことが想定されるため、実際の人口推移とのかい離が特に大きくなる。（例：大規模な住宅開発など）
- 外国人登録法廃止・住民基本台帳法改正の施行により2012年7月以降の住民基本台帳人口には外国人が含まれている
- 複数区にまたがっている中学校区は原則、人口が多い区に分類する
- 校区情報が設定されていない住基データ（校区不明者）があり、中学校区の合計と区の合計が一致しない
- 推計した男女年齢階層別の人口は小数点を四捨五入していることから、総数と一致しない場合がある

新津第一中学校区 地域カルテ

秋葉区

H30年8月更新

I.地域の基礎データ

1.中学校区の概要

新津駅を中心とした市街地を形成する人口集中地区です。地域内には、新津地域交流センターがあり、地域コミュニティ活動の拠点として利用されています。

新津中央地区は、秋葉区の中心部に位置し、新津駅前の新津中央商店街と、それを囲む地域です。また広大な新津丘陵の代表的な秋葉公園と、豊かな自然に囲まれた閑静な地域です。電車とバスの交通機関の利用の便がよく、区内だけでなく市内外からの利用者も多くあります。

新津西部地区は、JR信越本線の新津駅・さつきの駅西側の地域が範囲となっています。JRグループの(株)総合車両製作所新津事業所の鉄道車両製造工場や、ばんえつ物語号のJR新津運輸区のS L 保管管理工場も西部地区内にあります。昔は農地が多い地域でしたが、新しい宅地開発や大型ショッピングエリアの造成出店も進み、住宅数も年々増え続け、ここ10年で約1,000世帯増。今では4,600世帯を超えています。

コミュニティ協議会※

新津中央コミュニティ協議会

新津西部コミュニティ推進協議会

小学校

新津第一小学校

新津第三小学校

※中学校区の区域とコミュニティ協議会の区域は必ずしも一致しない。

位置図



新津第一中学校区

Ⅱ.人口

1.人口・世帯数(住民基本台帳)

	総数	男	女	0～14歳	15歳～64歳	65歳以上	うち75歳以上	世帯数	1世帯当たり 世帯人員
								(人)	(世帯)
2011年	21,742	10,305	11,437	2,724	13,248	5,770	3,306	8,254	2.63
		47.4%	52.6%	12.5%	60.9%	26.5%	15.2%		
2016年	21,844	10,368	11,476	2,809	12,660	6,375	3,369	8,737	2.50
		47.5%	52.5%	12.9%	58.0%	29.2%	15.4%		
増減	102	63	39	85	-588	605	63	483	-0.13
	0.5%	0.6%	0.3%	3.1%	-4.4%	10.5%	1.9%		

2.人口推計

	総数	男	女	0～14歳	15歳～64歳	65歳以上	うち75歳以上
2021年	21,758	10,356	11,403	2,852	12,288	6,618	3,387
		47.6%	52.4%	13.1%	56.5%	30.4%	15.6%
2026年	21,498	10,260	11,238	2,753	12,189	6,556	3,764
		47.7%	52.3%	12.8%	56.7%	30.5%	17.5%
2031年	21,108	10,099	11,010	2,573	12,128	6,407	3,891
		47.8%	52.2%	12.2%	57.5%	30.4%	18.4%
2036年	20,651	9,887	10,764	2,452	11,849	6,350	3,773
		47.9%	52.1%	11.9%	57.4%	30.7%	18.3%
2016-2036	-1,193	-481	-712	-357	-811	-25	404
増減	-5.5%	-4.6%	-6.2%	-12.7%	-6.4%	-0.4%	12.0%

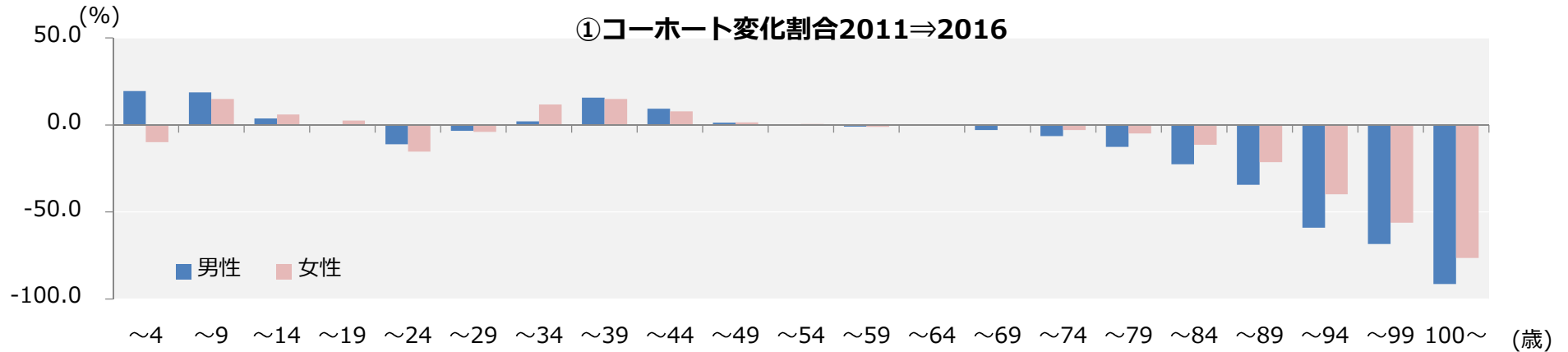
○人口は、2016年の21,844人から2036年には20,651人と5.5%減少する。

○老年人口は、2021年に6,618人でピークを迎え、その後減少していくが、老年人口割合は29.2%から30.7%に増加する。

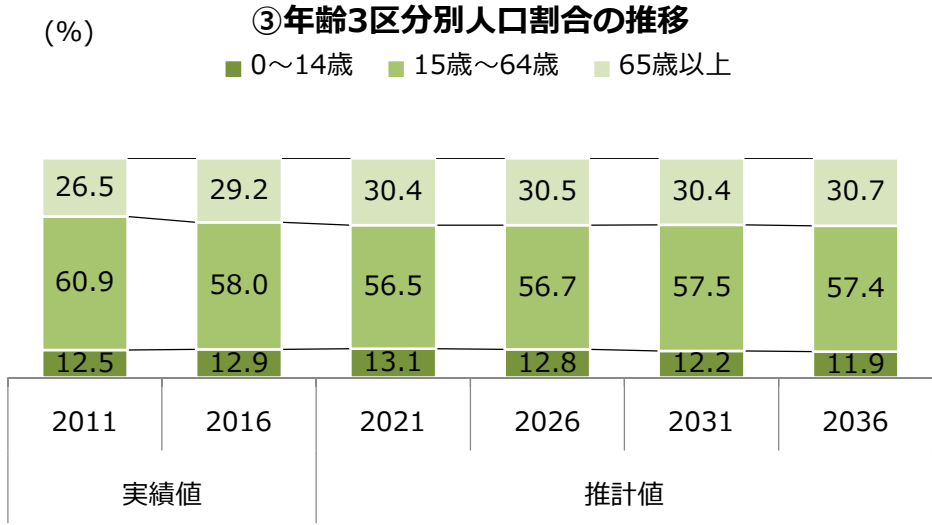
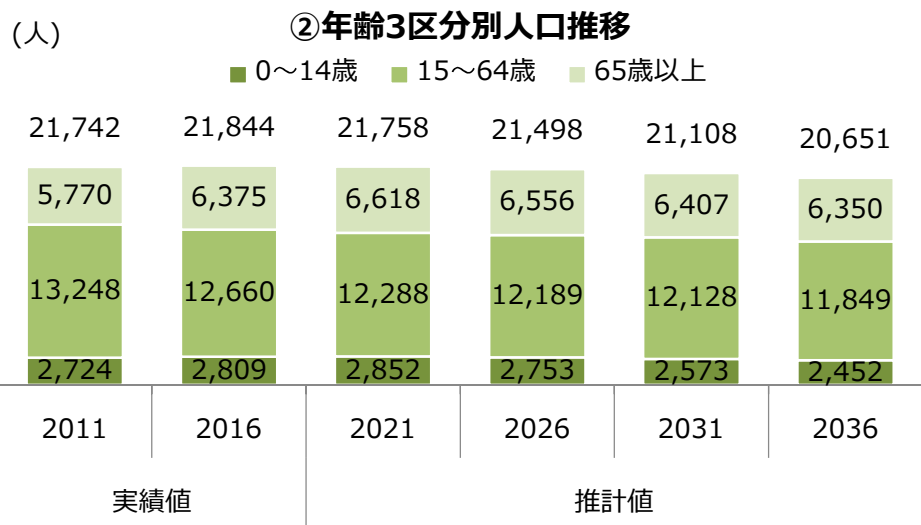
○年少人口は、2016年の2,809人から2036年には2,452名となり、12.7%減少する。

○生産年齢人口は、2016年の12,660人から2036年には11,849人となり、6.4%減少する。

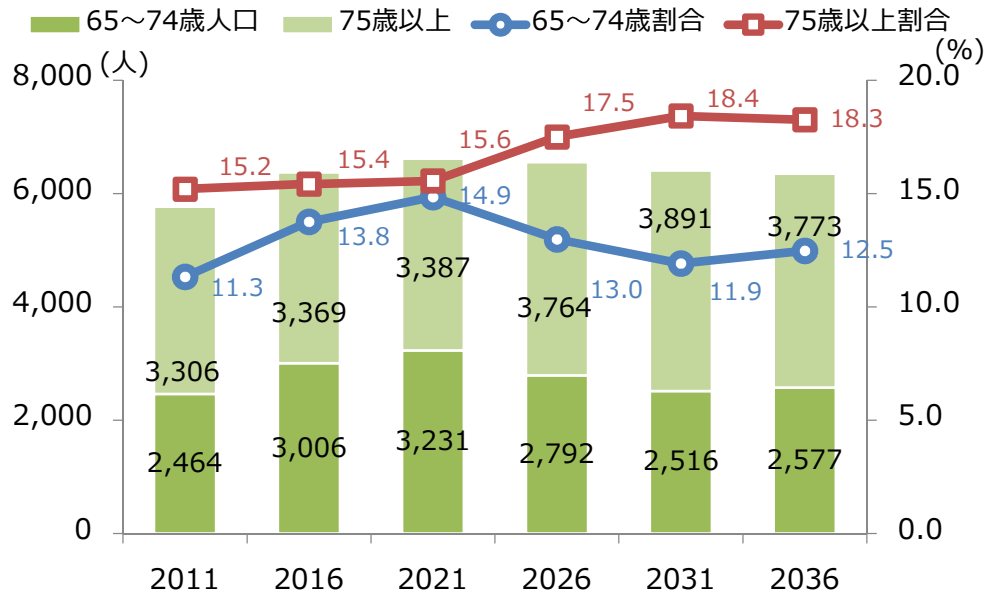
3.人口推計グラフ



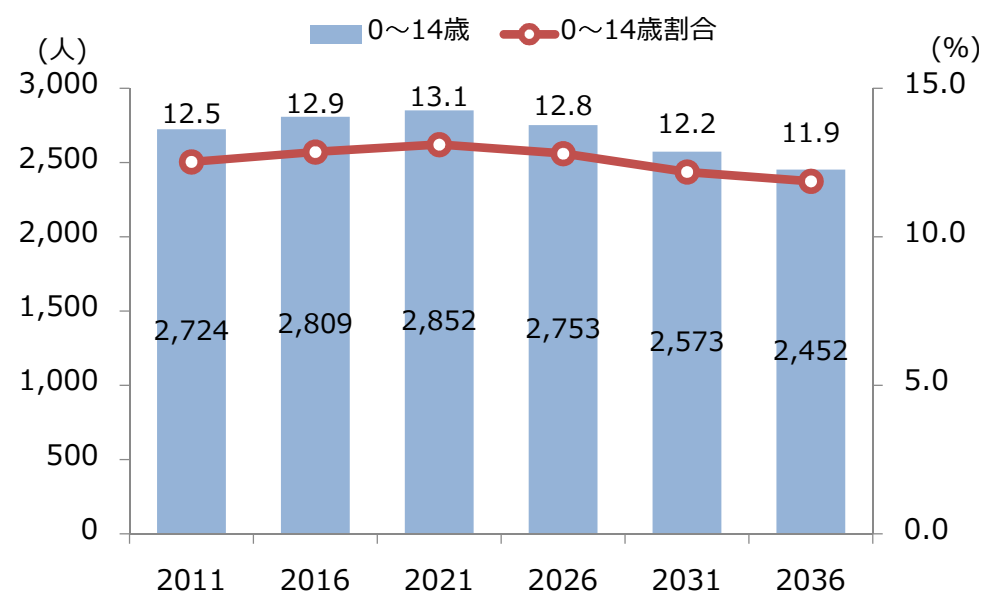
○就職に至る20~24歳の年代だけでなく、25~29歳の年代においても変化割合がマイナスとなっている。
 ○変化割合が30~34歳、35~39歳、40~44歳、45~49歳の年代でプラスとなっており、0歳~4歳、5~9歳、10~14歳、15~19歳人口のプラスの要因のひとつと考えられる。



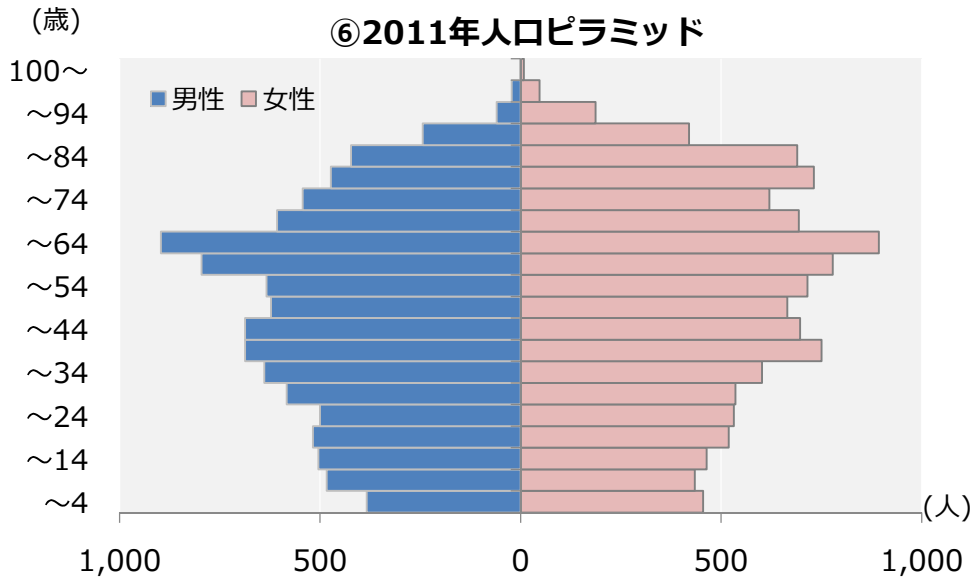
④高齢者人口の推移



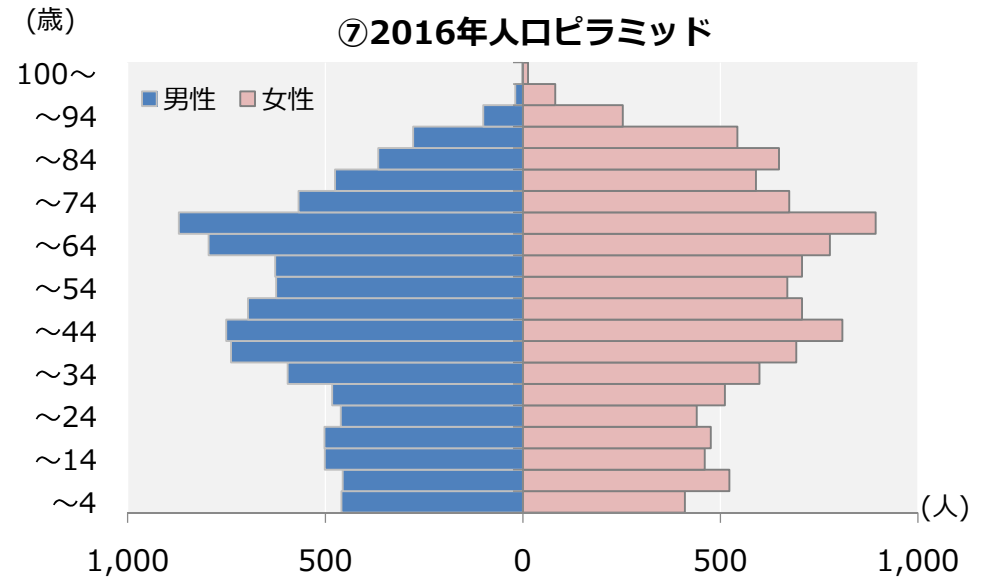
⑤年少人口の推移

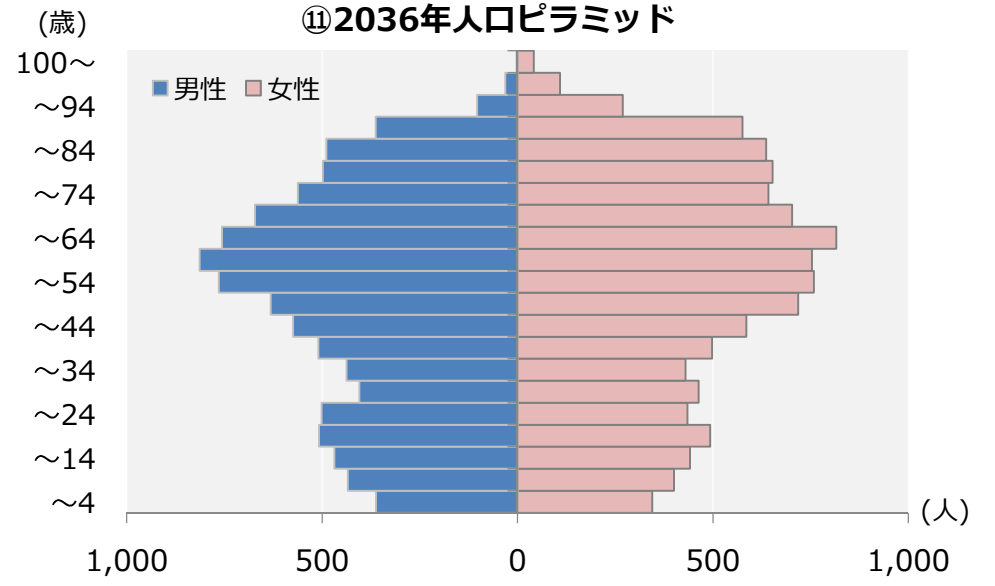
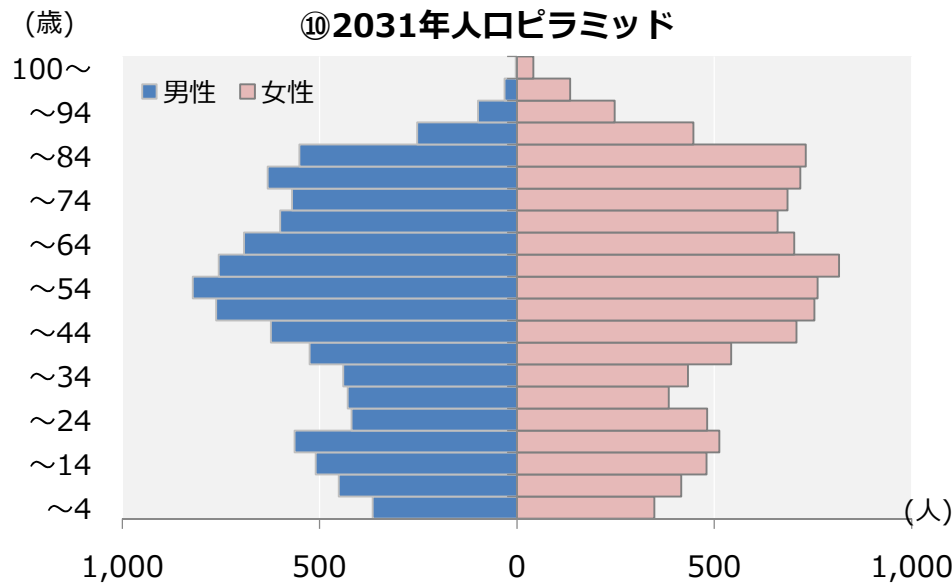
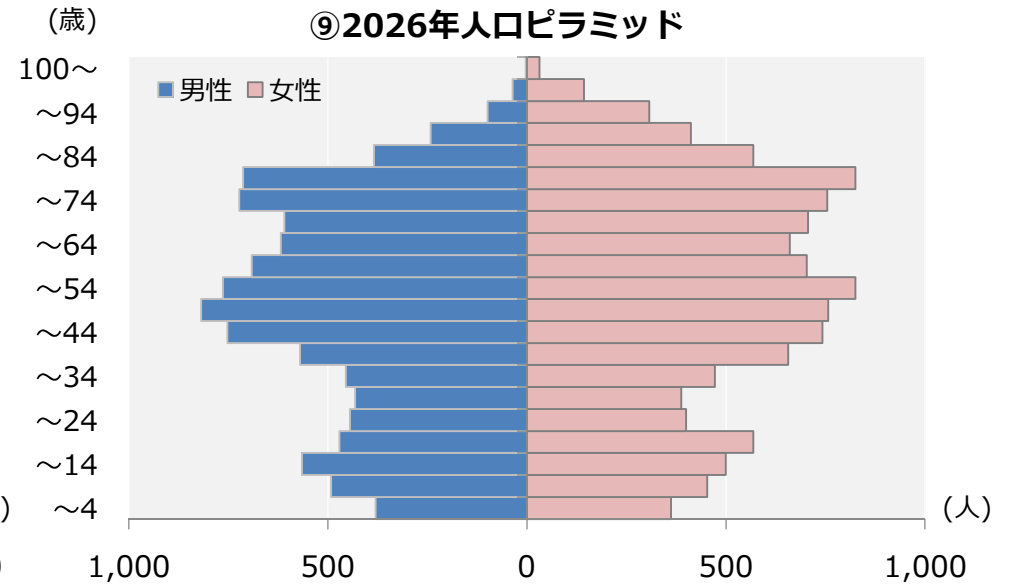
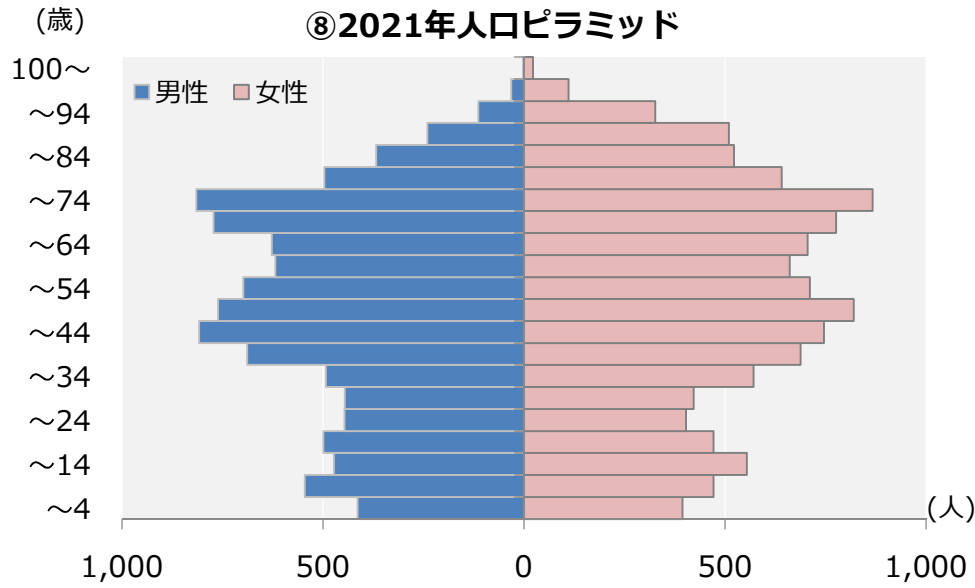


⑥2011年人口ピラミッド



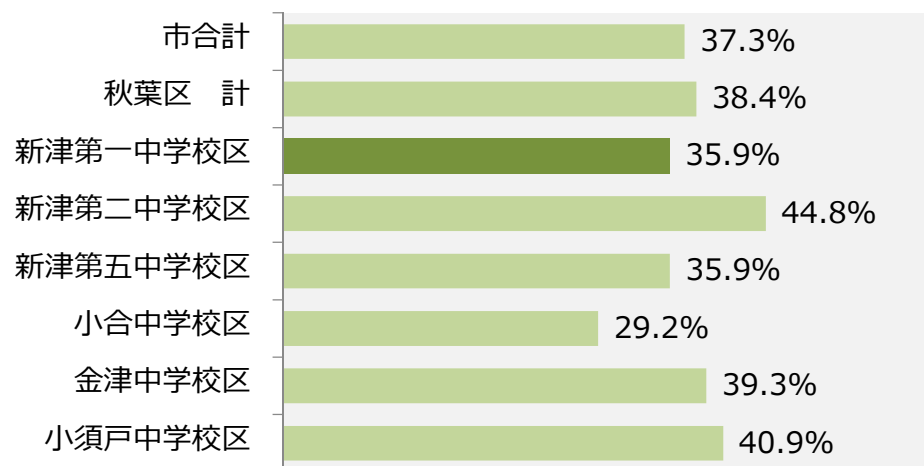
⑦2016年人口ピラミッド



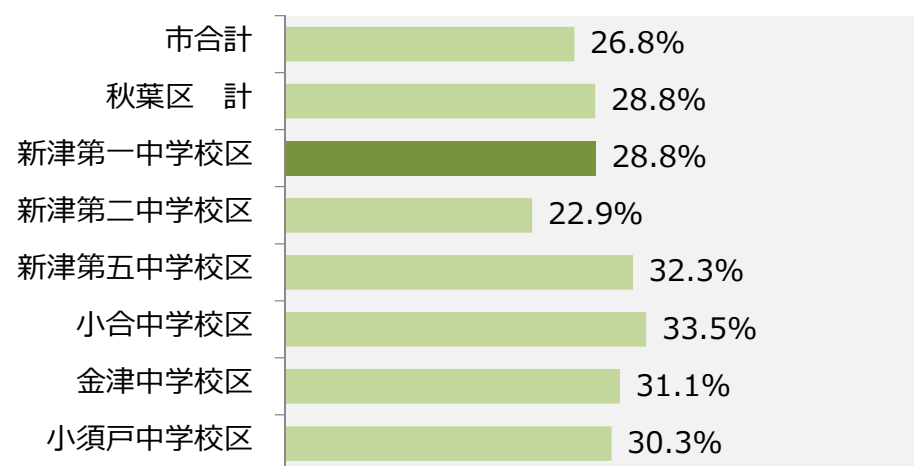


Ⅲ.健康データ（平成27年度新潟市国民健康保険・新潟県後期高齢者医療保険・協会けんぽ健診データ）

①健診受診率

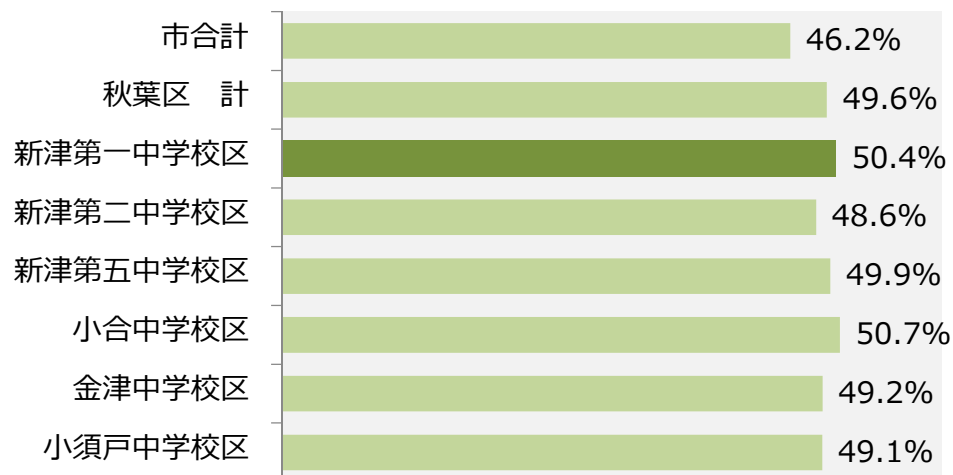


②高齢化率

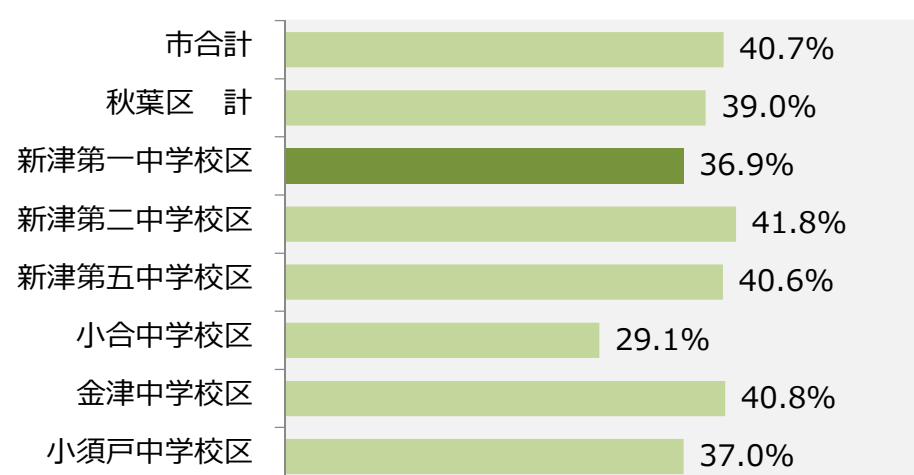


※平成27年9月末時点の住民基本台帳人口を基に算出

③血糖



④血圧（収縮期130mmHg以上）

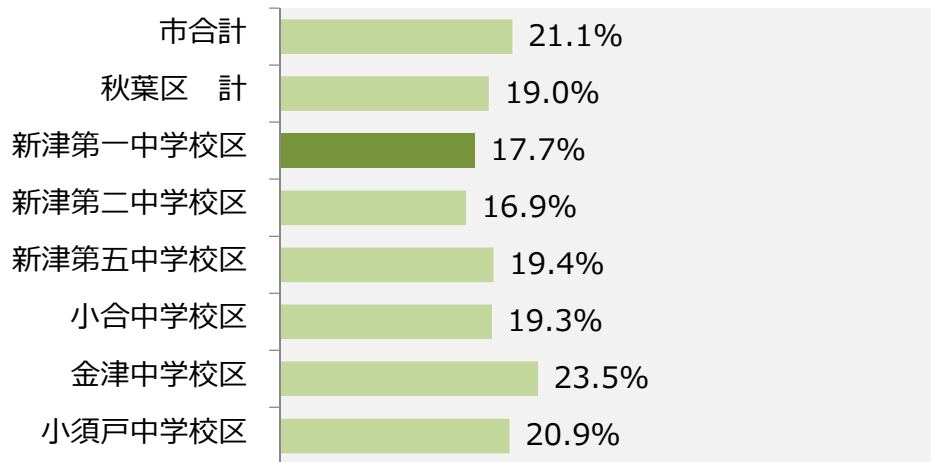


※国民健康保険・後期高齢者医療保険：HbA1c(ヘモグロビンエーワンシー)5.6%以上
協会けんぽ：空腹時血糖100mg/dl以上

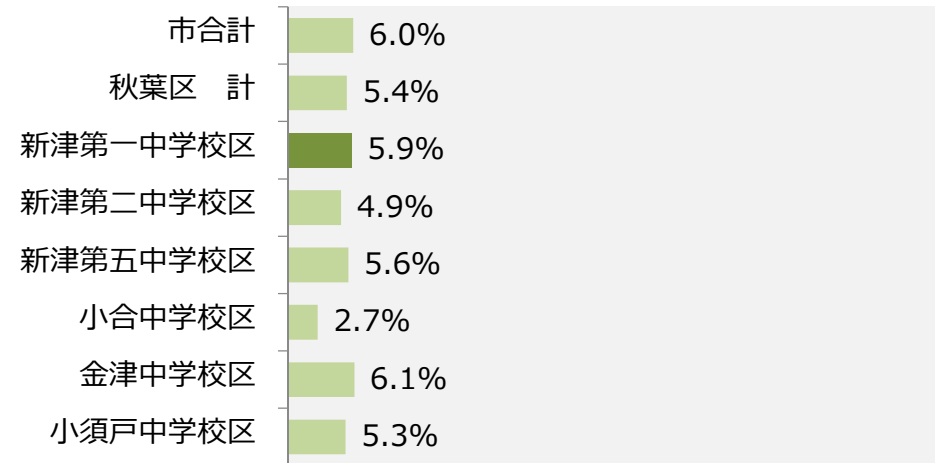
■HbA1c（ヘモグロビンエーワンシー）
過去1～2か月間の血糖値の平均を反映し、糖尿病の診断にも使われている。

新津第一中学校区

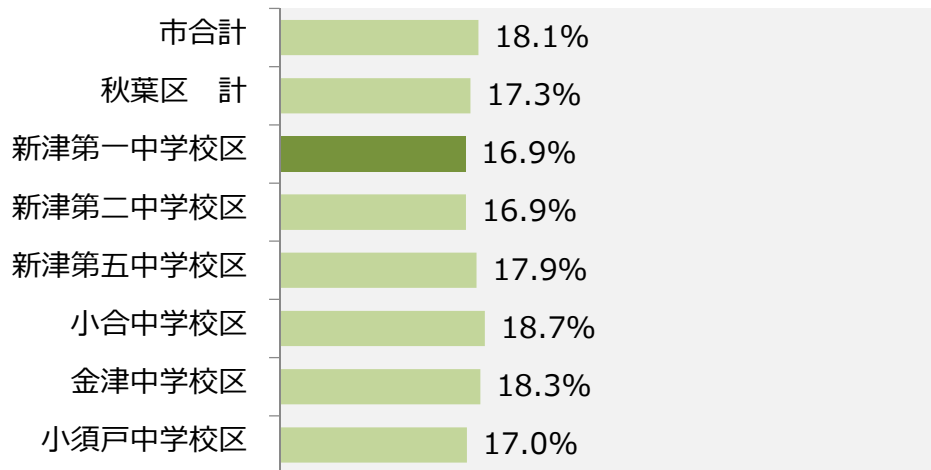
⑤脂質（中性脂肪150mg/dl以上）



⑥3項目(血糖・血圧・脂質)重複該当

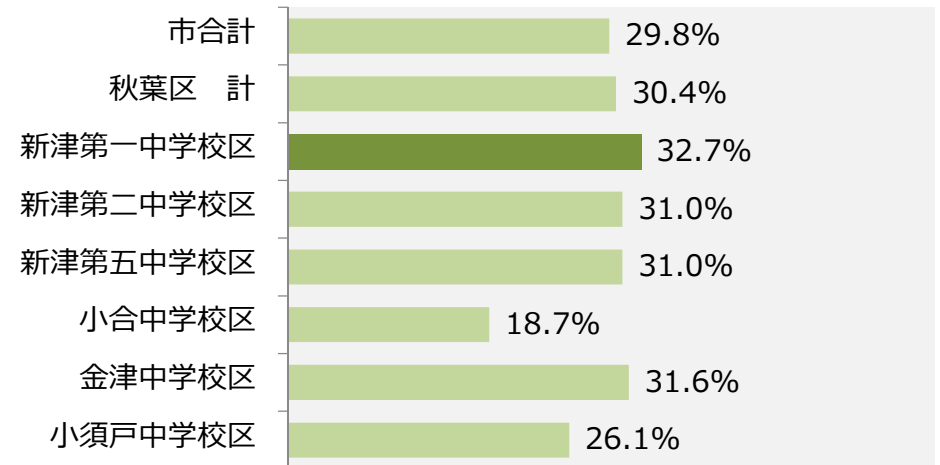


⑦喫煙



※現在、たばこを習慣的に吸っていると回答した人の割合

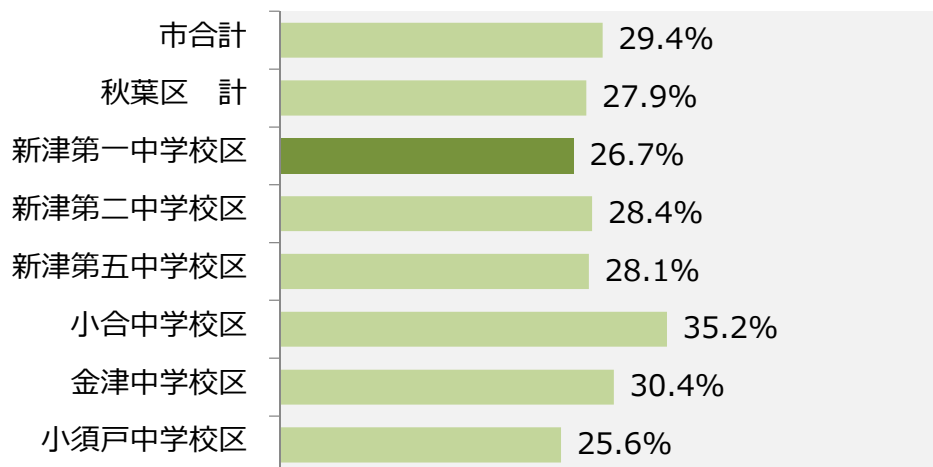
⑧運動習慣



※1日30分以上軽く汗をかく運動を週2回以上、1年以上実施していると回答した人の割合

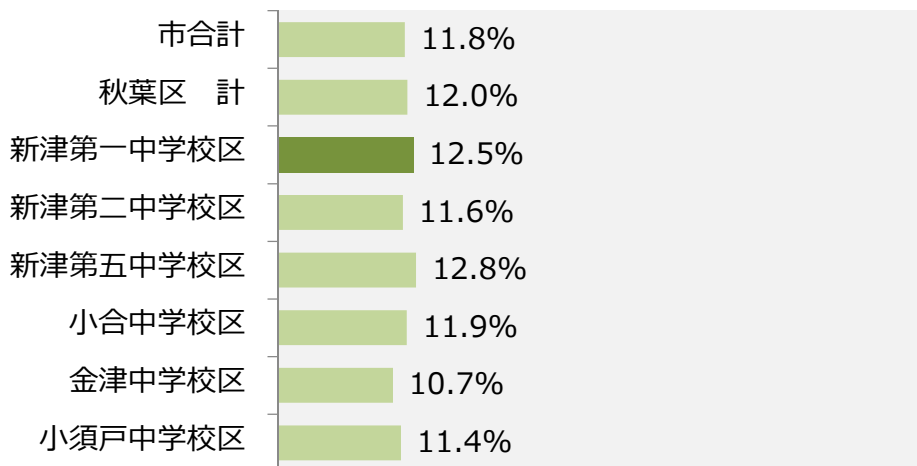
新津第一中学校区

⑨ 飲酒頻度（毎日）



※お酒（清酒、焼酎、ビール、洋酒など）を飲む頻度は【毎日】と回答した人の割合

⑩ 食習慣（夕食後の間食）



※夕食後に間食（3食以外の夜食）をとることが週に3回以上あると回答した人の割合

⑪ 患者予備群、治療放置群等（国保・後期高齢）

	健診 対象者数 (国保+ 後期) 人数	未把握		未通院 患者予備群 治療放置群	
		人数	構成割合	人数	構成割合
新津第一中学校区	7,962	2,377	29.9%	311	3.9%
新津第二中学校区	5,008	1,412	28.2%	184	3.7%
新津第五中学校区	6,627	2,135	32.2%	239	3.6%
小合中学校区	1,185	364	30.7%	37	3.1%
金津中学校区	2,586	747	28.9%	138	5.3%
小須戸中学校区	3,612	1,083	30.0%	140	3.9%
秋葉区 計	26,980	8,118	30.1%	1,049	3.9%

※平成27年度の国保+後期高齢の健診対象者（40歳以上）の状況

未把握・・・健診未受診及び生活習慣病の受診がない

未通院・・・健診において下記項目のいずれかに該当し、医療機関で

診察又は治療の必要があるが、同年中に生活習慣病の受診がない

・血糖：126mg/dl以上又はHbA1c6.5%以上

・血圧：140又は90mmHg以上 ・中性脂肪：300mg/dl以上

・LDLコレステロール：140mg/dl以上 ・HDLコレステロール：35mg/dl未満

■LDLコレステロール

全身の組織へコレステロールを運ぶ働きをしているが、多すぎると動脈硬化をすすめるため、悪玉コレステロールとも言われる。

■HDLコレステロール

善玉コレステロールともいわれ、血管壁に沈着したコレステロールを取り除き肝臓に戻す働きがあり、少ないと動脈硬化をすすめるが、多すぎても問題があるといわれている。

IV.施設データ

1.施設一覧

施設分類	施設名	施設基本情報			避難所	コスト・利用情報						分析領域 ※3		
		複合施設 ※2	建築年			使用面積 (㎡)	コスト 実績(全市平均)			利用率・利用量 実績(全市平均)				
コミュニティ施設	新津地域交流センター		H22		3,257.39	○	226.0	円/人/回	(928.0)	44.4	%	(26.3)	1	
文化施設	秋葉区文化会館		H25		2,997.36		875.0	円/人/回	(1,002.7)	37.4	%	(43.6)	2	
学校教育系施設	新津第一小学校	A	S30	～	H24	8,783.75	○	59.5	万円/人/年	(81.3)	21.1	㎡/人	(24.1)	1
学校教育系施設	新津第三小学校	B	S51	～	H15	6,686.63	○	41.0	万円/人/年	(81.3)	8.8	㎡/人	(24.1)	1
学校教育系施設	新津第一中学校		S49	～	H26	9,315.30	○	54.2	万円/人/年	(88.5)	15.9	㎡/人	(28.5)	1
学校教育系施設	新津第一幼稚園		S56	～	H23	1,091.31	○	76.0	万円/人/年	(74.9)	16.0	㎡/人	(16.4)	3
学校教育系施設	新津第三幼稚園		S53	～	H14	955.15	○	47.8	万円/人/年	(74.9)	11.6	㎡/人	(16.4)	1
子育て支援施設	新津第一ひまわりクラブ	A	S30	～	H24	135.00	○	12.3	万円/人/年	(13.9)	2.0	㎡/児童数	(2.7)	1
子育て支援施設	新津第三第1ひまわりクラブ	B	S51	～	H15	131.67	○	9.7	万円/人/年	(13.9)	1.6	㎡/児童数	(2.7)	1
子育て支援施設	新津第三第2ひまわりクラブ					147.69		9.7	万円/人/年	(13.9)	1.8	㎡/児童数	(2.7)	1
高齢者福祉施設	老人デイサービスセンターかんばんの里		H6			445.39		-			-			
公営住宅	新津新栄町住宅		S48	～	H15	7,281.08		-			-			

※1 平成28年度財産白書（平成27年度決算ベース）から引用

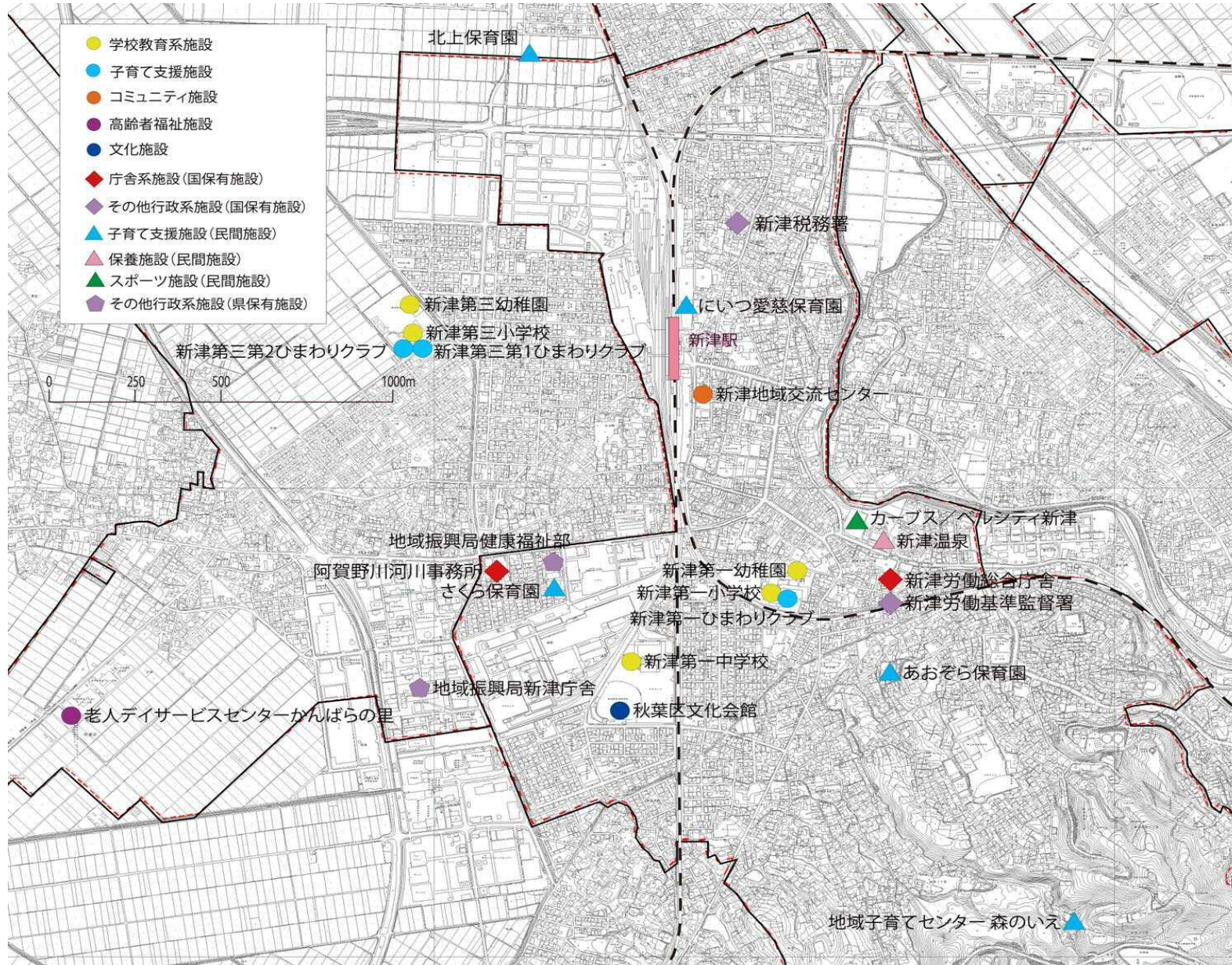
※2 アルファベットが同じものは複合施設

※3 分析領域の番号は下記項目のとおり

- 1.コスト状況、利用状況ともに相対的に良好な施設
- 3.相対的にコストが高いものの、利用が多い施設

- 2.相対的にコストは安いものの、利用が少ない施設
- 4.相対的に高コストかつ、利用が少ない施設

2.施設位置図



※校区の線は概図であり、細部については実際の通学区域と異なる場合があります。

※公営住宅は位置図には未掲載。

新津第一中学校区

新津第二中学校区 地域カルテ

秋葉区

H30年8月更新

I.地域の基礎データ

1.中学校区の概要

秋葉区の北西部に位置し、能代川・小阿賀野川・信濃川に囲まれた水郷で、土砂の堆積にしたがい、水田と集落を築いてきた地域です。地域内には住宅地が広がり、市街地を形成する人口集中地区です。JR荻川駅や新津バイパスがあり、交通アクセスに優れた地域となっています。

かつては純農村地域でしたが、昭和40年頃より荻川駅周辺の宅地開発に加え工業団地造成等で人口が増え現在も世帯数、人口共に増加しています。

コミュニティ協議会※

荻川コミュニティ振興協議会

小学校

結小学校

荻川小学校

※中学校区の区域とコミュニティ協議会の区域は必ずしも一致しない。

位置図



新津第二中学校区

Ⅱ.人口

1.人口・世帯数(住民基本台帳)

	総数	男	女	0～14歳	15歳～64歳	65歳以上	うち75歳以上	世帯数	1世帯当たり 世帯人員
								(人)	(世帯)
2011年	17,734	8,584	9,150	3,032	11,231	3,471	1,714	6,103	2.91
		48.4%	51.6%	17.1%	63.3%	19.6%	9.7%		
2016年	18,196	8,823	9,373	3,022	10,851	4,323	2,027	6,593	2.76
		48.5%	51.5%	16.6%	59.6%	23.8%	11.1%		
増減	462	239	223	-10	-380	852	313	490	-0.15
	2.6%	2.8%	2.4%	-0.3%	-3.4%	24.5%	18.3%		

2.人口推計

	総数	男	女	0～14歳	15歳～64歳	65歳以上	うち75歳以上
2021年	18,357	8,910	9,447	2,717	10,848	4,792	2,227
		48.5%	51.5%	14.8%	59.1%	26.1%	12.1%
2026年	18,358	8,911	9,447	2,412	11,082	4,864	2,794
		48.5%	51.5%	13.1%	60.4%	26.5%	15.2%
2031年	18,357	8,918	9,439	2,343	11,224	4,790	3,036
		48.6%	51.4%	12.8%	61.1%	26.1%	16.5%
2036年	18,383	8,938	9,445	2,426	11,030	4,928	2,937
		48.6%	51.4%	13.2%	60.0%	26.8%	16.0%
2016-2036	187	115	72	-596	179	605	910
増減	1.0%	1.3%	0.8%	-19.7%	1.6%	14.0%	44.9%

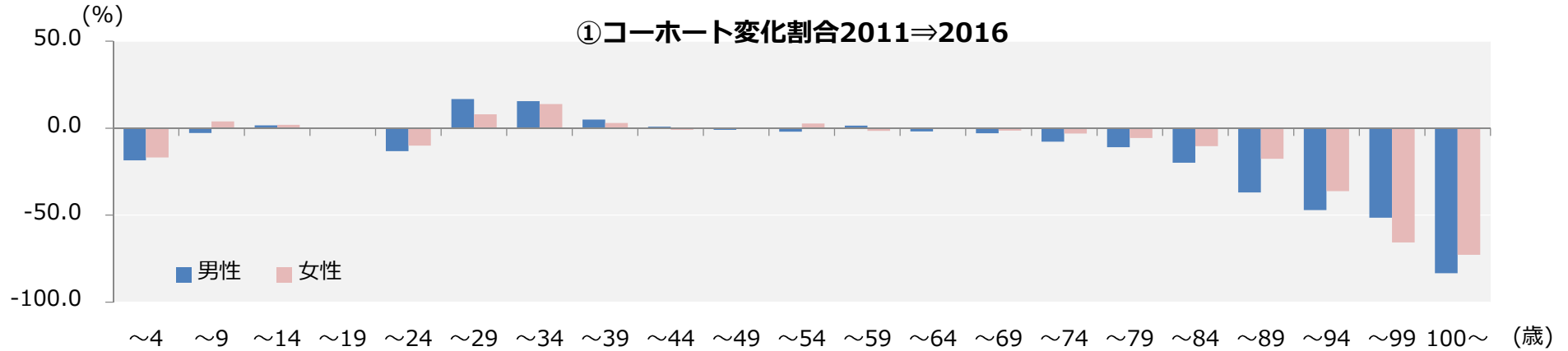
○人口は、2016年の18,196人から2036年には18,383人と1.0%増加する。

○老年人口は、2016年の4,323人から2036年には4,928人と14.0%増加し、老年人口割合も23.8%から26.8%に増加する。

○年少人口は、2016年の3,022人から2036年には2,426名となり、19.7%減少する。

○生産年齢人口は、2016年の10,851人から2036年には11,030人となり、1.6%増加する。

3.人口推計グラフ



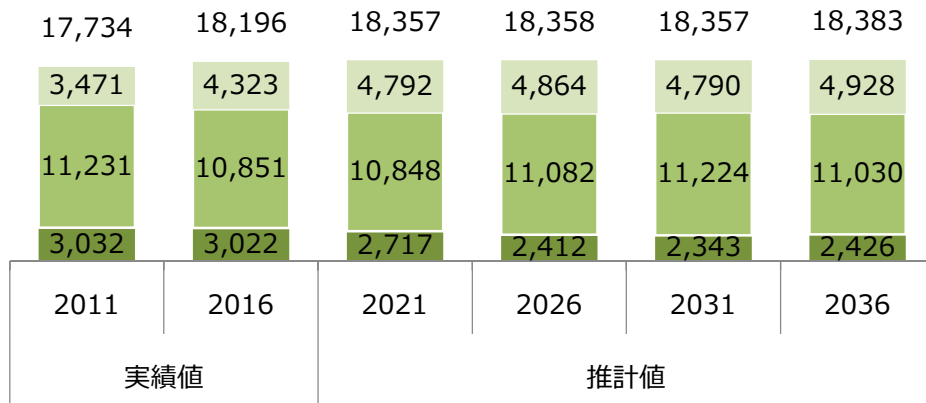
○就職に至る20~24歳は変化割合が1割以上のマイナスとなっている。

○25~29歳、30~34歳、35~39歳の年代がプラスとなっており、5~9歳、10~14歳人口のプラス要因のひとつと考えられるとともに、今後、0~4歳人口のプラスが期待できる。

(人)

② 年齢3区分別人口推移

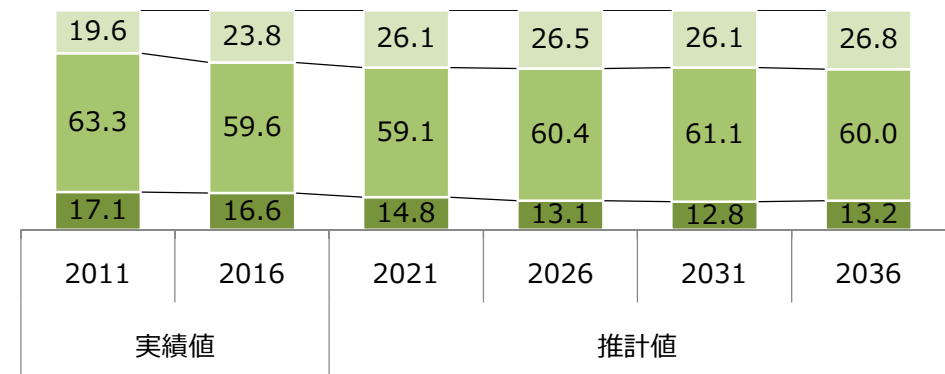
■ 0~14歳 ■ 15~64歳 ■ 65歳以上



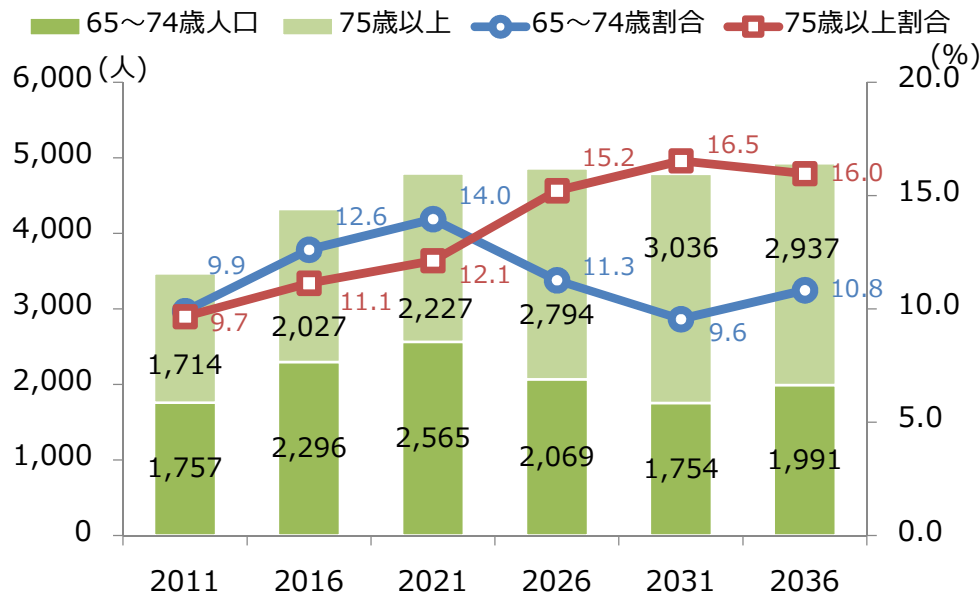
(%)

③ 年齢3区分別人口割合の推移

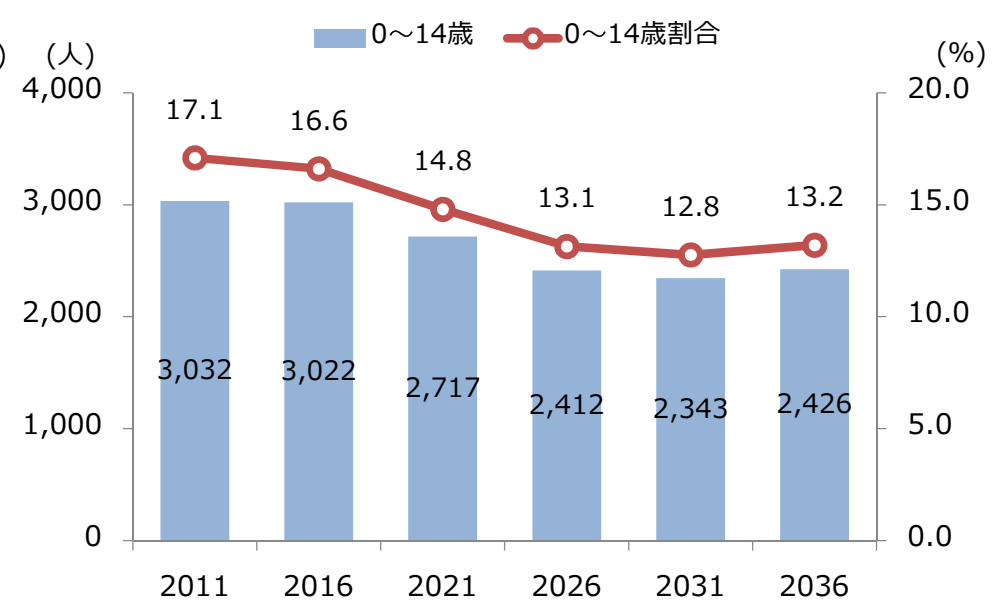
■ 0~14歳 ■ 15歳~64歳 ■ 65歳以上



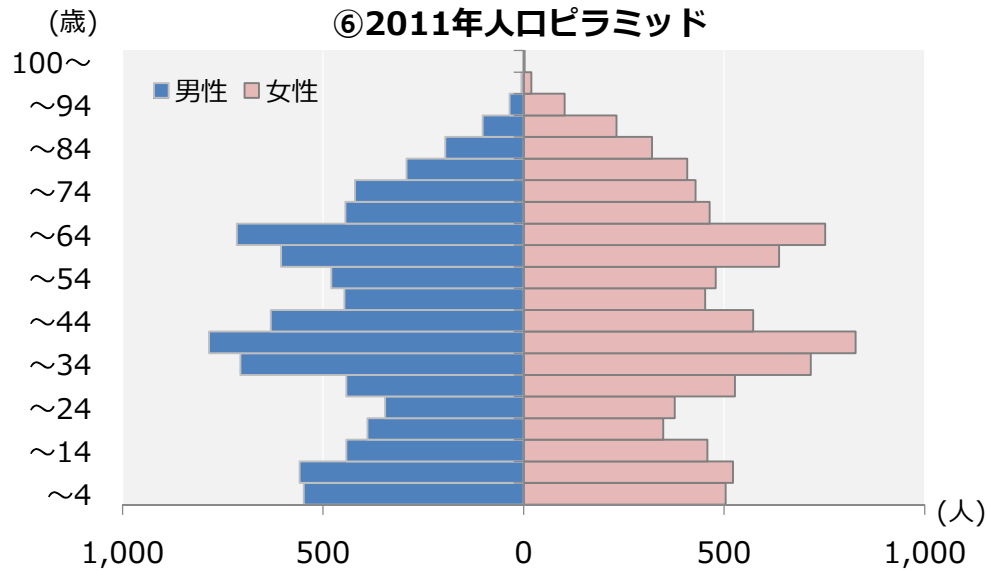
④ 高齢者人口の推移



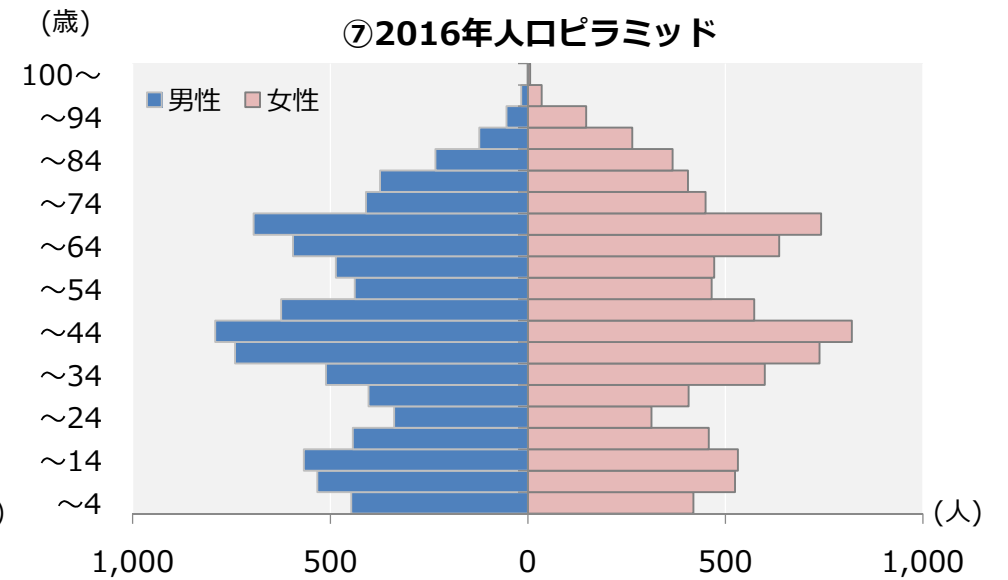
⑤ 年少人口の推移



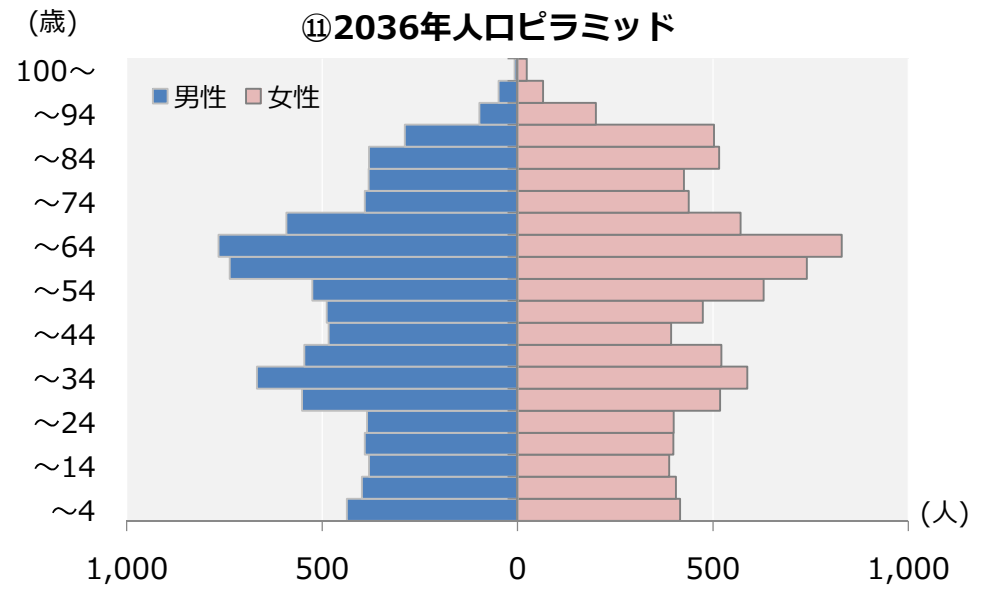
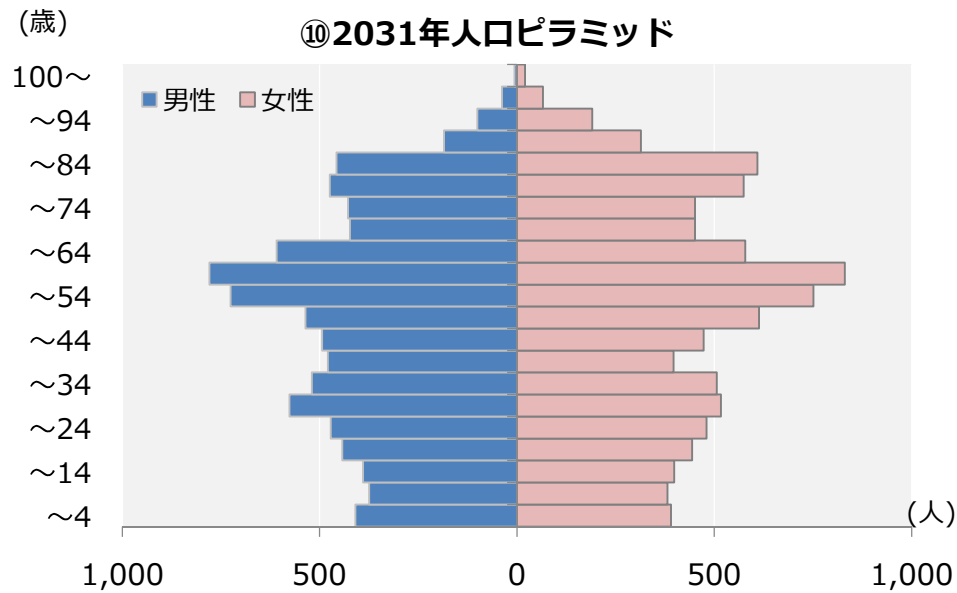
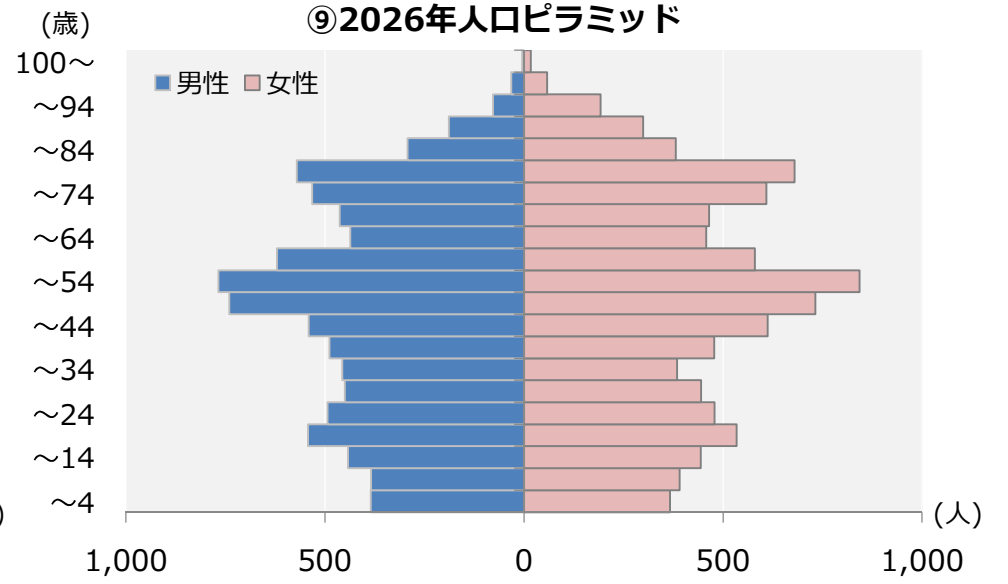
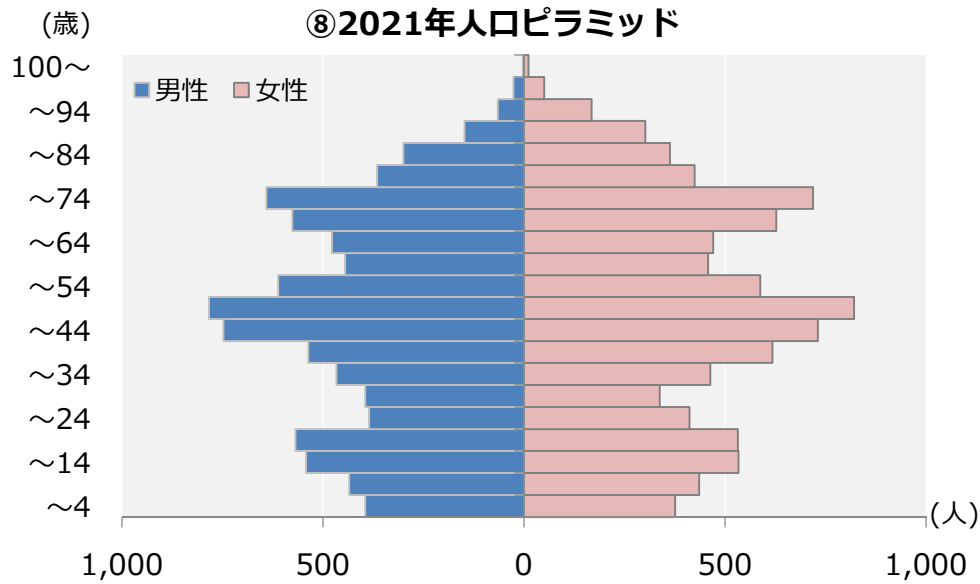
⑥ 2011年人口ピラミッド



⑦ 2016年人口ピラミッド

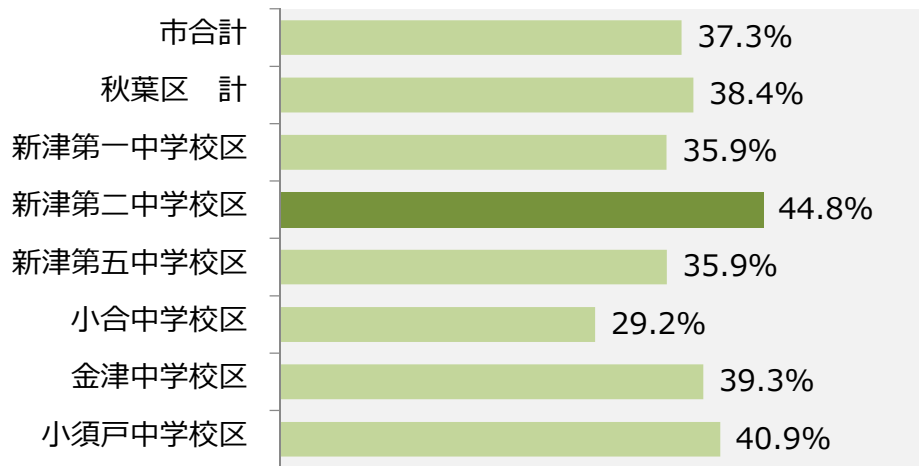


新津第二中学校区

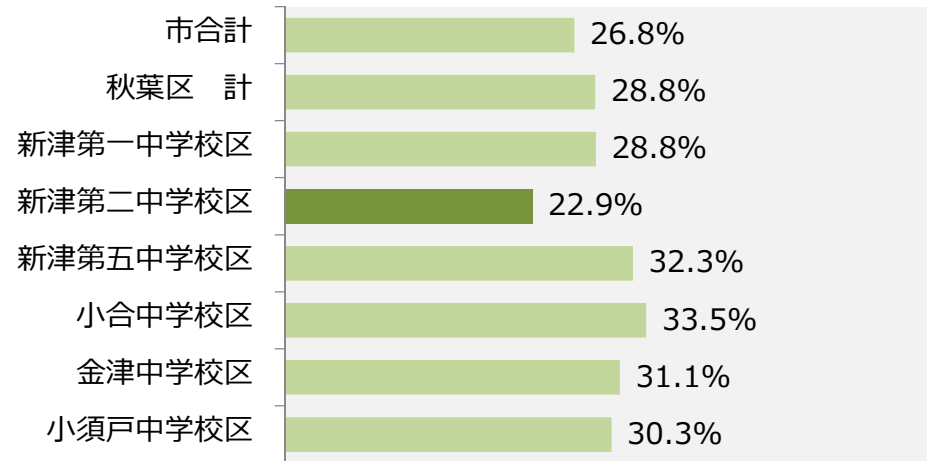


Ⅲ.健康データ（平成27年度新潟市国民健康保険・新潟県後期高齢者医療保険・協会けんぽ健診データ）

①健診受診率

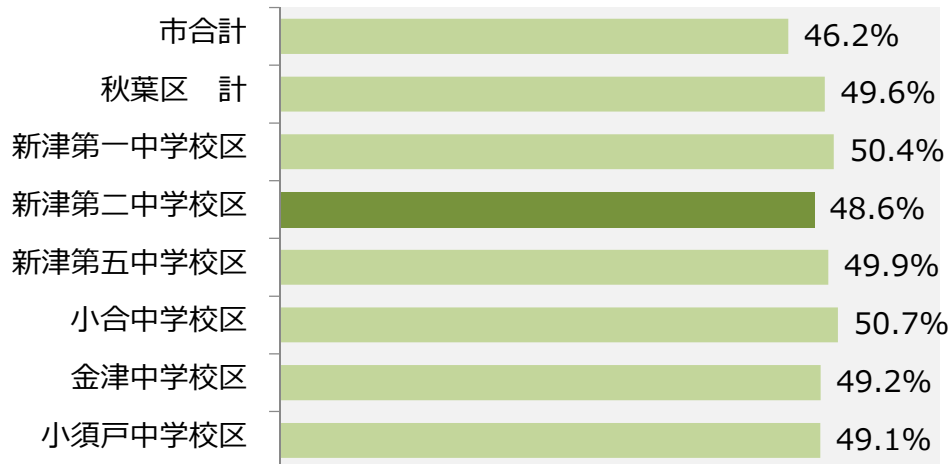


②高齢化率

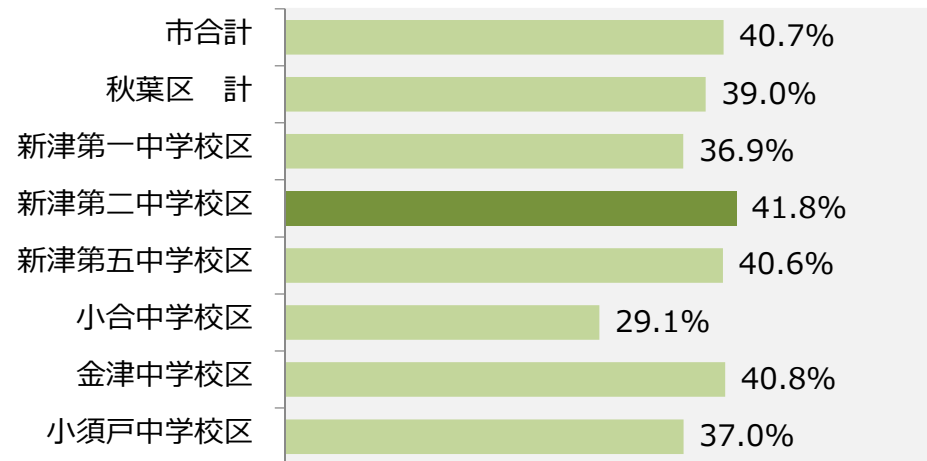


※平成27年9月末時点の住民基本台帳人口を基に算出

③血糖



④血圧（収縮期130mmHg以上）

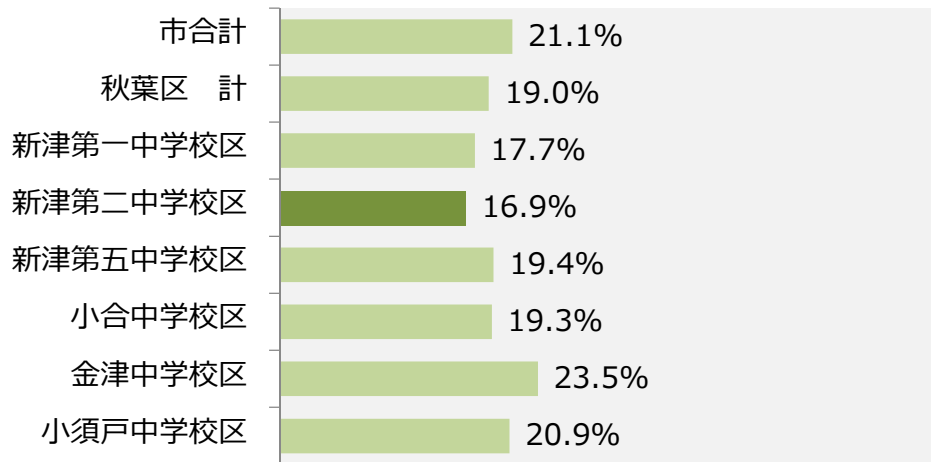


※国民健康保険・後期高齢者医療保険：HbA1c(ヘムoglobin A1c)5.6%以上
協会けんぽ：空腹時血糖100mg/dl以上

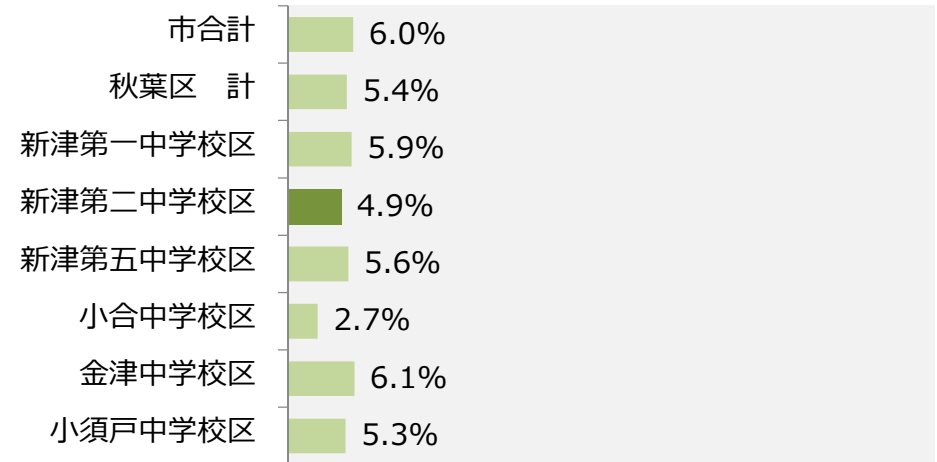
■HbA1c（ヘモグロビンA1c）
過去1～2か月間の血糖値の平均を反映し、糖尿病の診断にも使われている。

新津第二中学校区

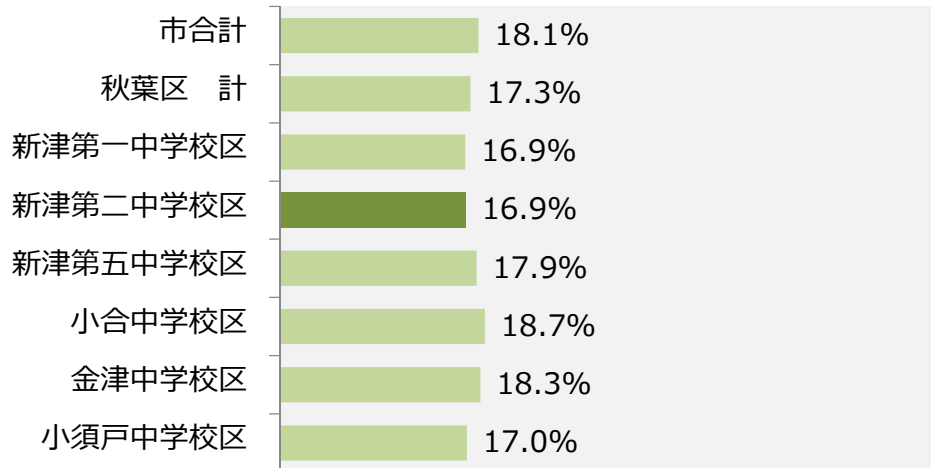
⑤脂質（中性脂肪150mg/dl以上）



⑥3項目(血糖・血圧・脂質)重複該当

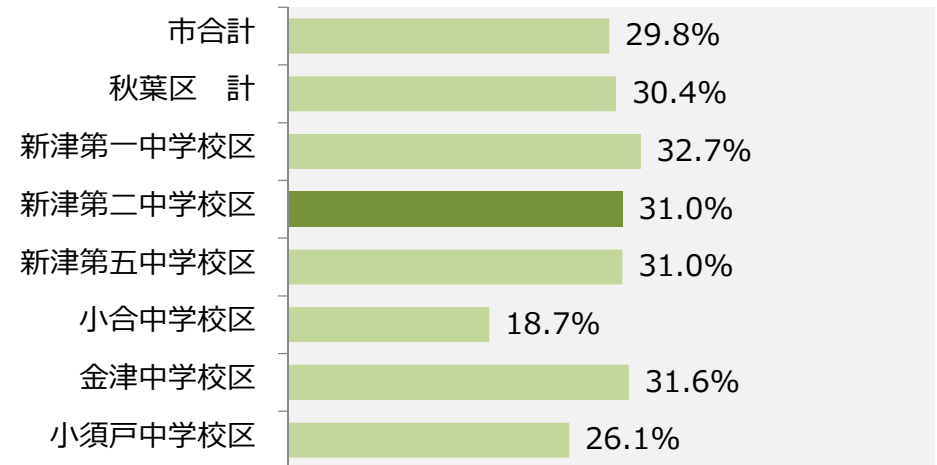


⑦喫煙



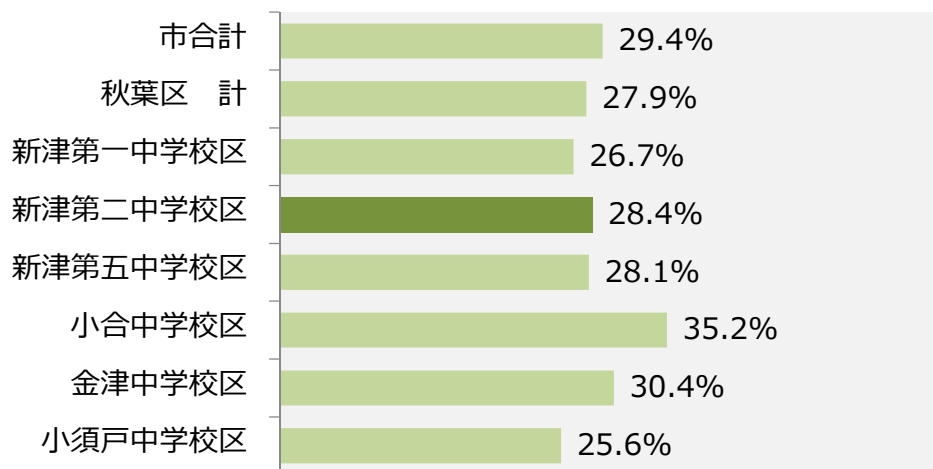
※現在、たばこを習慣的に吸っていると回答した人の割合

⑧運動習慣



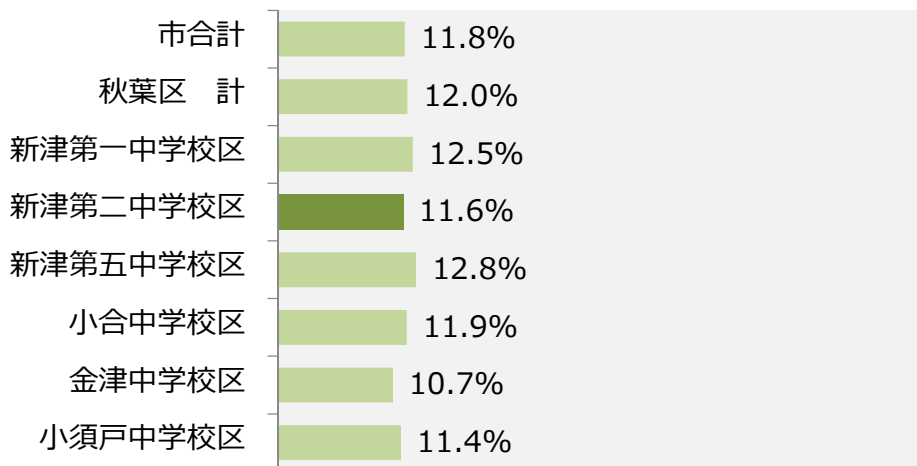
※1日30分以上軽く汗をかく運動を週2回以上、1年以上実施していると回答した人の割合

⑨ 飲酒頻度（毎日）



※お酒（清酒、焼酎、ビール、洋酒など）を飲む頻度は「毎日」と回答した人の割合

⑩ 食習慣（夕食後の間食）



※夕食後に間食（3食以外の夜食）をとることが週に3回以上あると回答した人の割合

⑪ 患者予備群、治療放置群等（国保・後期高齢）

	健診 対象者数 (国保+ 後期) 人数	未把握		未通院 患者予備群 治療放置群	
		人数	構成割合	人数	構成割合
新津第一中学校区	7,962	2,377	29.9%	311	3.9%
新津第二中学校区	5,008	1,412	28.2%	184	3.7%
新津第五中学校区	6,627	2,135	32.2%	239	3.6%
小合中学校区	1,185	364	30.7%	37	3.1%
金津中学校区	2,586	747	28.9%	138	5.3%
小須戸中学校区	3,612	1,083	30.0%	140	3.9%
秋葉区 計	26,980	8,118	30.1%	1,049	3.9%

※平成27年度の国保+後期高齢の健診対象者（40歳以上）の状況

未把握・・・健診未受診及び生活習慣病の受診がない

未通院・・・健診において下記項目のいずれかに該当し、医療機関で

診察又は治療の必要があるが、同年中に生活習慣病の受診がない

- ・血糖：126mg/dl以上又はHbA1c6.5%以上
- ・血圧：140又は90mmHg以上 ・中性脂肪：300mg/dl以上
- ・LDLコレステロール：140mg/dl以上 ・HDLコレステロール：35mg/dl未満

■LDLコレステロール

全身の組織へコレステロールを運ぶ働きをしているが、多すぎると動脈硬化をすすめるため、悪玉コレステロールとも言われる。

■HDLコレステロール

善玉コレステロールともいわれ、血管壁に沈着したコレステロールを取り除き肝臓に戻す働きがあり、少ないと動脈硬化をすすめるが、多すぎても問題があるといわれている。

IV.施設データ

1.施設一覧

施設分類	施設名	施設基本情報			避難所	コスト・利用情報						分析領域 ※3	
		複合施設 ※2	建築年			使用面積 (㎡)	コスト 実績(全市平均)			利用率・利用量 実績(全市平均)			
コミュニティ施設	荻川コミュニティセンター	A	S58	～ H15	2,717.89	○	217.0	円/人/回	(928.0)	43.8	%	(26.3)	1
社会教育施設	荻川地区図書室	A	S58	～ H15	130.18	○	260.0	円/冊	(508.0)	1.1	倍	(1.9)	2
学校教育系施設	荻川小学校		H22	～ H23	7,821.61	○	46.8	万円/人/年	(81.3)	12.7	㎡/人	(24.1)	1
学校教育系施設	結小学校		S46	～ H24	5,889.05	○	46.8	万円/人/年	(81.3)	8.2	㎡/人	(24.1)	1
学校教育系施設	新津第二中学校		S56	～ H26	8,988.52	○	57.8	万円/人/年	(88.5)	16.0	㎡/人	(28.5)	1
学校教育系施設	市之瀬幼稚園		S33	～ H25	507.53	○	65.8	万円/人/年	(74.9)	8.8	㎡/人	(16.4)	1
学校教育系施設	結幼稚園		S47	～ H24	909.65	○	49.0	万円/人/年	(74.9)	8.5	㎡/人	(16.4)	1
公営住宅	新津田島住宅		H24	～ H25	2,050.98			-			-		-
その他公共用施設	新津斎場		S55		633.00			-			-		-

※1 平成28年度財産白書（平成27年度決算ベース）から引用

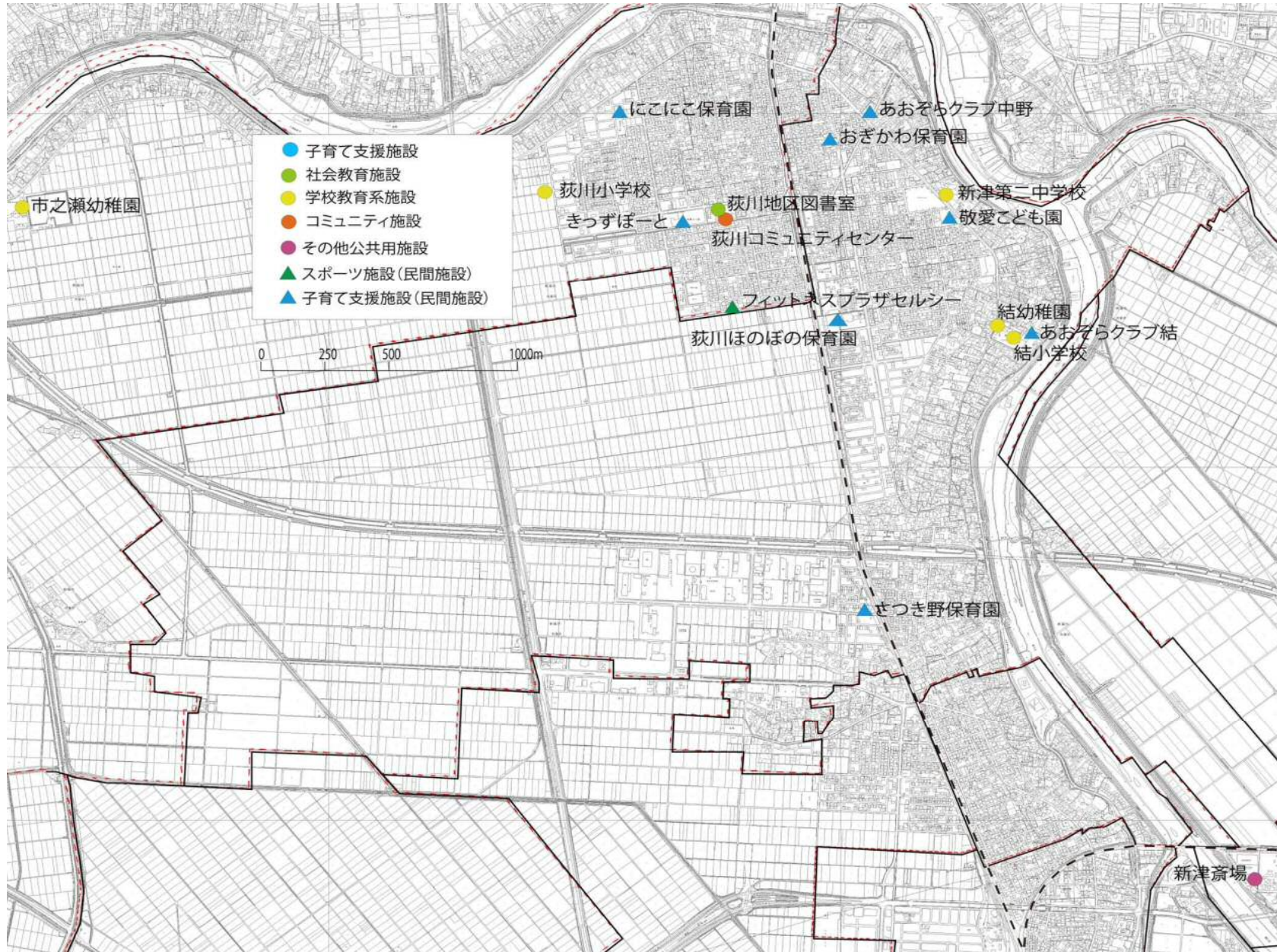
※2 アルファベットが同じものは複合施設

※3 分析領域の番号は下記項目のとおり

- 1.コスト状況、利用状況ともに相対的に良好な施設
- 3.相対的にコストが高いものの、利用が多い施設

- 2.相対的にコストは安いものの、利用が少ない施設
- 4.相対的に高コストかつ、利用が少ない施設

2.施設位置図



※校区の線は概図であり、細部については実際の通学区域と異なる場合があります。

※公営住宅は位置図には未掲載。

新津第二中学校区

新津第五中学校区 地域カルテ

秋葉区

H30年8月更新

I.地域の基礎データ

1.中学校区の概要

秋葉区の東側に位置し、阿賀野川と小阿賀野川に接し、地区内には能代川と新津川が流れる地域です。JR磐越西線の東新津駅・新関駅があるほか、磐越自動車道の新津インターチェンジもあり、交通のアクセスに優れた地域です。

満日地区は、のどかな田園風景が広がっており、新潟市文化財のはさぎ並木があるほか、秋には収穫祭が行われます。地域内には老人施設・障がい者施設などの「癒しの福祉ゾーン」があり、また新津B & G海洋センター施設も隣接されています。

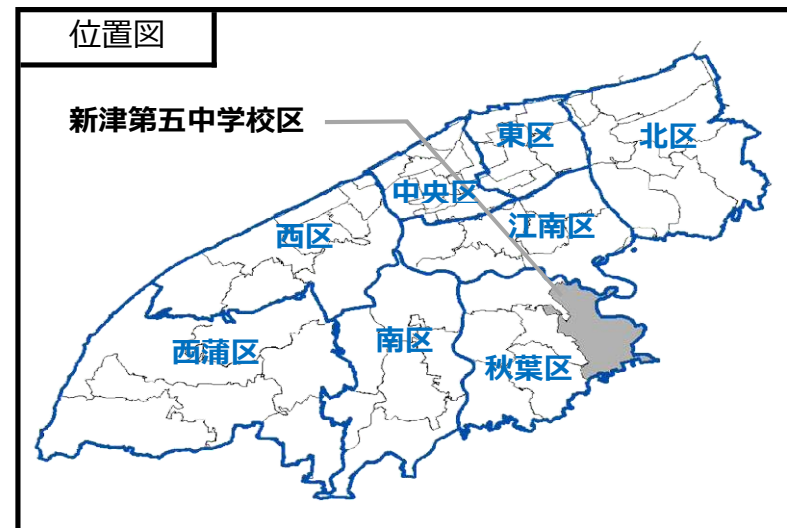
新津東部地区は、九十九曲がりであった旧能代川は河川改修が行われ今は水害の危険から逃れています。新津油田発祥の地『煮坪』をはじめ、石油関係資料(真柄家所蔵)や大ケヤキ、一之堰等新潟市文化財が点在しています。

阿賀浦地区は、勤労青少年ホーム、地域学園、鉄道資料館、弓道場、テニスコートの他、高校、中学校、小学校が存在する学園地域といった環境を併せ持つ地域です。下越病院、特別養護老人ホームも建設されたほか、鉄道資料館の展示の充実化が進み観光客の増加が見られます。

新関地区は、「教育村」として昔から教育熱心な地域であり、豊かな自然、歴史的文化的遺産が数多く残るエリアです。新関中学校が新津第五中学校に統合され、その跡地に新関小学校が新築移転されました。隣には新関コミュニティセンターが建設され、近くに保育園もあります。再び地域の教育、文化、福祉、スポーツ等の中心場所となってきています。

コミュニティ協議会※	
満日コミュニティ協議会	
新津東部コミュニティ協議会	
阿賀浦コミュニティ協議会	
新関コミュニティ協議会	
小学校	
新津第二小学校	阿賀小学校
新関小学校	

※中学校区の区域とコミュニティ協議会の区域は必ずしも一致しない。



新津第五中学校区

Ⅱ.人口

1.人口・世帯数(住民基本台帳)

	総数	男	女	0～14歳	15歳～64歳	65歳以上		世帯数	1世帯当たり 世帯人員
						(人)	(世帯)		
							うち75歳以上		
2011年	17,815	8,512	9,303	2,039	10,645	5,131	2,844	6,329	2.81
		47.8%	52.2%	11.4%	59.8%	28.8%	16.0%		
2016年	17,127	8,165	8,962	1,825	9,618	5,684	3,118	6,558	2.61
		47.7%	52.3%	10.7%	56.2%	33.2%	18.2%		
増減	-688	-347	-341	-214	-1,027	553	274	229	-0.20
	-3.9%	-4.1%	-3.7%	-10.5%	-9.6%	10.8%	9.6%		

2.人口推計

	総数	男	女	0～14歳	15歳～64歳	65歳以上	うち75歳以上
2021年	16,253	7,734	8,519	1,629	8,859	5,764	3,143
		47.6%	52.4%	10.0%	54.5%	35.5%	19.3%
2026年	15,270	7,268	8,002	1,495	8,139	5,635	3,448
		47.6%	52.4%	9.8%	53.3%	36.9%	22.6%
2031年	14,216	6,769	7,447	1,330	7,522	5,364	3,391
		47.6%	52.4%	9.4%	52.9%	37.7%	23.9%
2036年	13,132	6,236	6,896	1,195	6,715	5,222	3,198
		47.5%	52.5%	9.1%	51.1%	39.8%	24.4%
2016-2036 増減	-3,995	-1,929	-2,066	-630	-2,903	-462	80
	-23.3%	-23.6%	-23.1%	-34.5%	-30.2%	-8.1%	2.6%

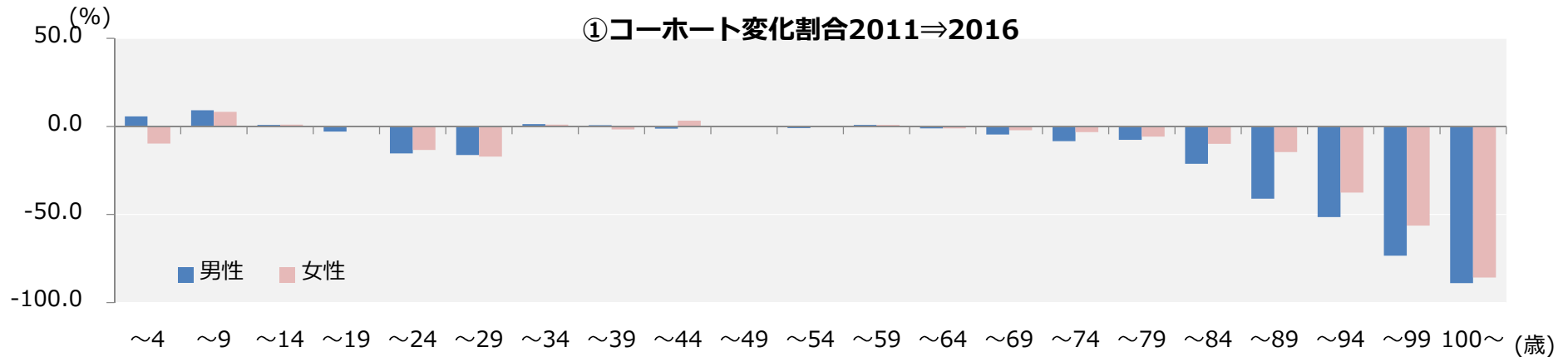
○人口は、2016年の17,127人から2036年には13,132人と23.3%減少する。

○老年人口は、2021年に5,764人でピークを迎え、その後減少していくが、老年人口割合は33.2%から39.8%に増加する。

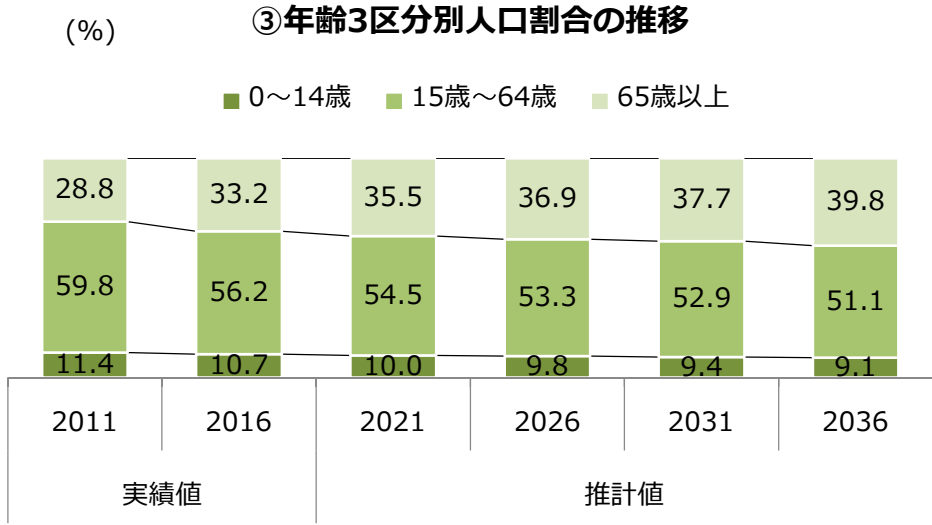
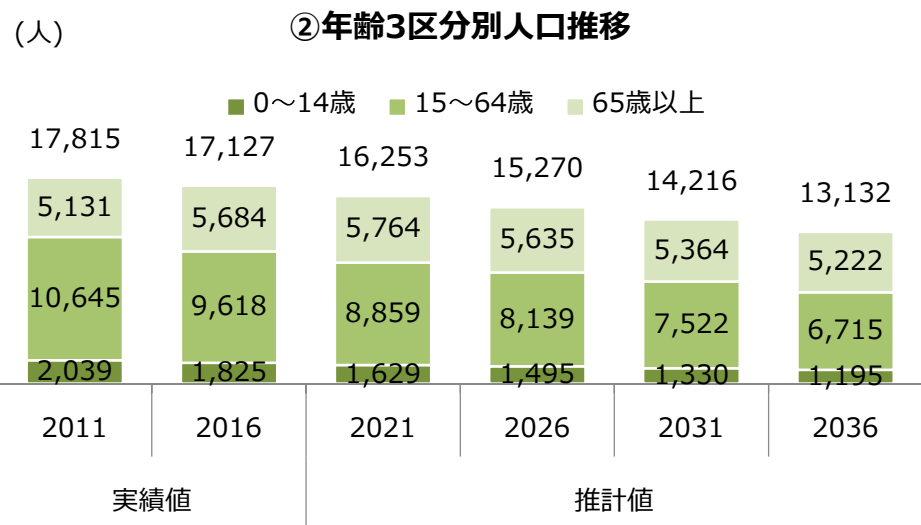
○年少人口は、2016年の1,825人から2036年には1,195名となり、34.5%減少する。

○生産年齢人口は、2016年の9,618人から2036年には6,715人となり、30.2%減少する。

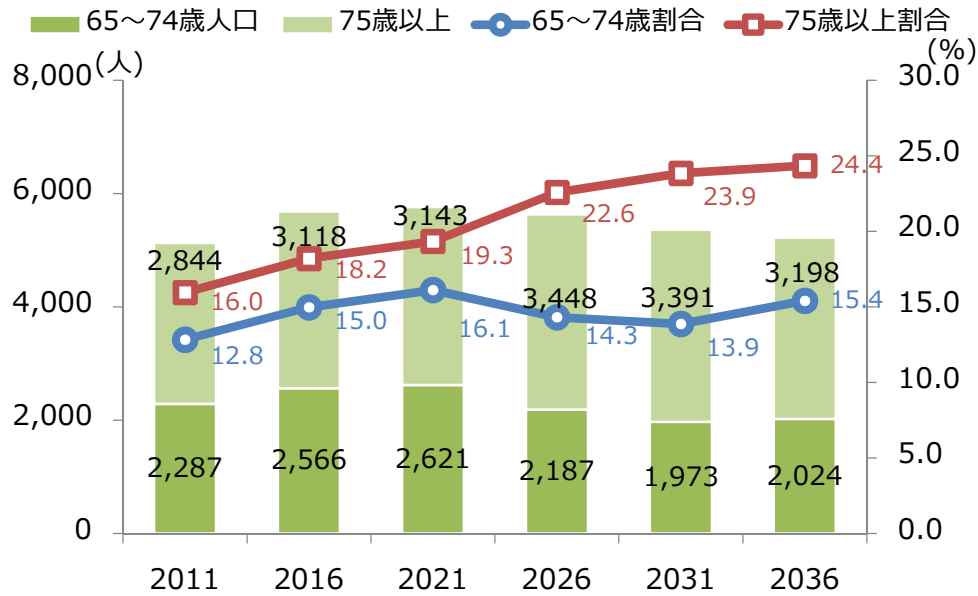
3.人口推計グラフ



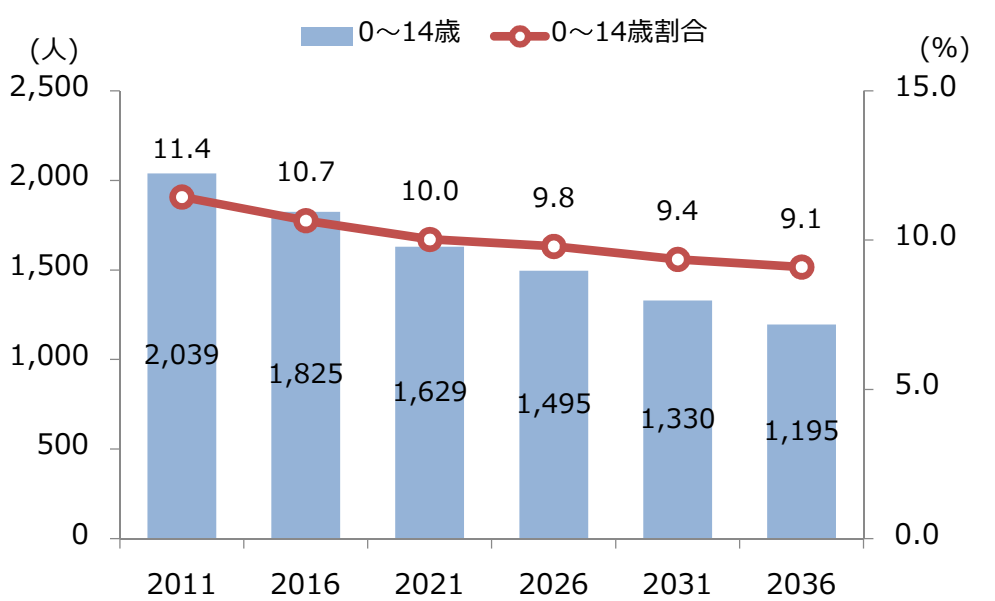
○就職に至る20~24歳の年代だけでなく、25~29歳の年代においても変化割合が1割以上のマイナスとなっている。
 ○変化割合が大きくプラスとなっている年代はないが、30~34歳、40~44歳年代がプラスとなっており、5~9歳、10~14歳人口のプラスの要因のひとつと考えられる。



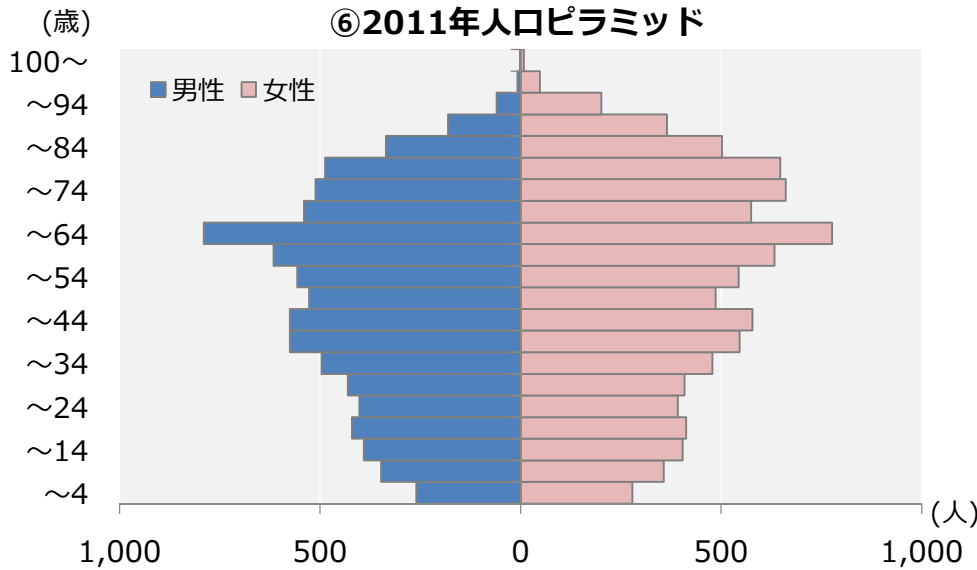
④ 高齢者人口の推移



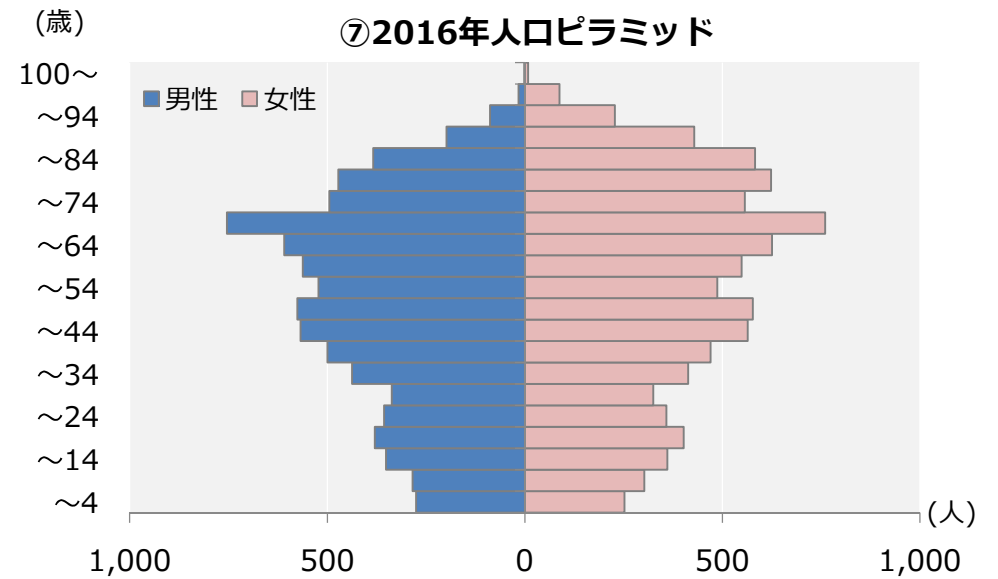
⑤ 年少人口の推移

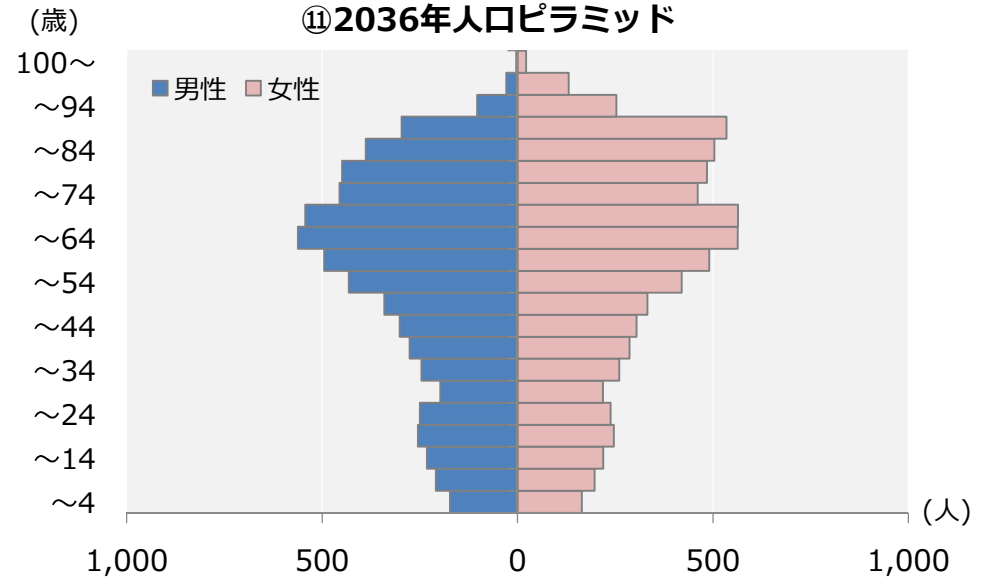
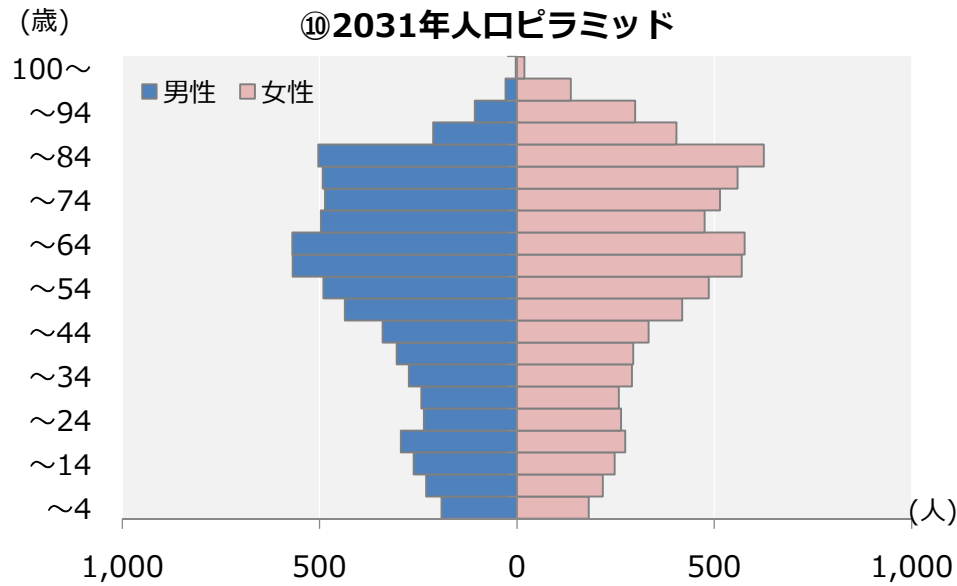
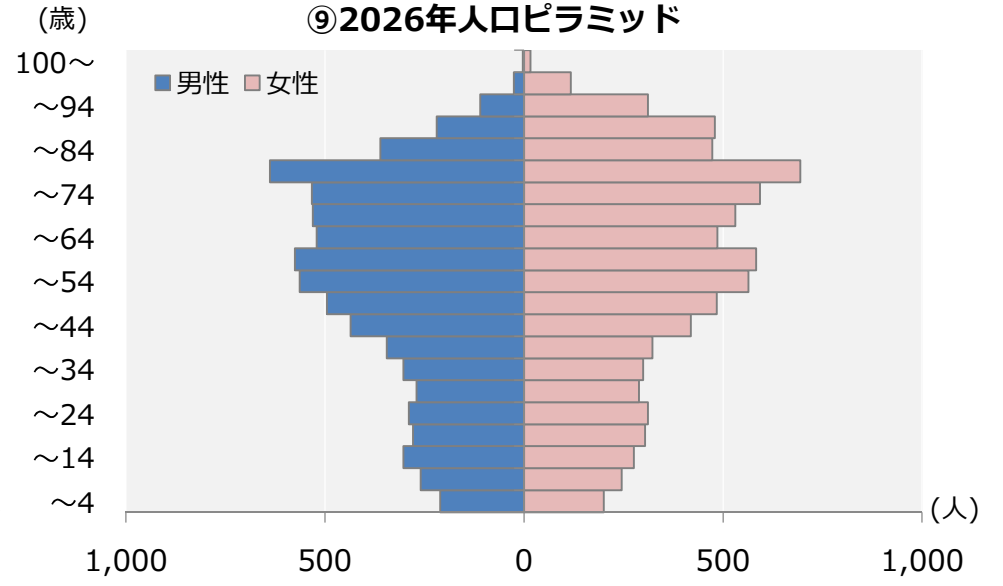
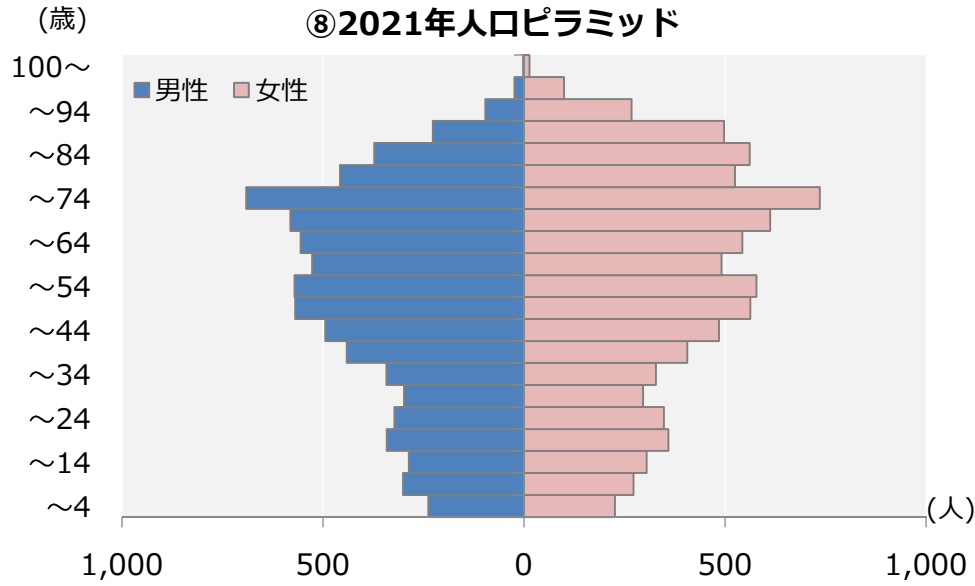


⑥ 2011年人口ピラミッド



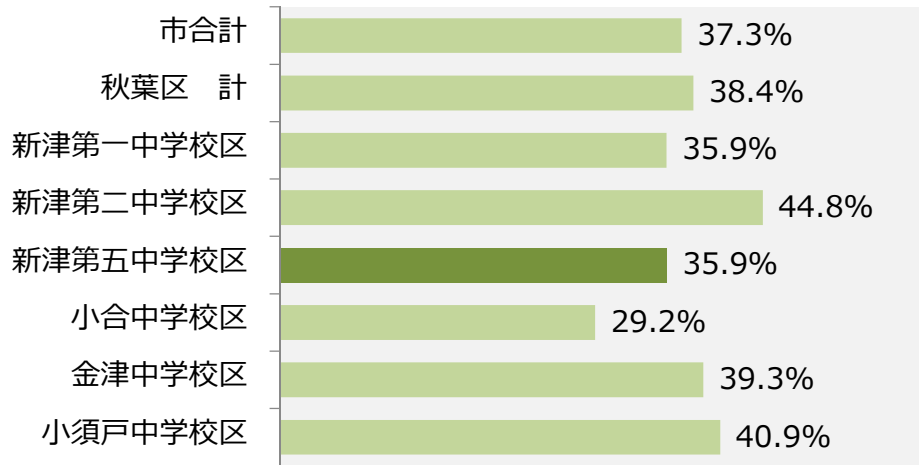
⑦ 2016年人口ピラミッド



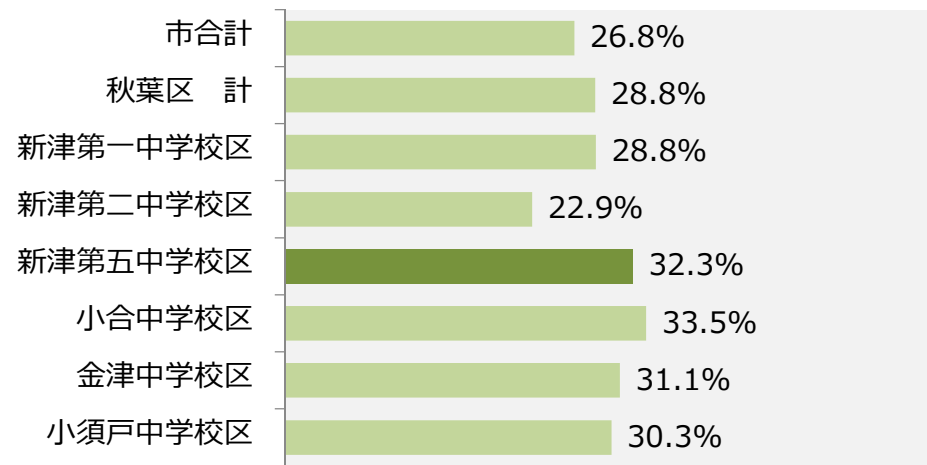


Ⅲ.健康データ（平成27年度新潟市国民健康保険・新潟県後期高齢者医療保険・協会けんぽ健診データ）

①健診受診率

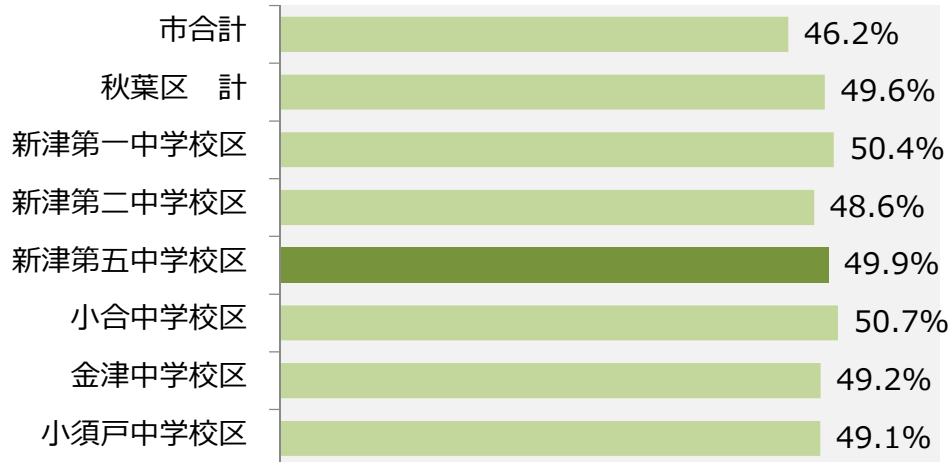


②高齢化率

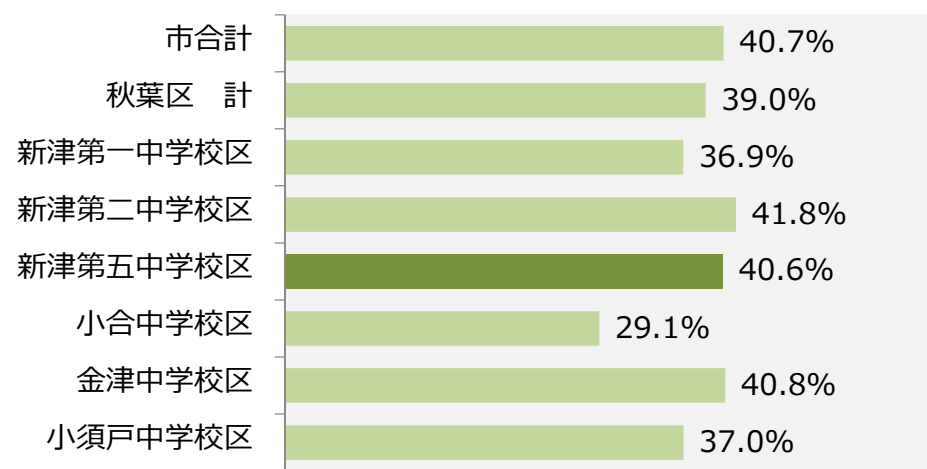


※平成27年9月末時点の住民基本台帳人口を基に算出

③血糖



④血圧（収縮期130mmHg以上）

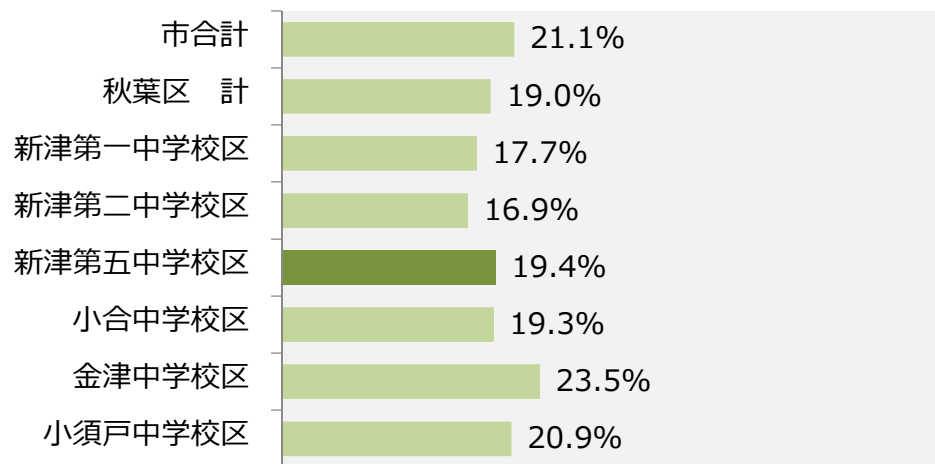


※国民健康保険・後期高齢者医療保険：HbA1c(ヘモグロビンエーワンシー)5.6%以上
協会けんぽ：空腹時血糖100mg/dl以上

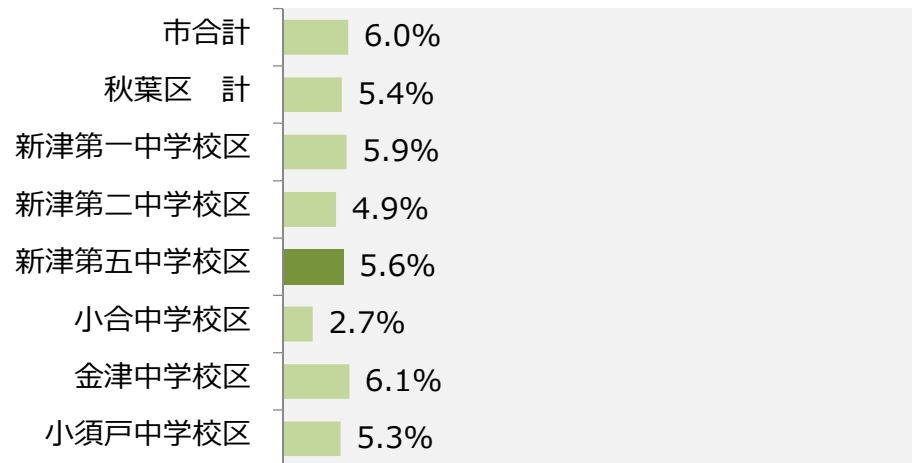
■ HbA1c（ヘモグロビンエーワンシー）
過去1～2か月間の血糖値の平均を反映し、糖尿病の診断にも使われている。

新津第五中学校区

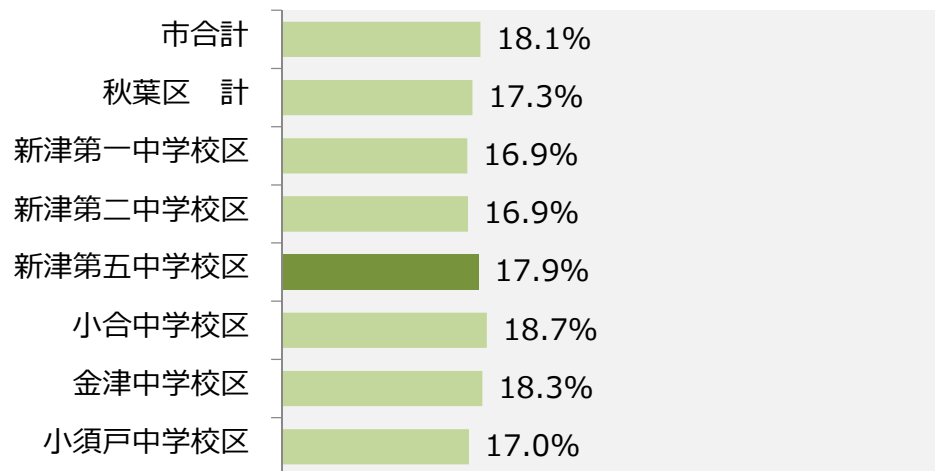
⑤脂質（中性脂肪150mg/dl以上）



⑥3項目(血糖・血圧・脂質)重複該当

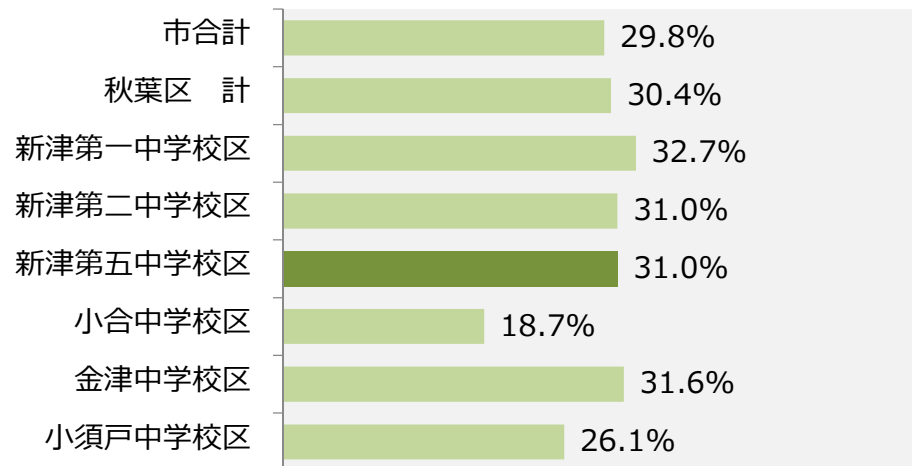


⑦喫煙



※現在、たばこを習慣的に吸っていると回答した人の割合

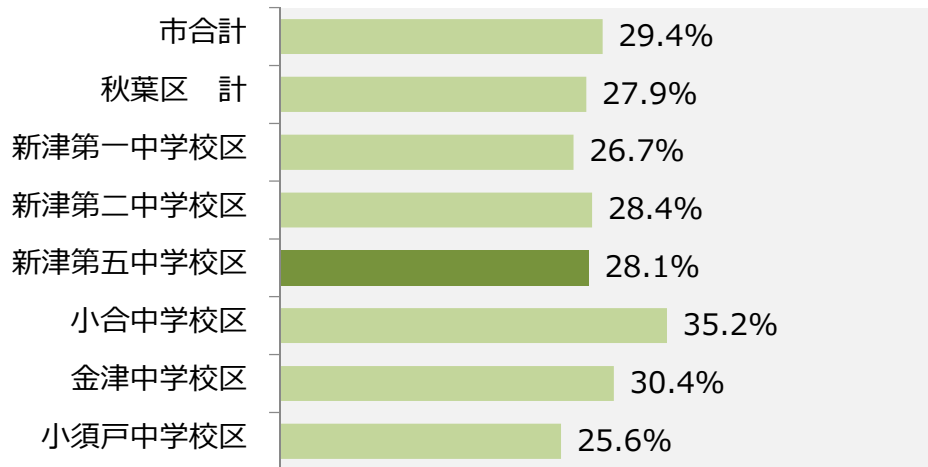
⑧運動習慣



※1日30分以上軽く汗をかく運動を週2回以上、1年以上実施していると回答した人の割合

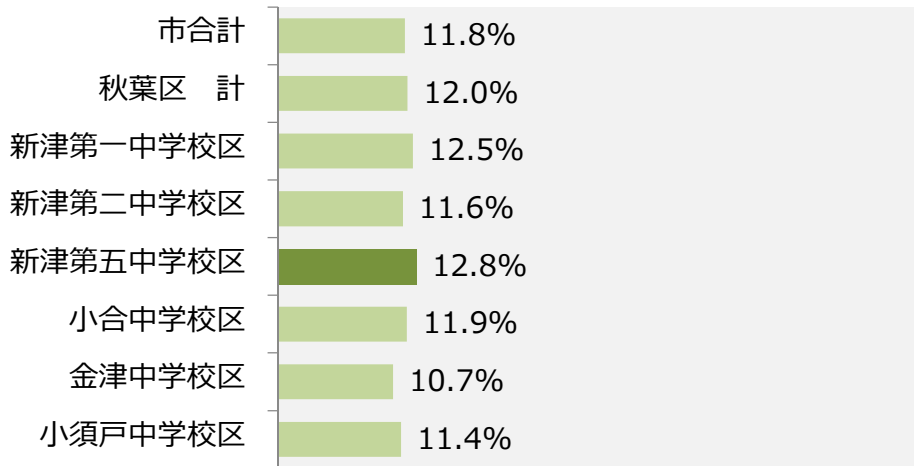
新津第五中学校区

⑨ 飲酒頻度（毎日）



※お酒（清酒、焼酎、ビール、洋酒など）を飲む頻度は【毎日】と回答した人の割合

⑩ 食習慣（夕食後の間食）



※夕食後に間食（3食以外の夜食）をとることが週に3回以上あると回答した人の割合

⑪ 患者予備群、治療放置群等（国保・後期高齢）

	健診 対象者数 (国保+ 後期) 人数	未把握		未通院 患者予備群 治療放置群	
		人数	構成割合	人数	構成割合
新津第一中学校区	7,962	2,377	29.9%	311	3.9%
新津第二中学校区	5,008	1,412	28.2%	184	3.7%
新津第五中学校区	6,627	2,135	32.2%	239	3.6%
小合中学校区	1,185	364	30.7%	37	3.1%
金津中学校区	2,586	747	28.9%	138	5.3%
小須戸中学校区	3,612	1,083	30.0%	140	3.9%
秋葉区 計	26,980	8,118	30.1%	1,049	3.9%

※平成27年度の国保+後期高齢の健診対象者（40歳以上）の状況

未把握・・・健診未受診及び生活習慣病の受診がない

未通院・・・健診において下記項目のいずれかに該当し、医療機関で

診察又は治療の必要があるが、同年中に生活習慣病の受診がない

・血糖：126mg/dl以上又はHbA1c6.5%以上

・血圧：140又は90mmHg以上 ・中性脂肪：300mg/dl以上

・LDLコレステロール：140mg/dl以上 ・HDLコレステロール：35mg/dl未満

■LDLコレステロール

全身の組織へコレステロールを運ぶ働きをしているが、多すぎると動脈硬化をすすめるため、悪玉コレステロールとも言われる。

■HDLコレステロール

善玉コレステロールともいわれ、血管壁に沈着したコレステロールを取り除き肝臓に戻す働きがあり、少ないと動脈硬化をすすめるが、多すぎても問題があるといわれている。

IV.施設データ

1.施設一覧

施設分類	施設名	施設基本情報			避難所	コスト・利用情報						分析領域 ※3	
		複合施設 ※2	建築年			使用面積 (㎡)	コスト 実績(全市平均)			利用率・利用量 実績(全市平均)			
コミュニティ施設	新関コミュニティセンター		H24		600.00		892.0	円/人/回	(928.0)	19.9	%	(26.3)	2
文化施設	新津鉄道資料館(新津地域学園)	A	S41	～ H24	1,764.00	○	964.0	円/人/回	(2,113.6)	157.0	人/日	(45.0)	1
社会教育施設	新津地域学園	A	S41	～ H24	8,012.54	○	563.0	円/人/回	(928.0)	20.0	%	(26.3)	2
社会教育施設	新津図書館	B	H26		2,191.31	○	324.0	円/冊	(508.0)	2.5	倍	(1.9)	1
スポーツ施設	新津B & G海洋センター		S61	～ H6	2,008.51	○	560.0	円/人/回	(794.9)	6.1	人/100㎡/日	(6.0)	1
スポーツ施設	新津七日町運動広場		H8		799.20		-18.0 ※4	円/人/回	(831.8)	5.4	人/日	(117.3)	2
学校教育系施設	阿賀小学校		S58	～ H5	6,783.86	○	74.8	万円/人/年	(81.3)	31.0	㎡/人	(24.1)	2
学校教育系施設	新関小学校		H22	～ H22	4,242.38	○	123.9	万円/人/年	(81.3)	51.1	㎡/人	(24.1)	4
学校教育系施設	新津第二小学校		S38	～ H10	7,083.33	○	51.1	万円/人/年	(81.3)	16.9	㎡/人	(24.1)	1
学校教育系施設	満日小学校		S55	～ H12	2,963.37	○	172.3	万円/人/年	(81.3)	70.6	㎡/人	(24.1)	4
学校教育系施設	新津第五中学校		S59	～ H16	9,683.68	○	72.2	万円/人/年	(88.5)	21.2	㎡/人	(28.5)	1
学校教育系施設	新津第二幼稚園		S62	～ H8	1,064.13	○	75.9	万円/人/年	(74.9)	27.3	㎡/人	(16.4)	4
子育て支援施設	新金沢保育園		S46		566.19	○	107.8	万円/人/年	(106.4)	6.6	㎡/園児数	(8.6)	3
子育て支援施設	新津東保育園		S58	～ H8	766.33	○	85.1	万円/人/年	(106.4)	6.4	㎡/園児数	(8.6)	1
公営住宅	新金沢町住宅		H8	～ H10	2,827.82			-			-		-
公営住宅	中新田住宅		H12	～ H12	1,879.21			-			-		-

施設分類	施設名	施設基本情報			避難所	コスト・利用情報						分析領域 ※3	
		複合施設 ※2	建築年			使用面積 (㎡)	コスト 実績(全市平均)			利用率・利用量 実績(全市平均)			
公共用産業施設	新津地区勤労青少年ホーム		S58	～ H9	1,582.64	○	281.0	円/人/回	(928.0)	43.2	%	(26.3)	1
教育系施設	新津西部学校給食センター		H18		2,030.56		222.0	円/食	(317.8)	1.5	食数/㎡/日	(1.0)	1
教育系施設	新津東部学校給食センター		S58	～ H14	908.27		256.0	円/食	(317.8)	2.0	食数/㎡/日	(1.0)	1
教育系施設	秋葉区教育相談室	B	H26		101.05		116,437.0	円/㎡	(60,394.4)	20.2	㎡/人	(52.6)	3
産業研究施設	新津地区グリーンセンター		S58	～ S59	831.00		-				-		-

※1 平成28年度財産白書（平成27年度決算ベース）から引用

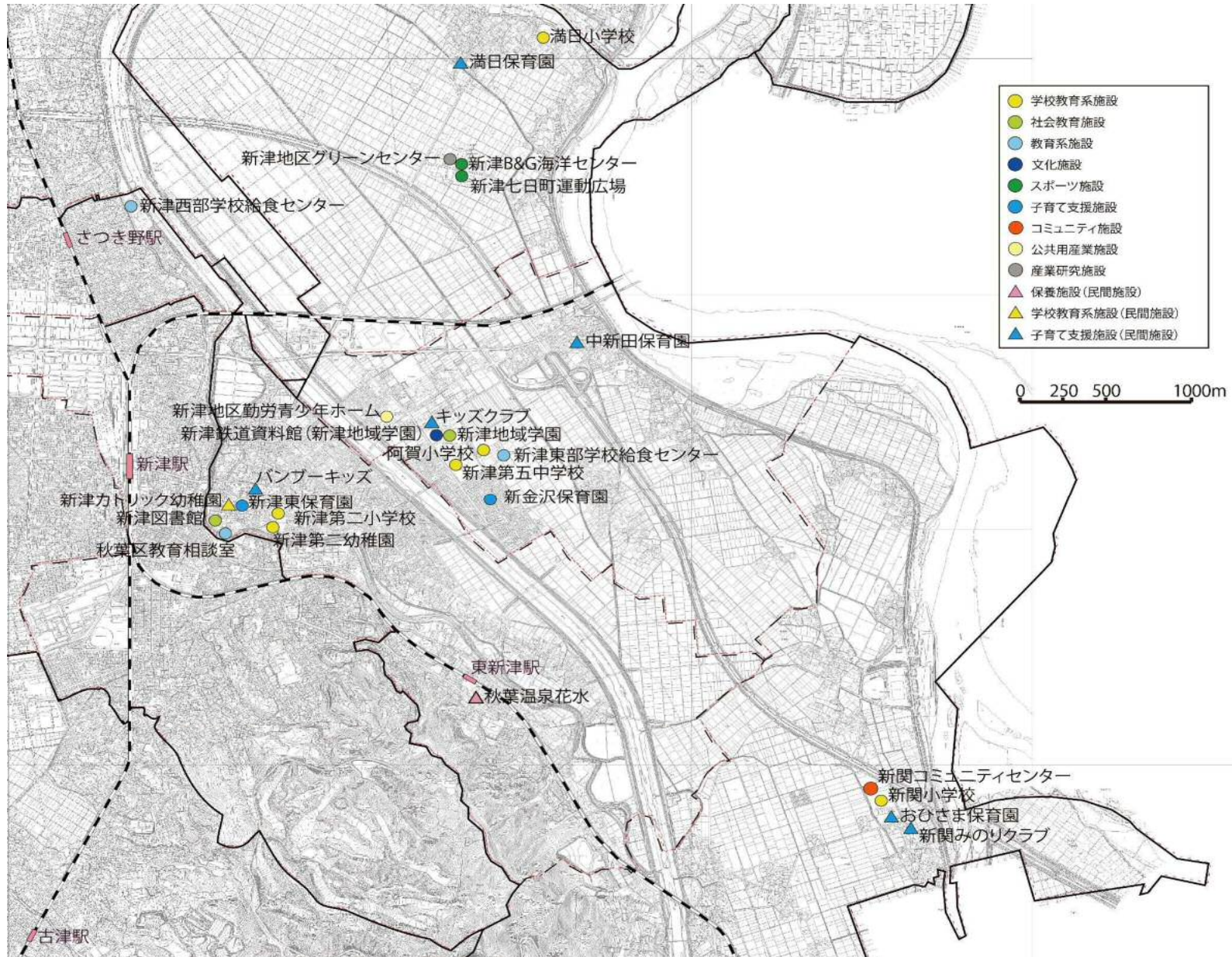
※2 アルファベットが同じものは複合施設

※3 分析領域の番号は下記項目のとおり

- 1.コスト状況、利用状況ともに相対的に良好な施設
- 2.相対的にコストは安いものの、利用が少ない施設
- 3.相対的にコストが高いものの、利用が多い施設
- 4.相対的に高コストかつ、利用が少ない施設

※4 他施設の管理に付随している施設であるため、施設単体で見るとマイナス表記となる

2.施設位置図



※校区の線は概図であり、細部については実際の通学区域と異なる場合があります。

※公営住宅は位置図には未掲載。

新津第五中学校区

小合中学校区 地域カルテ

秋葉区

H30年8月更新

I.地域の基礎データ

1.中学校区の概要

小合地域は、信濃川に隣接し秋葉区の西側に位置しています。豊かな田園地帯の中には、花卉園芸・稲作・電子産業・アパレル・環境リサイクル産業などが点在しています。

地域内には、東西に国道460号が通っているほか、東は国道403号にも接しており良好な交通アクセスが確保されています。

地域の中央には、小合地区コミュニティセンターがあり地域活動の拠点として活用されています。

地域の歴史は、西暦1400年代まで遡り、1600年代までには現在の14集落（大鹿、子成場、浦興野、出戸、梅ノ木、蕨曾根、四ツ興野、栗宮、大秋、川根、小屋場、小戸上組、小戸下組、野方）全てが開墾されたと言われてしています。

小合地域は、日本におけるチューリップ商業栽培発祥の地でもあり、現在は生産量全国一のアザレアの他、シャクナゲ・クリスマスローズ・椿など、全国有数の花の産地になっています。

また、地域内には洪水から地域を守るための大秋排水機場（1979年完成）や秋葉区の気象観測所（アメダス）、「琵琶湖周航の歌」原曲の「ひつじぐさ」を作曲した吉田千秋の生家（国登録有形文化財）などの史跡、小戸下組獅子舞（新潟市指定文化財）をはじめとした地域の獅子舞や神楽舞などの伝統芸能、市指定の保存樹、銘木なども多数あります。

コミュニティ協議会※

小合地域コミュニティ協議会

小学校

小合東小学校

小合小学校

※中学校区の区域とコミュニティ協議会の区域は必ずしも一致しない。

位置図



小合中学校区

Ⅱ.人口

1.人口・世帯数(住民基本台帳)

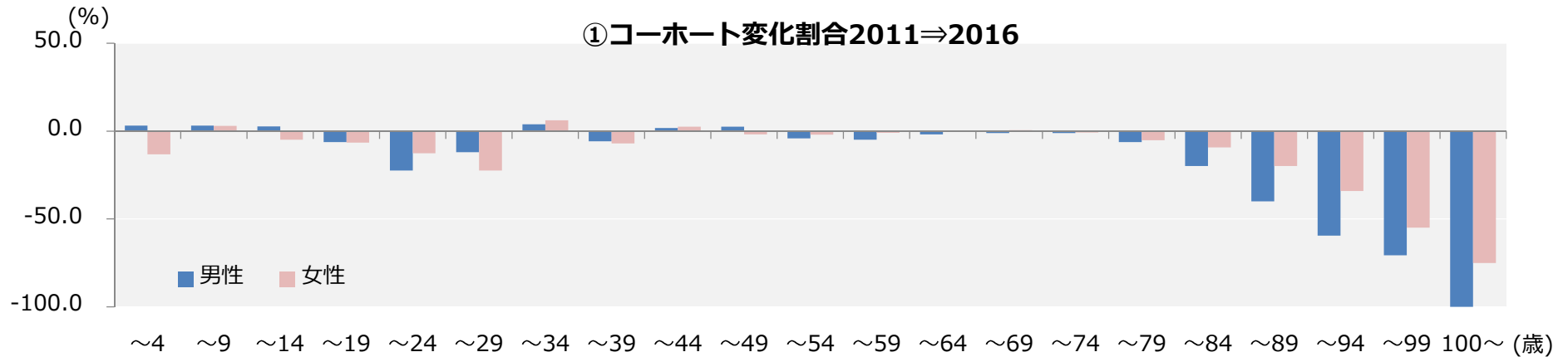
	総数	男	女	0～14歳	15歳～64歳	65歳以上	うち75歳以上	世帯数	1世帯当たり 世帯人員
								(人)	(世帯)
2011年	4,080	1,975 48.4%	2,105 51.6%	441 10.8%	2,416 59.2%	1,223 30.0%	728 17.8%	1,180	3.46
2016年	3,887	1,883 48.4%	2,004 51.6%	396 10.2%	2,114 54.4%	1,377 35.4%	766 19.7%	1,249	3.11
増減	-193 -4.7%	-92 -4.7%	-101 -4.8%	-45 -10.2%	-302 -12.5%	154 12.6%	38 5.2%	69	-0.35

2.人口推計

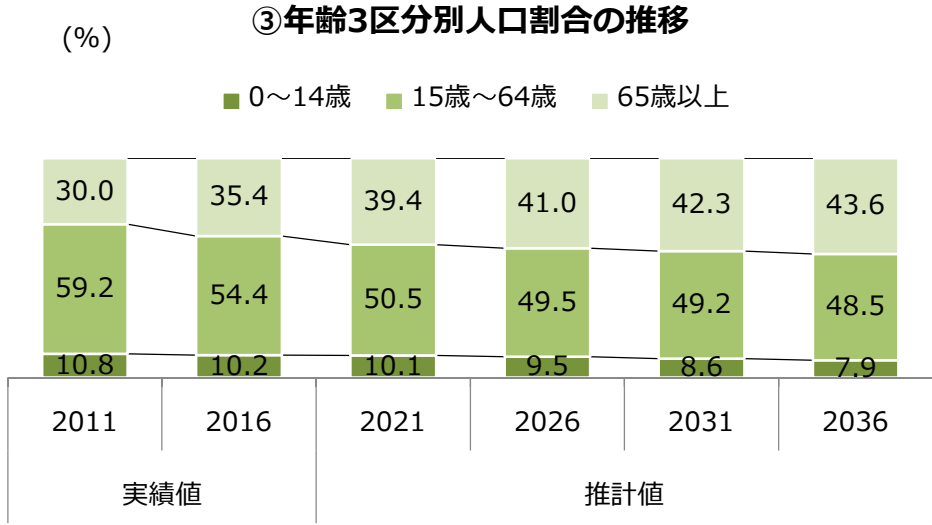
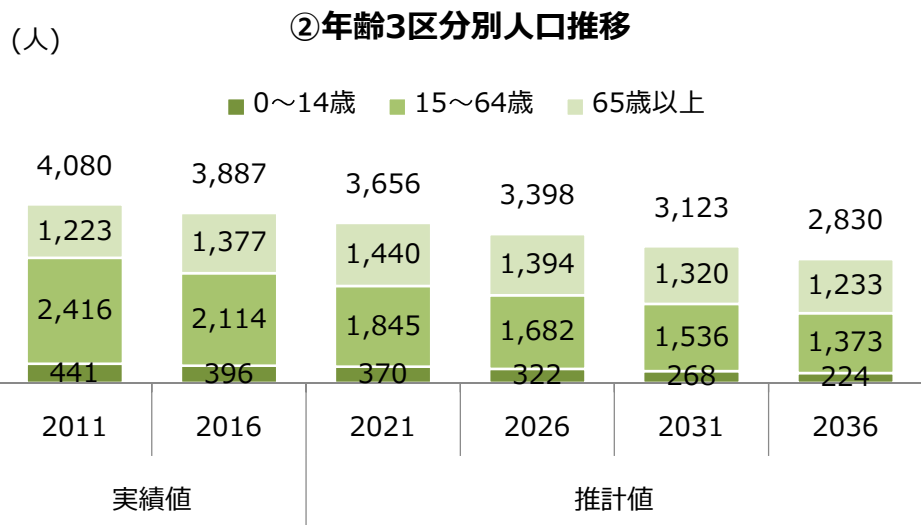
	総数	男	女	0～14歳	15歳～64歳	65歳以上	うち75歳以上
2021年	3,656	1,775 48.6%	1,881 51.4%	370 10.1%	1,845 50.5%	1,440 39.4%	737 20.2%
2026年	3,398	1,657 48.8%	1,741 51.2%	322 9.5%	1,682 49.5%	1,394 41.0%	844 24.8%
2031年	3,123	1,526 48.9%	1,597 51.1%	268 8.6%	1,536 49.2%	1,320 42.3%	880 28.2%
2036年	2,830	1,379 48.7%	1,451 51.3%	224 7.9%	1,373 48.5%	1,233 43.6%	812 28.7%
2016-2036 増減	-1,057 -27.2%	-504 -26.7%	-553 -27.6%	-172 -43.5%	-741 -35.0%	-144 -10.5%	46 6.0%

- 人口は、2016年の3,887人から2036年には2,830人と27.2%減少する。
- 老年人口は、2021年に1,440人でピークを迎え、その後減少していくが、老年人口割合は35.4%から43.6%に増加する。
- 年少人口は、2016年の396人から2036年には224名となり、43.5%減少する。
- 生産年齢人口は、2016年の2,114人から2036年には1,373人となり、35.0%減少する。

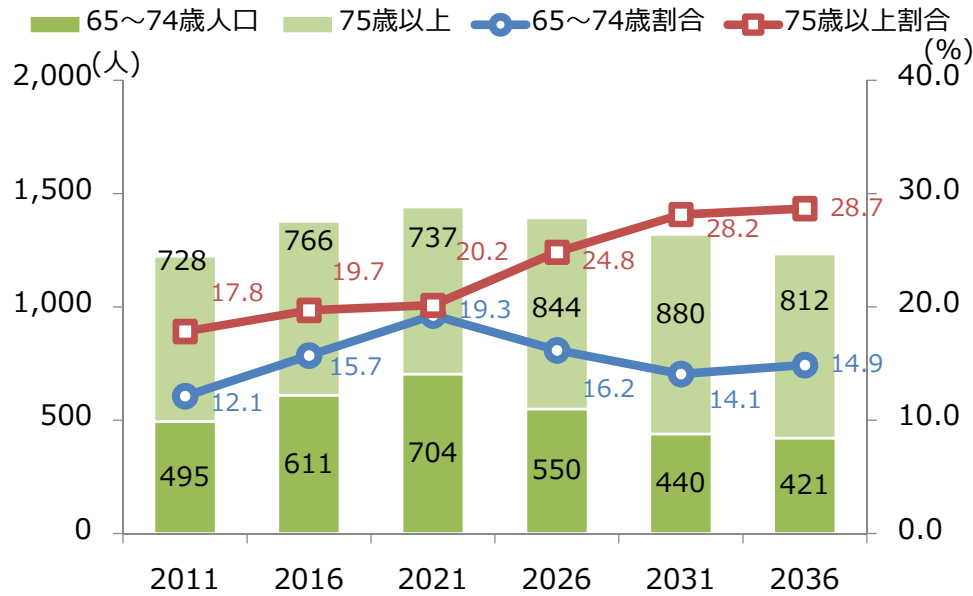
3.人口推計グラフ



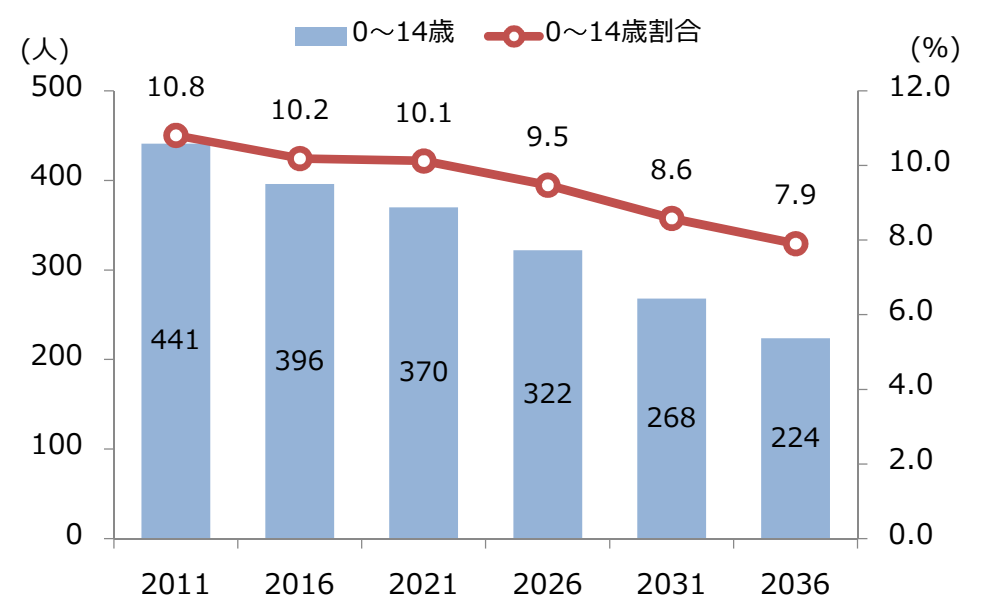
○就職に至る20~24歳の年代だけでなく、25~29歳の年代においても変化割合が1割以上のマイナスとなっている。
 ○変化割合が大きくプラスとなっている年代はないが、30~34歳の年代がプラスとなっており、5~9歳人口のプラスの要因のひとつと考えられる。



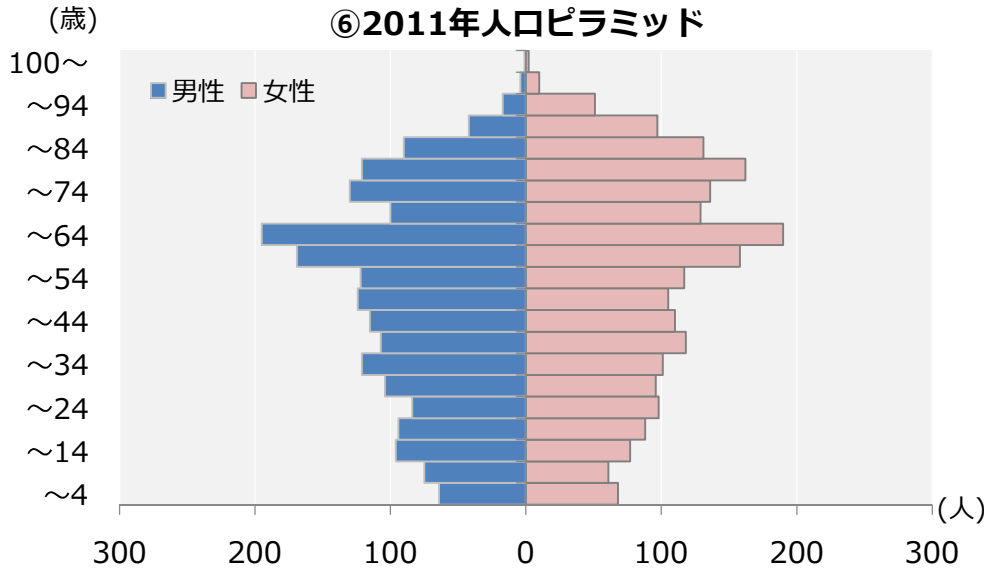
④ 高齢者人口の推移



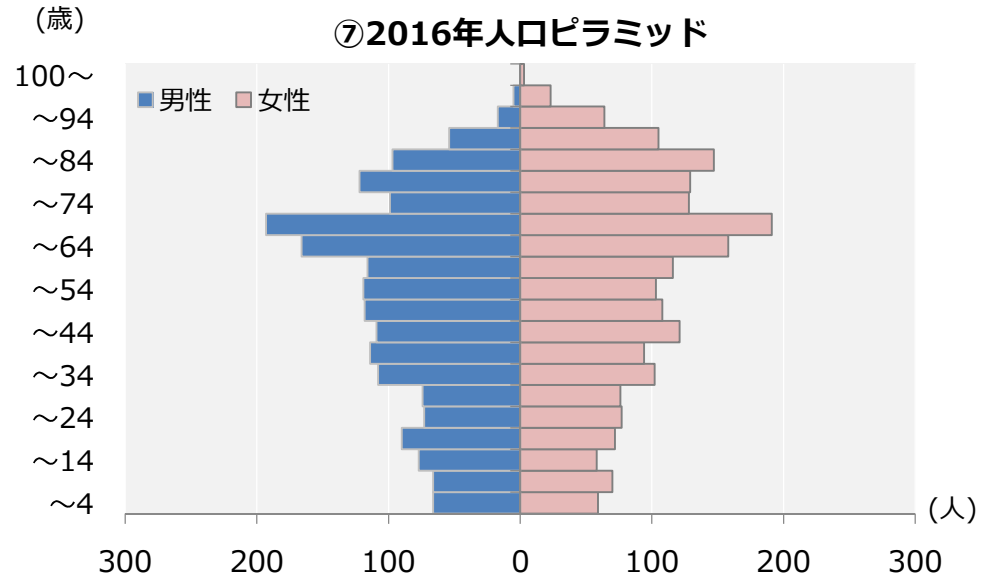
⑤ 年少人口の推移



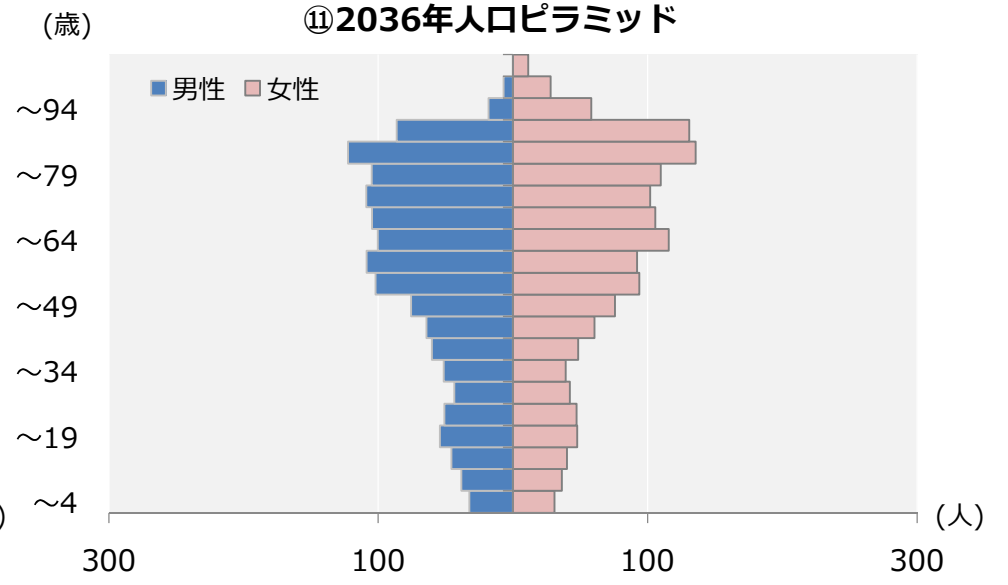
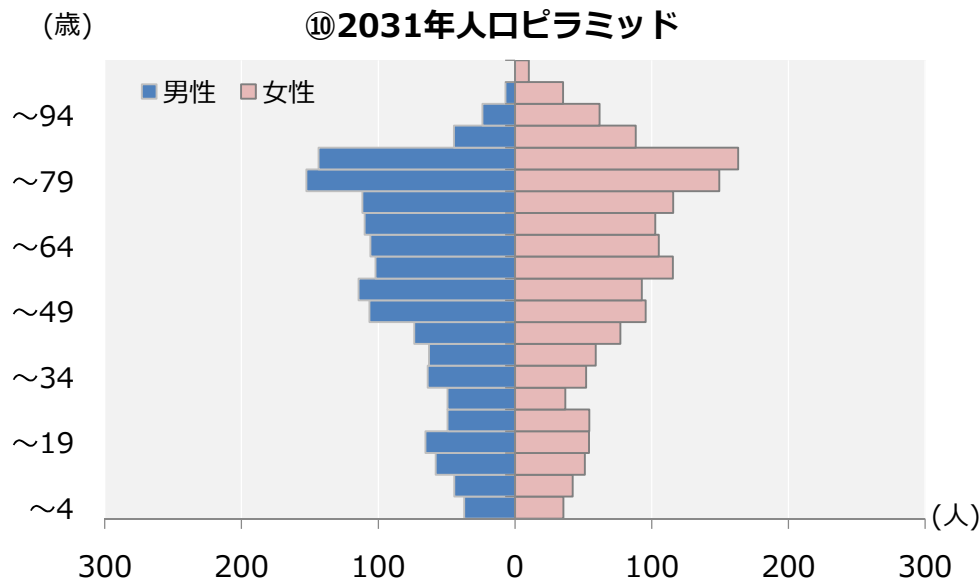
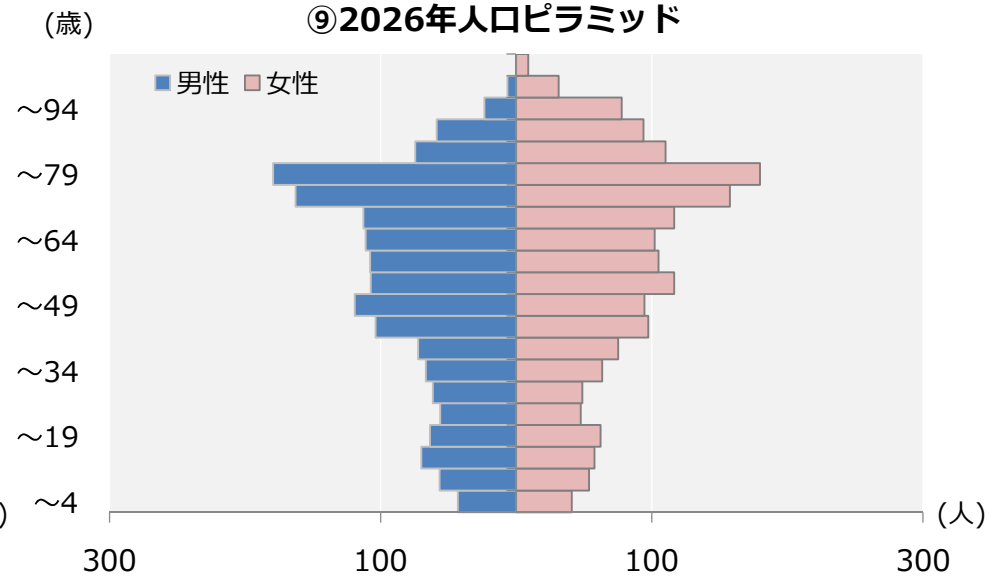
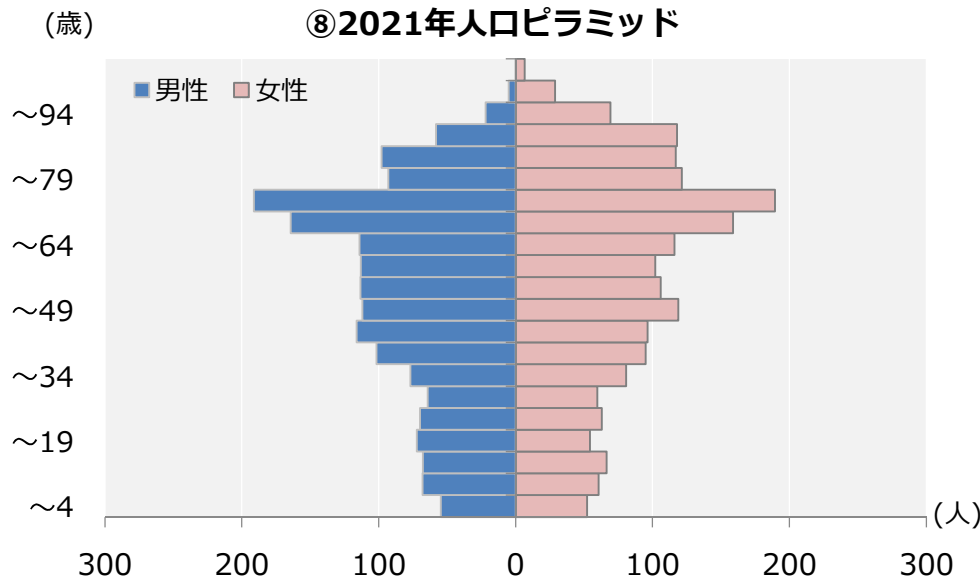
⑥ 2011年人口ピラミッド



⑦ 2016年人口ピラミッド

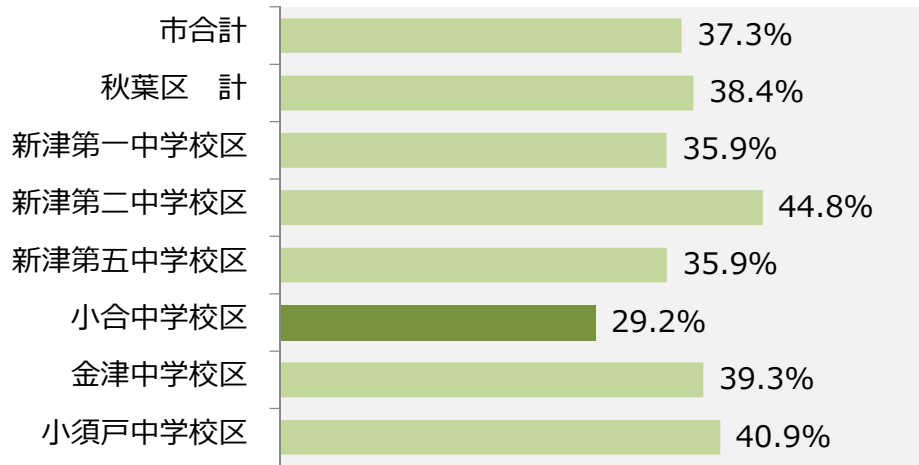


小合中学校区

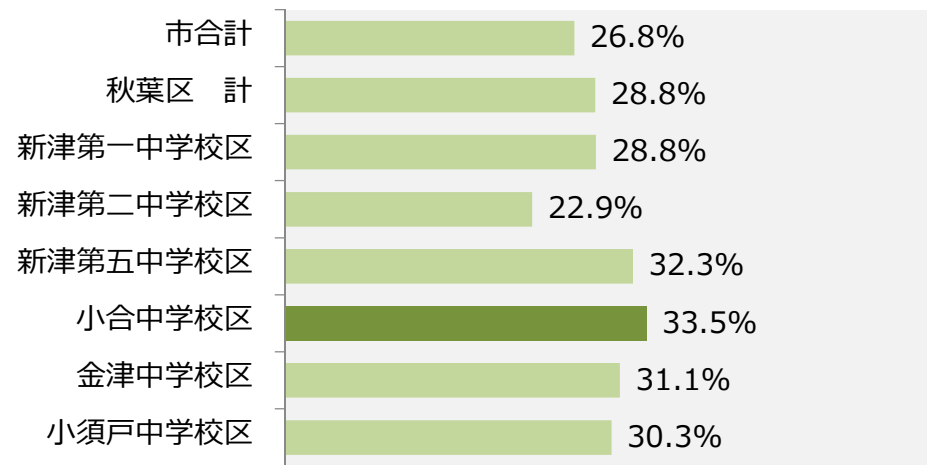


Ⅲ.健康データ（平成27年度新潟市国民健康保険・新潟県後期高齢者医療保険・協会けんぽ健診データ）

①健診受診率

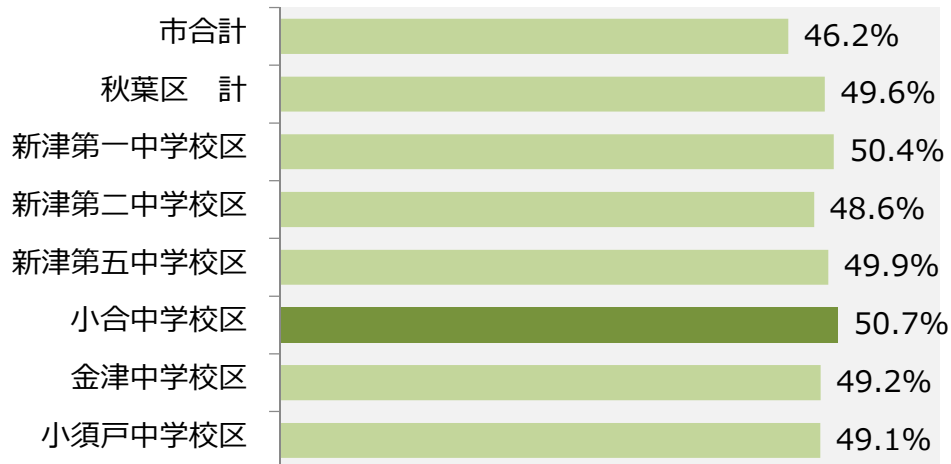


②高齢化率

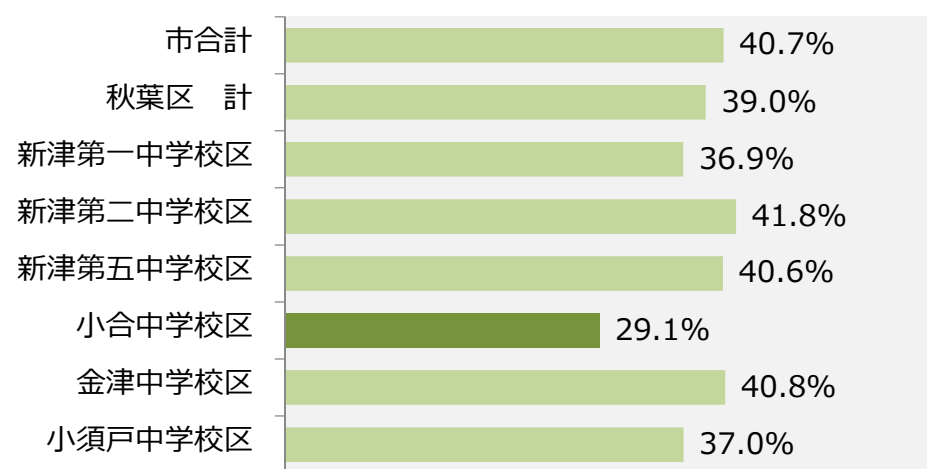


※平成27年9月末時点の住民基本台帳人口を基に算出

③血糖



④血圧（収縮期130mmHg以上）

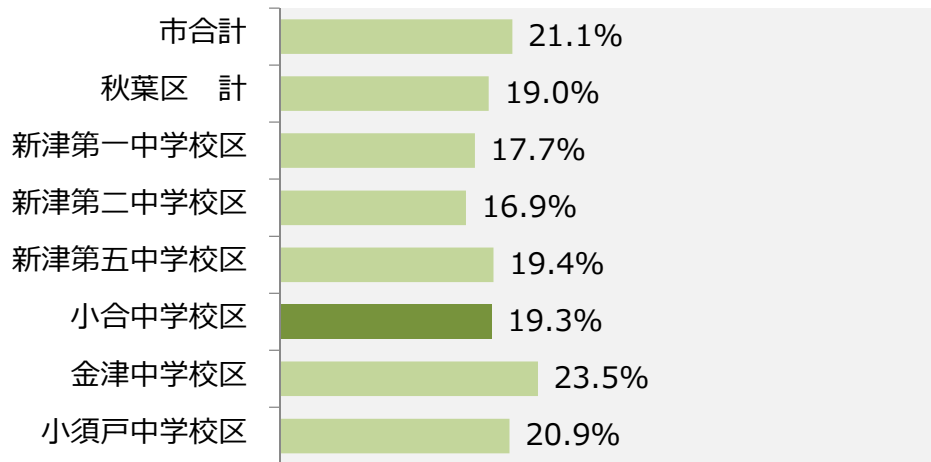


※国民健康保険・後期高齢者医療保険：HbA1c(ヘモグロビンエーワンシー)5.6%以上
協会けんぽ：空腹時血糖100mg/dl以上

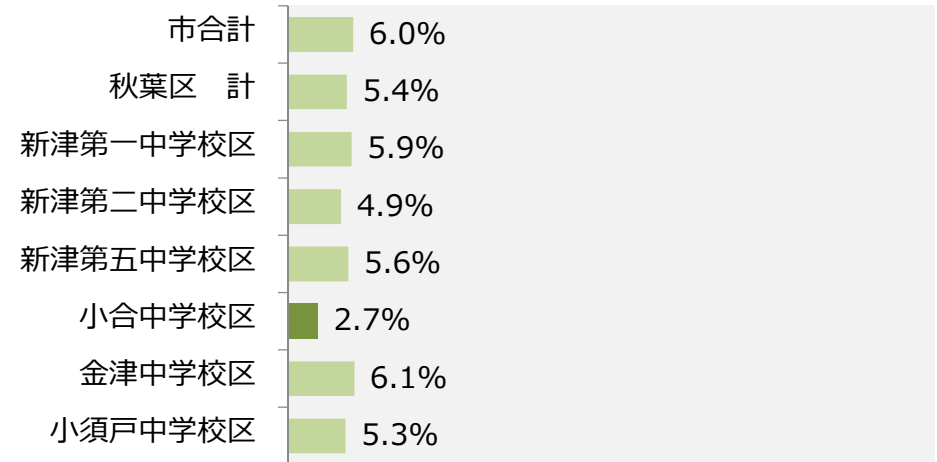
■HbA1c（ヘモグロビンエーワンシー）
過去1～2か月間の血糖値の平均を反映し、糖尿病の診断にも使われている。

小合中学校区

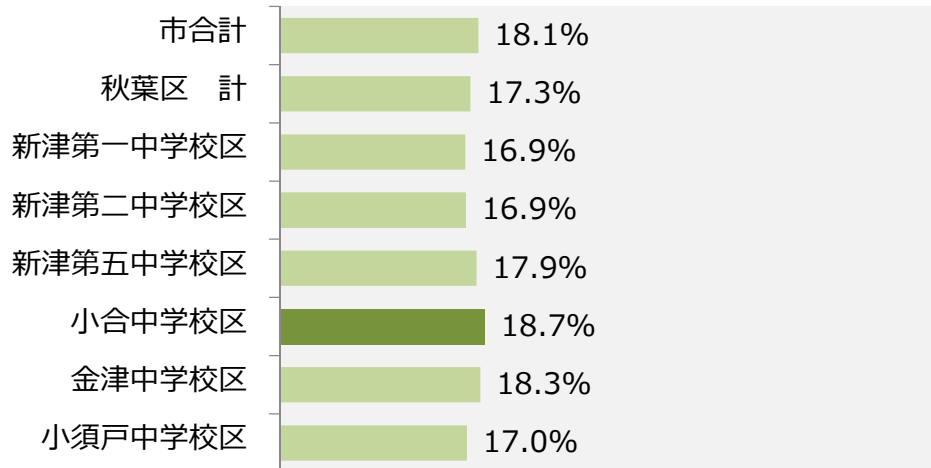
⑤脂質（中性脂肪150mg/dl以上）



⑥3項目(血糖・血圧・脂質)重複該当

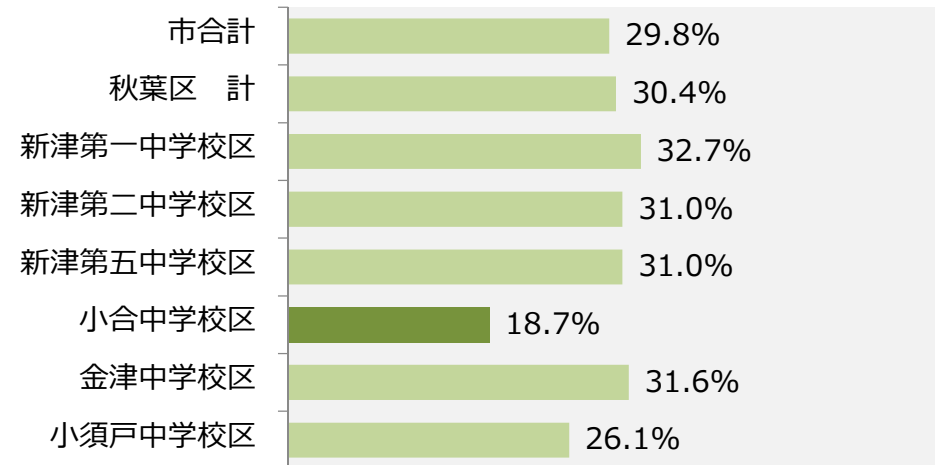


⑦喫煙



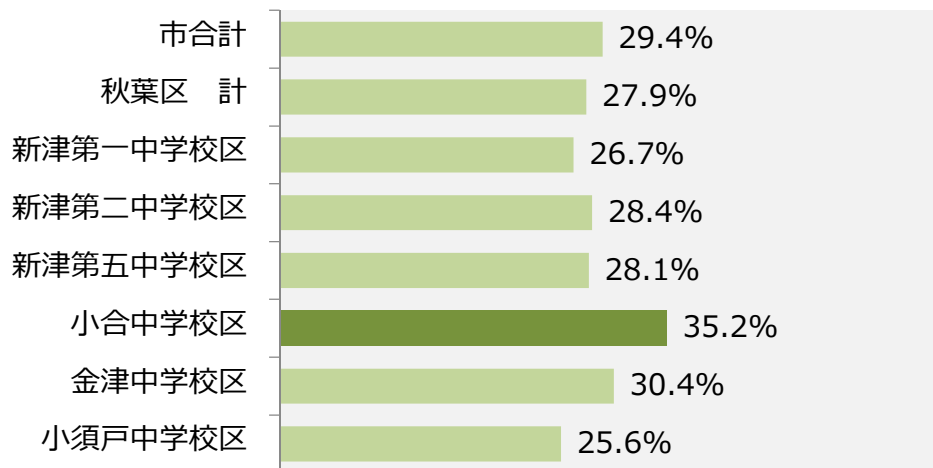
※現在、たばこを習慣的に吸っていると回答した人の割合

⑧運動習慣



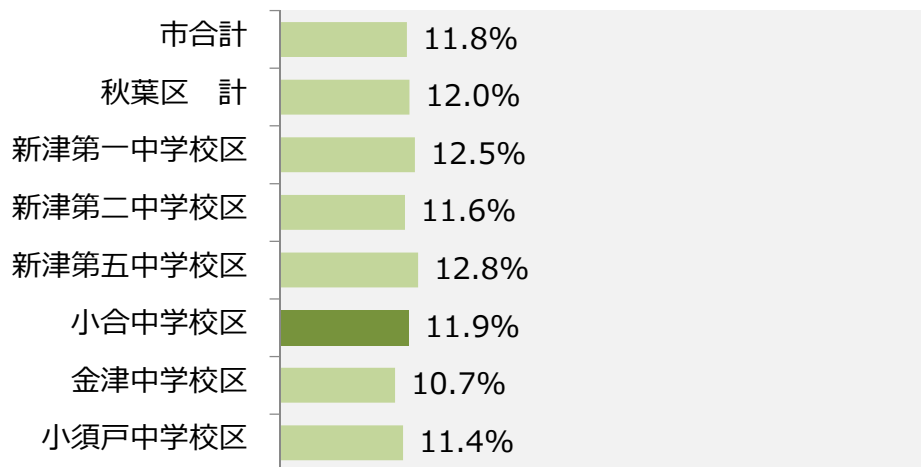
※1日30分以上軽く汗をかく運動を週2回以上、1年以上実施していると回答した人の割合

⑨ 飲酒頻度（毎日）



※お酒（清酒、焼酎、ビール、洋酒など）を飲む頻度は【毎日】と回答した人の割合

⑩ 食習慣（夕食後の間食）



※夕食後に間食（3食以外の夜食）をとることが週に3回以上あると回答した人の割合

⑪ 患者予備群、治療放置群等（国保・後期高齢）

	健診 対象者数 (国保+ 後期) 人数	未把握		未通院 患者予備群 治療放置群	
		人数	構成割合	人数	構成割合
新津第一中学校区	7,962	2,377	29.9%	311	3.9%
新津第二中学校区	5,008	1,412	28.2%	184	3.7%
新津第五中学校区	6,627	2,135	32.2%	239	3.6%
小合中学校区	1,185	364	30.7%	37	3.1%
金津中学校区	2,586	747	28.9%	138	5.3%
小須戸中学校区	3,612	1,083	30.0%	140	3.9%
秋葉区 計	26,980	8,118	30.1%	1,049	3.9%

※平成27年度の国保+後期高齢の健診対象者（40歳以上）の状況

未把握・・・健診未受診及び生活習慣病の受診がない

未通院・・・健診において下記項目のいずれかに該当し、医療機関で

診察又は治療の必要があるが、同年中に生活習慣病の受診がない

・血糖：126mg/dl以上又はHbA1c6.5%以上

・血圧：140又は90mmHg以上 ・中性脂肪：300mg/dl以上

・LDLコレステロール：140mg/dl以上 ・HDLコレステロール：35mg/dl未満

■ LDLコレステロール

全身の組織へコレステロールを運ぶ働きをしているが、多すぎると動脈硬化をすすめるため、悪玉コレステロールとも言われる。

■ HDLコレステロール

善玉コレステロールともいわれ、血管壁に沈着したコレステロールを取り除き肝臓に戻す働きがあり、少ないと動脈硬化をすすめるが、多すぎても問題があるといわれている。

IV.施設データ

1.施設一覧

施設分類	施設名	施設基本情報			避難所	コスト・利用情報						分析領域 ※3		
		複合施設 ※2	建築年			使用面積 (㎡)	コスト 実績(全市平均)			利用率・利用量 実績(全市平均)				
コミュニティ施設	小合地区コミュニティセンター		H9	～	H16	930.00	○	491.0	円/人/回	(928.0)	25.1	%	(26.3)	2
学校教育系施設	小合小学校		S41	～	H8	2,864.07	○	120.8	万円/人/年	(81.3)	34.1	㎡/人	(24.1)	4
学校教育系施設	小合東小学校		S50	～	H3	2,998.03	○	178.6	万円/人/年	(81.3)	42.8	㎡/人	(24.1)	4
学校教育系施設	小合中学校		S44	～	H26	2,563.57	○	132.1	万円/人/年	(88.5)	30.5	㎡/人	(28.5)	4
学校教育系施設	小合東幼稚園		H4			636.60	○	115.7	万円/人/年	(74.9)	19.9	㎡/人	(16.4)	4

※1 平成28年度財産白書（平成27年度決算ベース）から引用

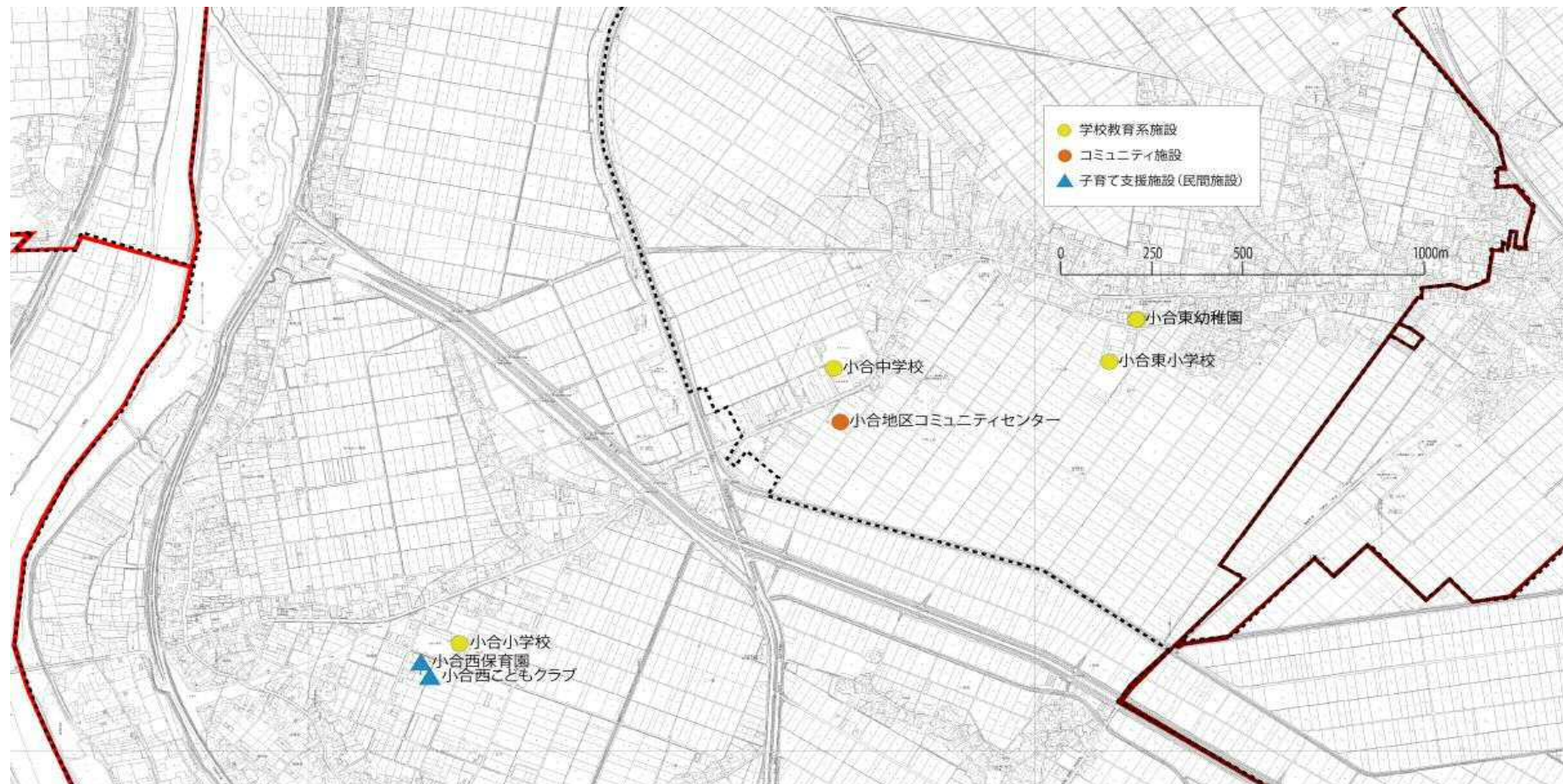
※2 アルファベットが同じものは複合施設

※3 分析領域の番号は下記項目のとおり

- 1.コスト状況、利用状況ともに相対的に良好な施設
- 3.相対的にコストが高いものの、利用が多い施設

- 2.相対的にコストは安いものの、利用が少ない施設
- 4.相対的に高コストかつ、利用が少ない施設

2.施設位置図



※校区の線は概図であり、細部については実際の通学区域と異なる場合があります。

金津中学校区 地域カルテ

秋葉区

H30年8月更新

I. 地域の基礎データ

1. 中学校区の概要

秋葉区の南東部に位置し、明治から昭和にかけて金津丘陵の金津、塩谷、朝日地区で石油の採油が行われ、全国でも有数の産油地として栄えました。現在では里山、石油産業遺産、県立植物園、美術館、古津八幡山遺跡等観光資源が多くあり、県内外から多くの人々が訪れており、平成30年には里山にある2つの自治会・町内会が「移住推進モデル地区」に指定されました。

古津八幡山遺跡は、弥生時代後期の大規模な高地性環濠集落であり、環濠・竪穴住居・土坑・墓（方形周溝墓・土器棺墓・前方後方形周溝墓）が発掘されました。出土した遺物は、北陸系・東北系・両者折衷の在地系の3系統にわたっており各方面との往来があったものと考えられます。

コミュニティ協議会※

金津コミュニティ振興協議会

小学校

金津小学校

※中学校区の区域とコミュニティ協議会の区域は必ずしも一致しない。

位置図



金津中学校区

Ⅱ.人口

1.人口・世帯数(住民基本台帳)

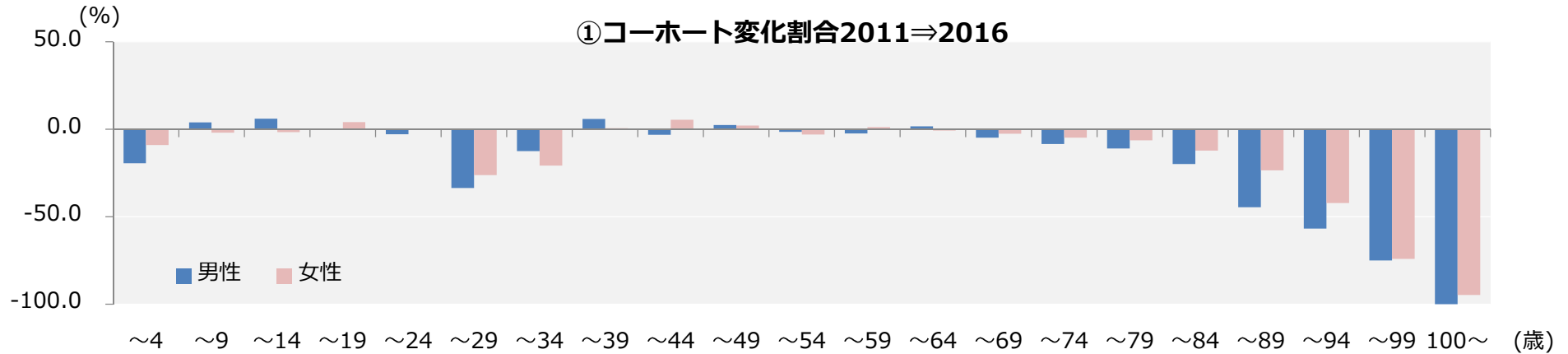
	総数	男	女	0～14歳	15歳～64歳	(人)		世帯数	1世帯当たり 世帯人員
						65歳以上	うち75歳以上		
2011年	7,341	3,559	3,782	757	4,707	1,877	1,019	2,618	2.80
		48.5%	51.5%	10.3%	64.1%	25.6%	13.9%		
2016年	6,912	3,352	3,560	637	4,045	2,230	1,052	2,683	2.58
		48.5%	51.5%	9.2%	58.5%	32.3%	15.2%		
増減	-429	-207	-222	-120	-662	353	33	65	-0.23
	-5.8%	-5.8%	-5.9%	-15.9%	-14.1%	18.8%	3.2%		

2.人口推計

	総数	男	女	0～14歳	15歳～64歳	65歳以上	うち75歳以上
2021年	6,435	3,134	3,301	526	3,566	2,344	1,071
		48.7%	51.3%	8.2%	55.4%	36.4%	16.6%
2026年	5,935	2,899	3,036	444	3,144	2,346	1,330
		48.8%	51.2%	7.5%	53.0%	39.5%	22.4%
2031年	5,413	2,640	2,774	373	2,787	2,254	1,390
		48.8%	51.2%	6.9%	51.5%	41.6%	25.7%
2036年	4,861	2,355	2,506	313	2,450	2,098	1,329
		48.5%	51.5%	6.4%	50.4%	43.2%	27.3%
2016-2036 増減	-2,051	-997	-1,054	-324	-1,595	-132	277
	-29.7%	-29.7%	-29.6%	-50.9%	-39.4%	-5.9%	26.3%

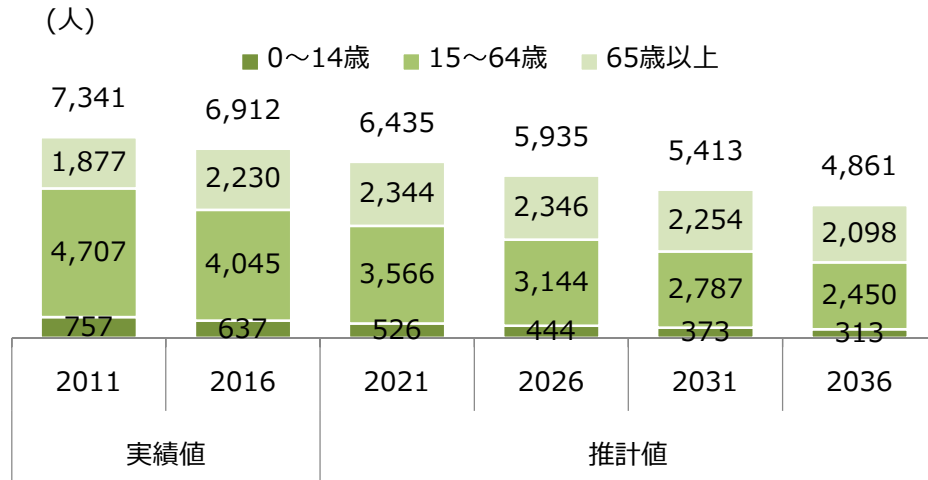
- 人口は、2016年の6,912人から2036年には4,861人と29.7%減少する。
- 老年人口は、2026年に2,346人でピークを迎え、その後減少していくが、老年人口割合は32.3%から43.2%に増加する。
- 年少人口は、2016年の637人から2036年には313名となり、50.9%減少する。
- 生産年齢人口は、2016年の4,045人から2036年には2,450人となり、39.4%減少する。

3.人口推計グラフ

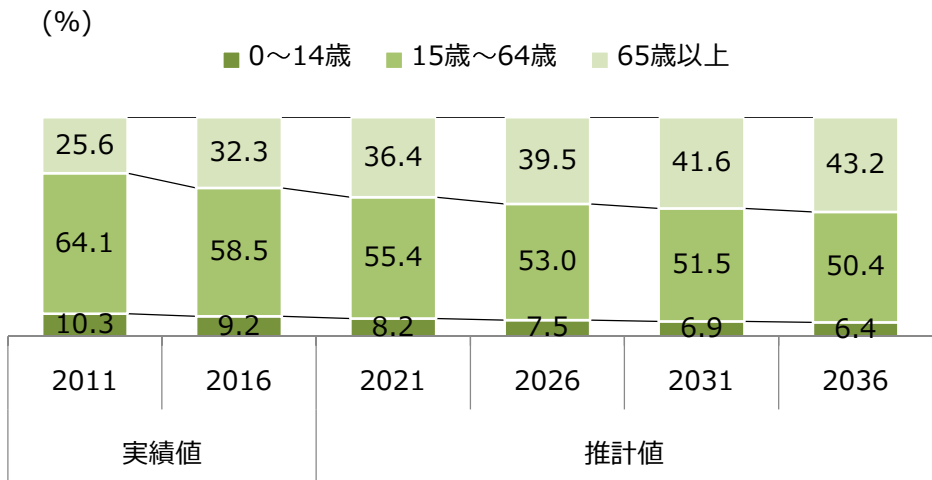


○就職に至る20~24歳の年代ではなく、25~29歳、30~34歳の年代においても変化割合が1割以上のマイナスとなっている。
 ○変化割合が大きくプラスとなっている年代はないが、35~39歳、40~44歳、45~49歳の年代がプラスとなっており、5~9歳、10~14歳、15~19歳人口のプラスの要因のひとつと考えられる。

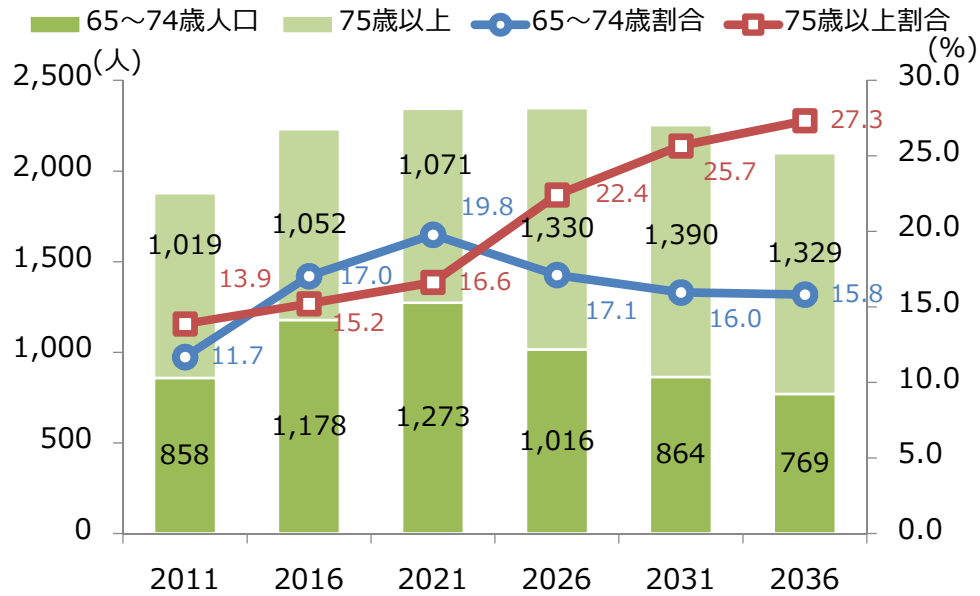
② 年齢3区分別人口推移



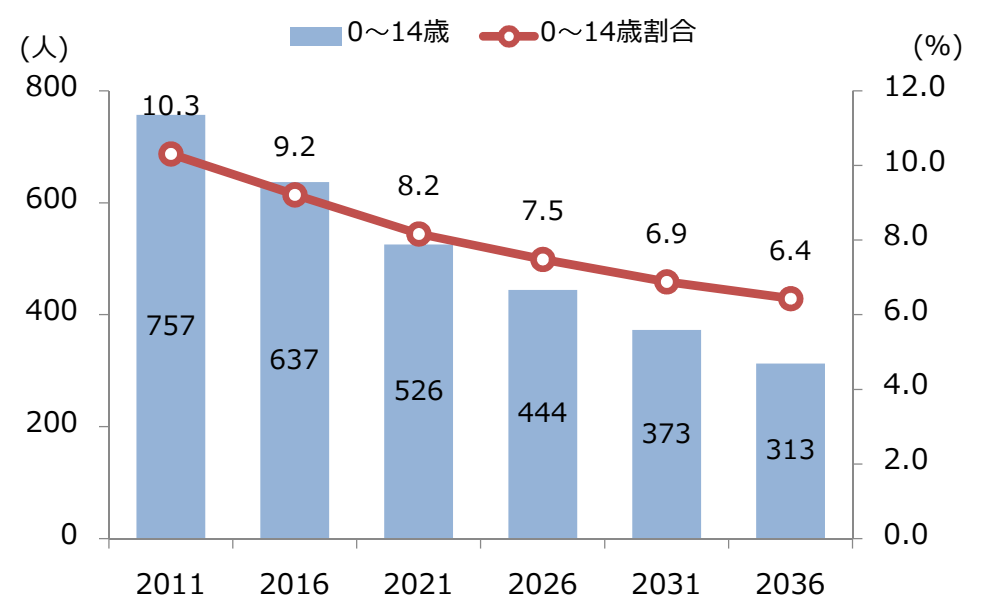
③ 年齢3区分別人口割合の推移



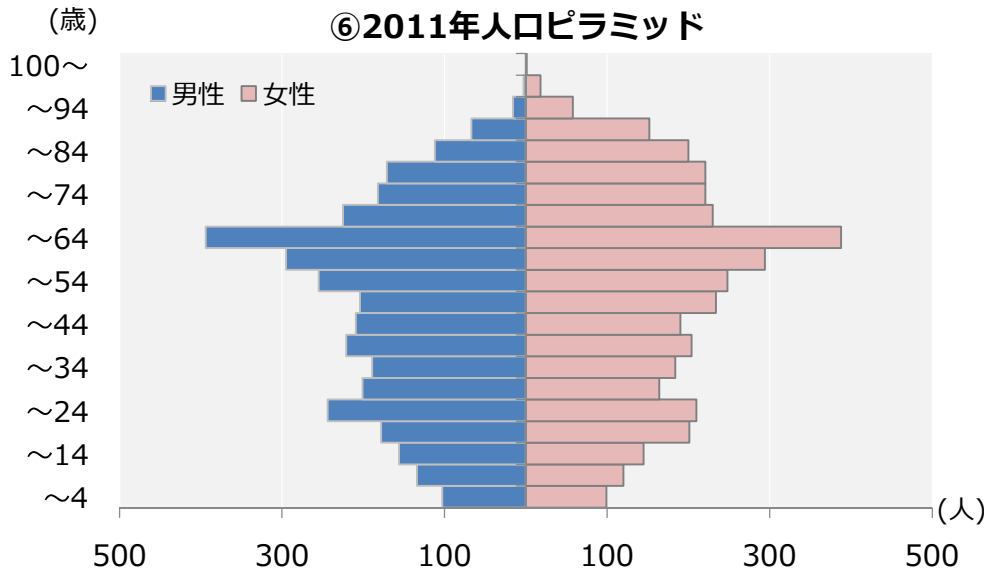
④ 高齢者人口の推移



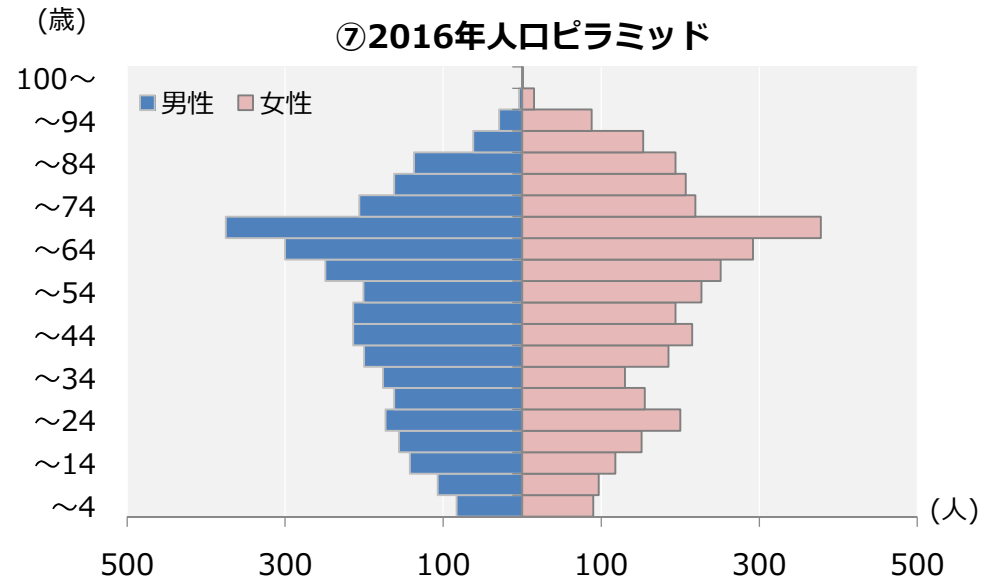
⑤ 年少人口の推移



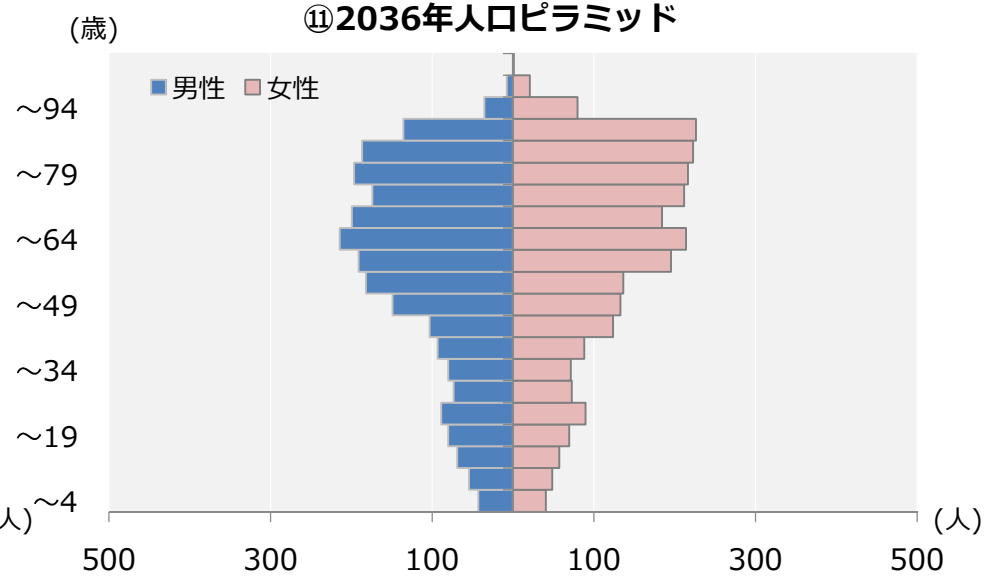
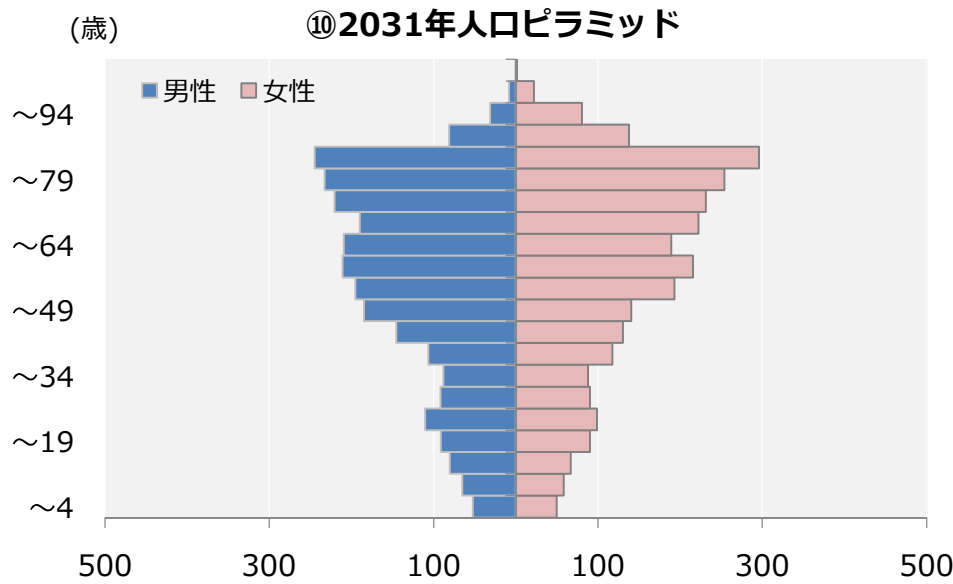
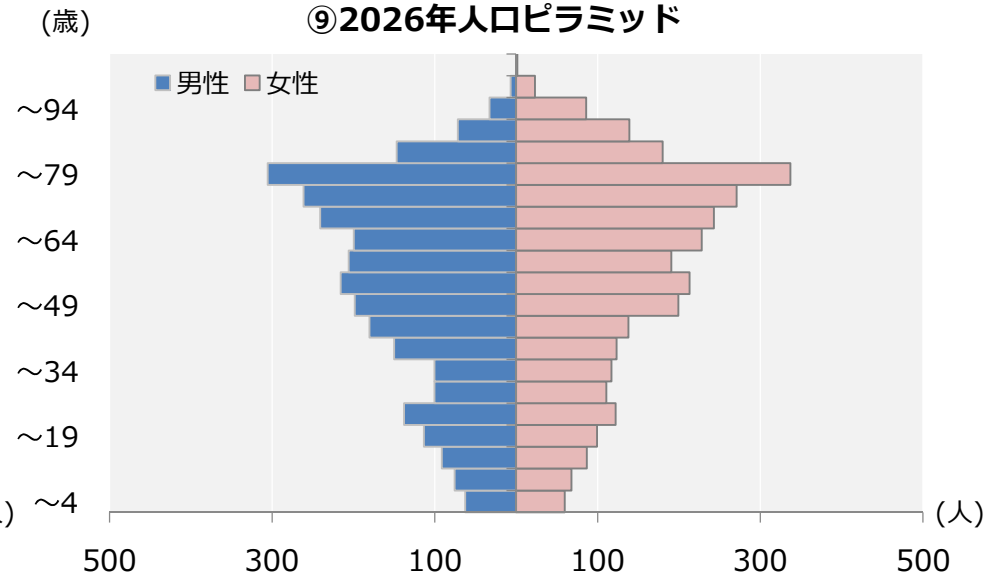
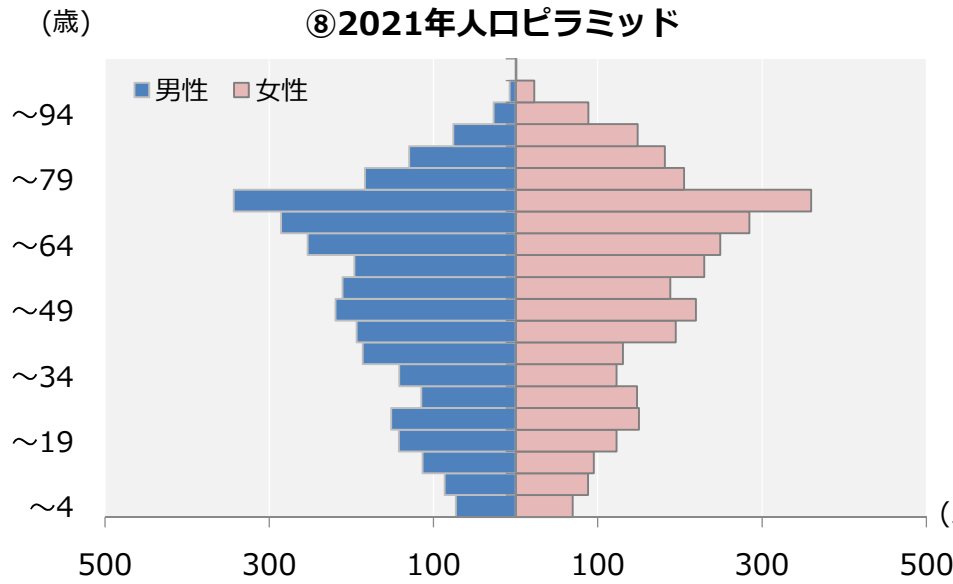
⑥ 2011年人口ピラミッド



⑦ 2016年人口ピラミッド

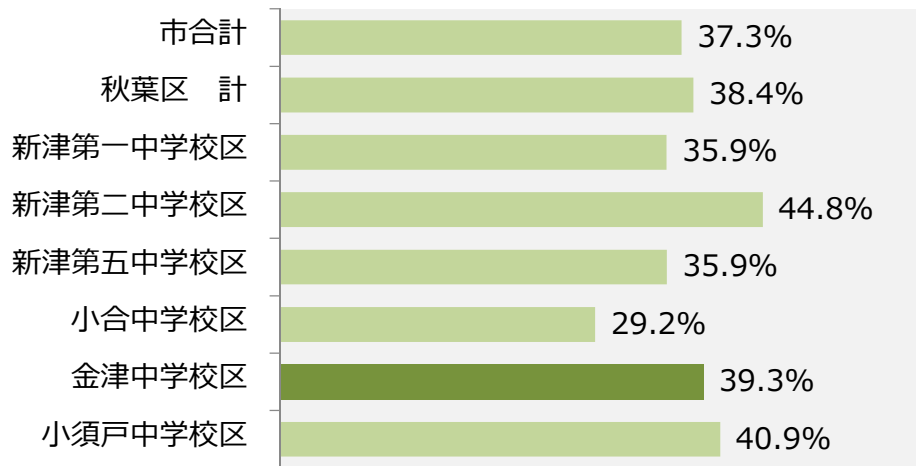


金津中学校区

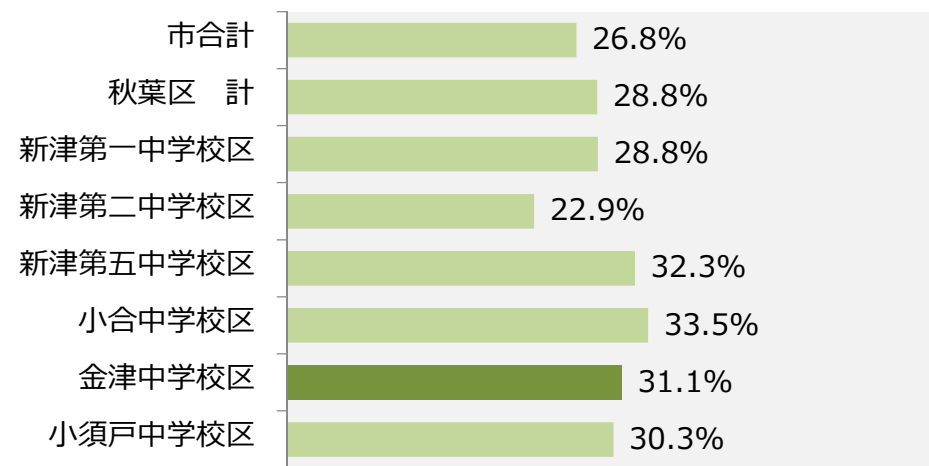


Ⅲ.健康データ（平成27年度新潟市国民健康保険・新潟県後期高齢者医療保険・協会けんぽ健診データ）

①健診受診率

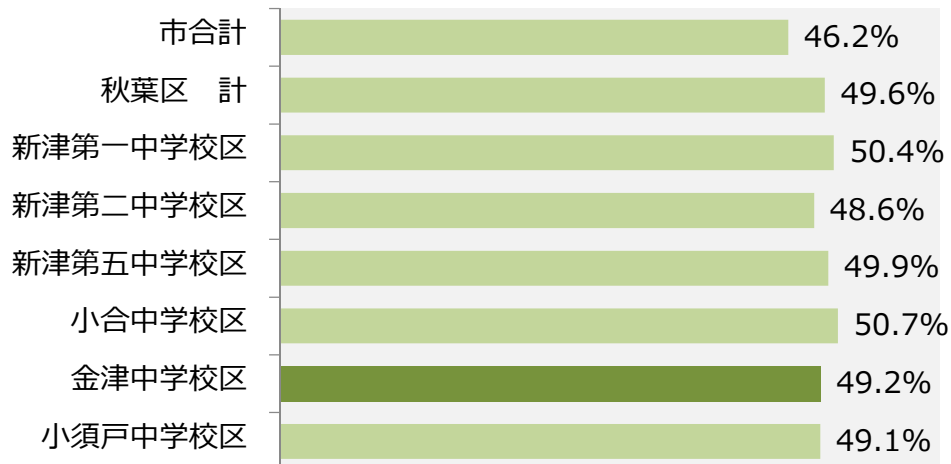


②高齢化率

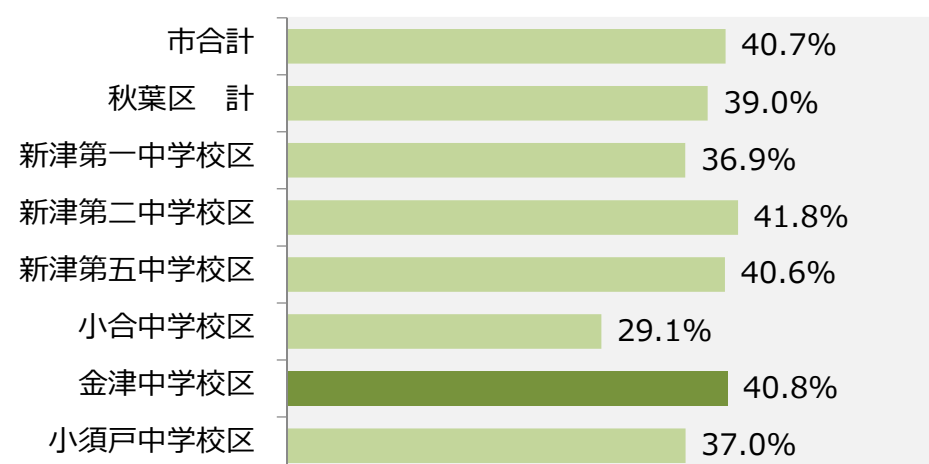


※平成27年9月末時点の住民基本台帳人口を基に算出

③血糖



④血圧（収縮期130mmHg以上）

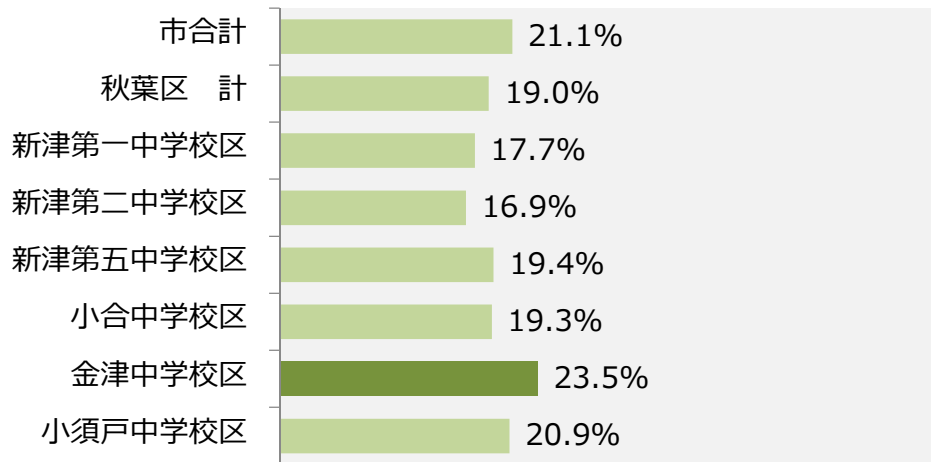


※国民健康保険・後期高齢者医療保険：HbA1c(ヘモグロビンエーワンシー)5.6%以上
協会けんぽ：空腹時血糖100mg/dl以上

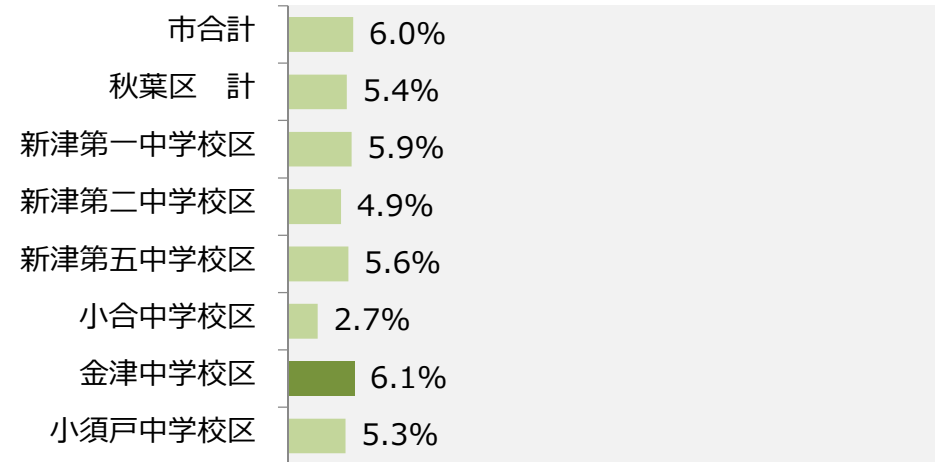
■ HbA1c（ヘモグロビンエーワンシー）
過去1～2か月間の血糖値の平均を反映し、糖尿病の診断にも使われている。

金津中学校区

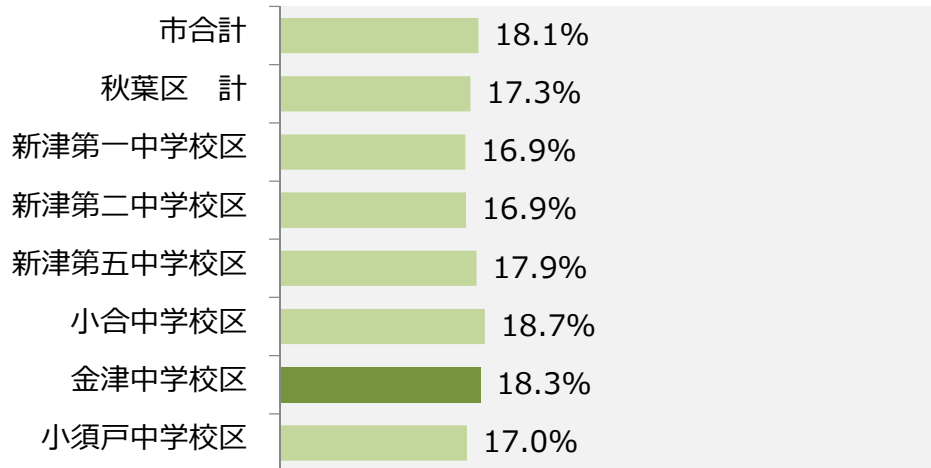
⑤脂質（中性脂肪150mg/dl以上）



⑥3項目(血糖・血圧・脂質)重複該当

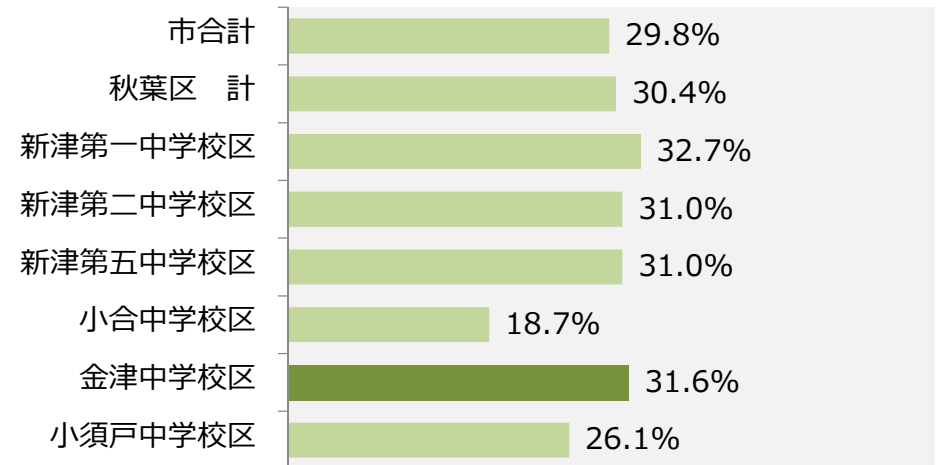


⑦喫煙



※現在、たばこを習慣的に吸っていると回答した人の割合

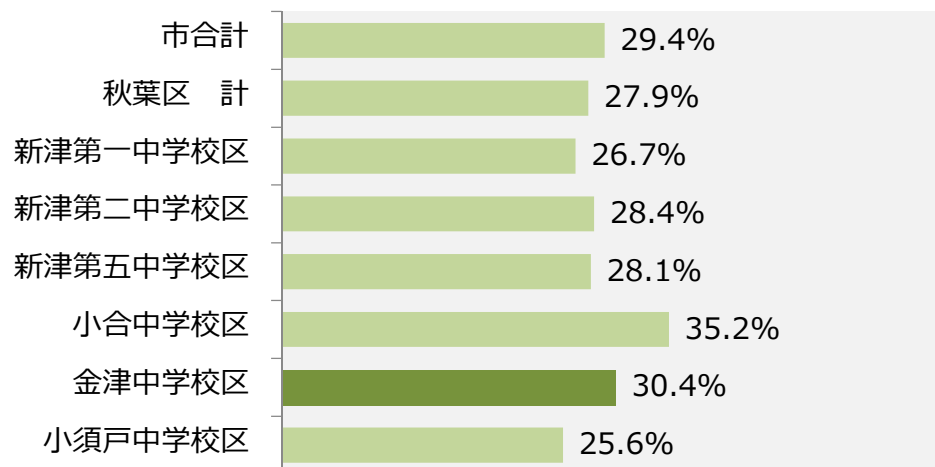
⑧運動習慣



※1日30分以上軽く汗をかく運動を週2回以上、1年以上実施していると回答した人の割合

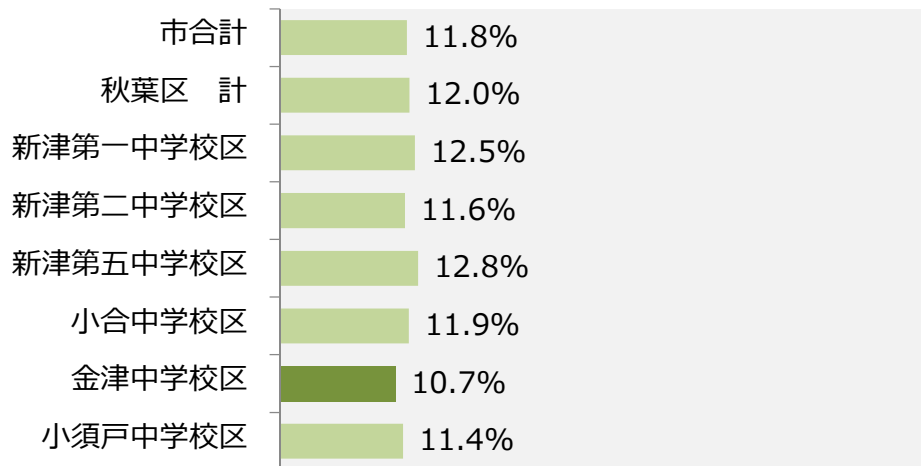
金津中学校区

⑨ 飲酒頻度（毎日）



※お酒（清酒、焼酎、ビール、洋酒など）を飲む頻度は【毎日】と回答した人の割合

⑩ 食習慣（夕食後の間食）



※夕食後に間食（3食以外の夜食）をとることが週に3回以上あると回答した人の割合

⑪ 患者予備群、治療放置群等（国保・後期高齢）

	健診 対象者数 (国保+ 後期) 人数	未把握		未通院 患者予備群 治療放置群	
		人数	構成割合	人数	構成割合
新津第一中学校区	7,962	2,377	29.9%	311	3.9%
新津第二中学校区	5,008	1,412	28.2%	184	3.7%
新津第五中学校区	6,627	2,135	32.2%	239	3.6%
小合中学校区	1,185	364	30.7%	37	3.1%
金津中学校区	2,586	747	28.9%	138	5.3%
小須戸中学校区	3,612	1,083	30.0%	140	3.9%
秋葉区 計	26,980	8,118	30.1%	1,049	3.9%

※平成27年度の国保+後期高齢の健診対象者（40歳以上）の状況

未把握・・・健診未受診及び生活習慣病の受診がない

未通院・・・健診において下記項目のいずれかに該当し、医療機関で

診察又は治療の必要があるが、同年中に生活習慣病の受診がない

・血糖：126mg/dl以上又はHbA1c6.5%以上

・血圧：140又は90mmHg以上 ・中性脂肪：300mg/dl以上

・LDLコレステロール：140mg/dl以上 ・HDLコレステロール：35mg/dl未満

■ LDLコレステロール

全身の組織へコレステロールを運ぶ働きをしているが、多すぎると動脈硬化をすすめるため、悪玉コレステロールとも言われる。

■ HDLコレステロール

善玉コレステロールともいわれ、血管壁に沈着したコレステロールを取り除き肝臓に戻す働きがあり、少ないと動脈硬化をすすめるが、多すぎても問題があるといわれている。

IV.施設データ

1.施設一覧

施設分類	施設名	施設基本情報			避難所	コスト・利用情報						分析領域 ※3		
		複合施設 ※2	建築年			使用面積 (㎡)	コスト 実績(全市平均)			利用率・利用量 実績(全市平均)				
コミュニティ施設	新津地区市民会館		S48	～	H13	1,749.58		470.0	円/人/回	(1,002.7)	26.6	%	(43.6)	2
コミュニティ施設	金津地区コミュニティセンター	A	H17			985.10	○	329.0	円/人/回	(928.0)	45.5	%	(26.3)	1
文化施設	新津美術館		H8	～	H9	4,723.81		755.0	円/人/回	(2,113.6)	593.8	人/日	(45.0)	1
文化施設	石油の世界館		S63	～	H3	1,348.00		755.0	円/人/回	(2,113.6)	41.2	人/日	(45.0)	2
文化施設	史跡古津八幡山弥生の丘展示館		H23			429.93		266.0	円/人/回	(2,113.6)	224.0	人/日	(45.0)	1
社会教育施設	金津地区図書室	A	H17			87.00	○	234.0	円/冊	(508.0)	0.7	倍	(1.9)	2
スポーツ施設	秋葉区総合体育館		H26			5,979.69	○	301.0	円/人/回	(794.9)	4.7	人/100㎡/日	(6.0)	2
スポーツ施設	新津武道館		S55			1,397.09	○	612.0	円/人/回	(794.9)	3.6	人/100㎡/日	(6.0)	2
レクリエーション施設	石油の里古代館(石油の里公園施設)		S63			247.00		65.0	円/人/回	(287.5)	91.5	人/日	(321.1)	2
レクリエーション施設	里山ビジターセンター		S63	～	H1	1,074.00	○	281.0	円/人/回	(287.5)	91.5	人/日	(321.1)	2
学校教育系施設	金津小学校		S44	～	H25	5,050.41	○	70.2	万円/人/年	(81.3)	21.1	㎡/人	(24.1)	1
学校教育系施設	金津中学校		H10	～	H11	5,969.11	○	81.5	万円/人/年	(88.5)	36.8	㎡/人	(28.5)	2
子育て支援施設	金津保育園		S61			840.00	○	86.8	万円/人/年	(106.4)	7.0	㎡/園児数	(8.6)	1
子育て支援施設	金津ひまわりクラブ					131.22	○	20.3	万円/人/年	(13.9)	4.4	㎡/児童数	(2.7)	4
子育て支援施設	にいつ子育て支援センター育ちの森		S48			413.15		1,570.0	円/人/回	(1,319.4)	15.3	人/100㎡/日	(22.6)	4

施設分類	施設名	施設基本情報			避難所	コスト・利用情報						分析領域 ※3	
		複合施設 ※2	建築年			使用面積 (㎡)	コスト 実績(全市平均)			利用率・利用量 実績(全市平均)			
保健施設	新津健康センター		H5		3,626.01	○	1,002.0	円/人/回	(3,762.6)	31.4	%	(24.7)	1
公営住宅	西島住宅		H11	～ H15	1,362.42			-			-		-
庁舎系施設	秋葉区役所		S63		11,328.94		22,245.0	円/人	(18,689.4)	47.0	㎡/人	(36.8)	4
産業研究施設	新潟市バイオリサーチセンター		H17		1,094.51			-			-		-

※1 平成28年度財産白書（平成27年度決算ベース）から引用

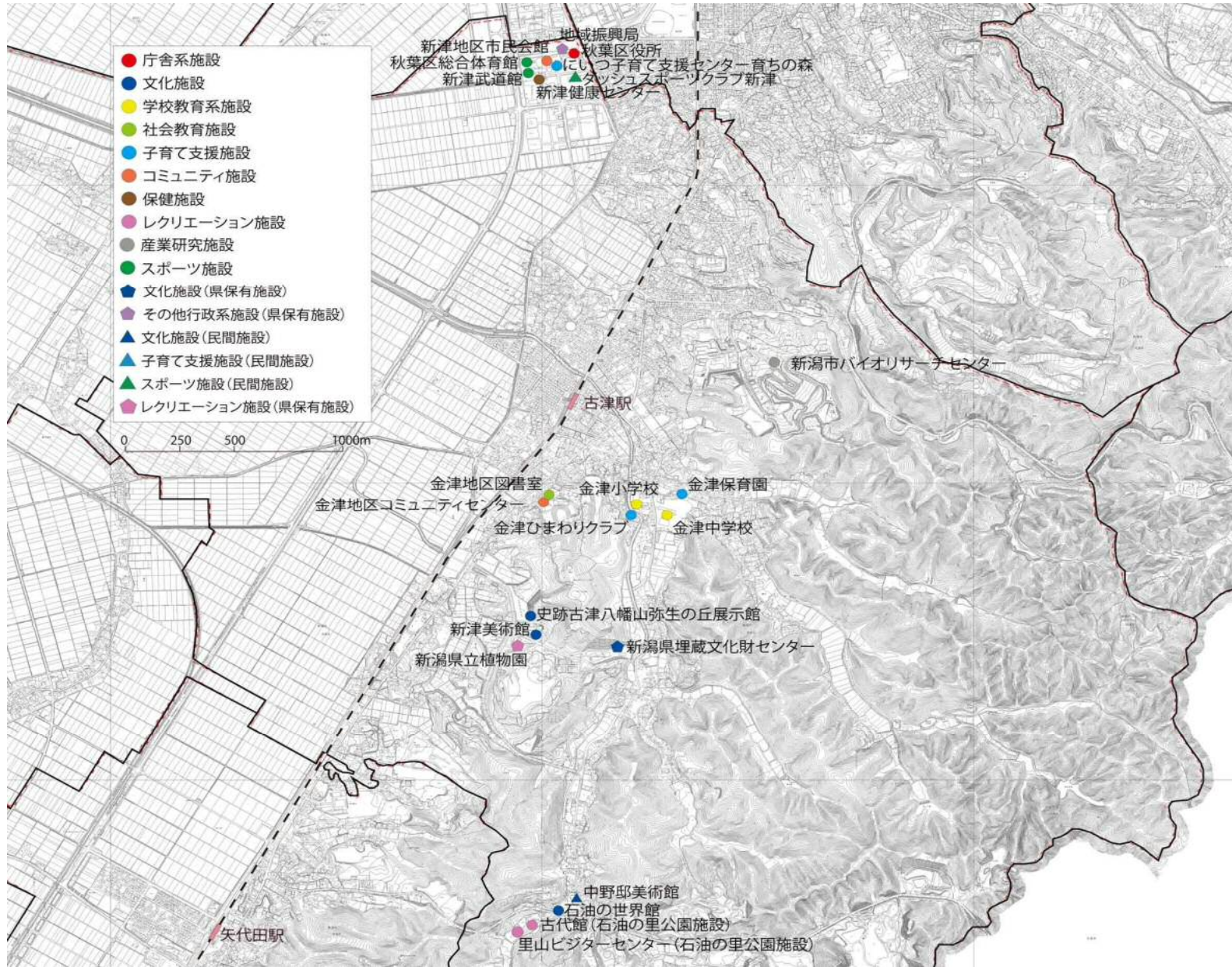
※2 アルファベットが同じものは複合施設

※3 分析領域の番号は下記項目のとおり

- 1.コスト状況、利用状況ともに相対的に良好な施設
- 3.相対的にコストが高いものの、利用が多い施設

- 2.相対的にコストは安いものの、利用が少ない施設
- 4.相対的に高コストかつ、利用が少ない施設

2.施設位置図



※校区の線は概図であり、細部については実際の通学区域と異なる場合があります。

※公営住宅は位置図には未掲載。

金津中学校区

小須戸中学校区 地域カルテ

秋葉区

H30年8月更新

I.地域の基礎データ

1.中学校区の概要

秋葉区の南西部に位置する、旧小須戸町のエリアです。

小須戸地区は、日本一のボケの産地として知られる花と緑の町で、信濃川沿いの親水公園など自然環境に恵まれた地域です。小須戸出張所、小須戸地区公民館を併設した小須戸まちづくりセンターが、地域住民の活動の拠点として、地域の中心にしっかりと根付いています。町屋と町並み保存および活用を目的としたまちづくり活動に取り組み、平成29年に「移住モデル地区<HAPPYターンモデル>」に指定されました。

山の手地区は、秋葉区の南側に位置し、国道403号線沿いで、にいつ丘陵を背に各自治会が南北に細長く連なって形成されています。新潟市の中で最も里山に近いJR駅がある地域でもあり、以前から住んでいる旧集落と新興住宅地が一つに団結しています。地域内のほぼ中心地に位置する小須戸地区ふれあい会館内は、地域の活動・防災の拠点として、大勢から活用されています。

コミュニティ協議会※

小須戸コミュニティ協議会

山の手コミュニティ協議会

小学校

小須戸小学校

矢代田小学校

※中学校区の区域とコミュニティ協議会の区域は必ずしも一致しない。

位置図



小須戸中学校

Ⅱ.人口

1.人口・世帯数(住民基本台帳)

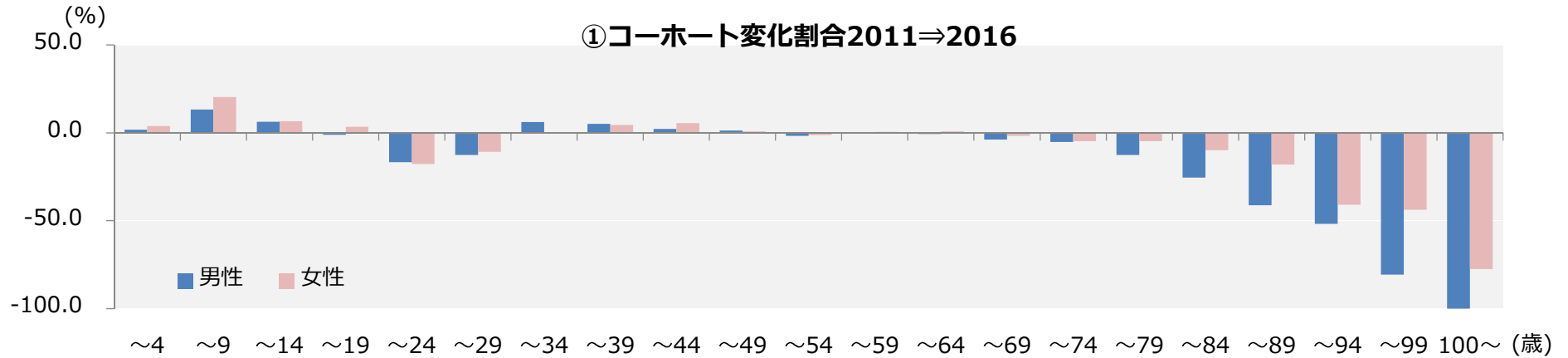
	総数	男	女	0～14歳	15歳～64歳	(人)		世帯数	1世帯当たり 世帯人員
						65歳以上	うち75歳以上		
2011年	9,976	4,809	5,167	1,197	6,131	2,648	1,452	3,206	3.11
		48.2%	51.8%	12.0%	61.5%	26.5%	14.6%		
2016年	9,769	4,695	5,074	1,106	5,666	2,997	1,583	3,412	2.86
		48.1%	51.9%	11.3%	58.0%	30.7%	16.2%		
増減	-207	-114	-93	-91	-465	349	131	206	-0.25
	-2.1%	-2.4%	-1.8%	-7.6%	-7.6%	13.2%	9.0%		

2.人口推計

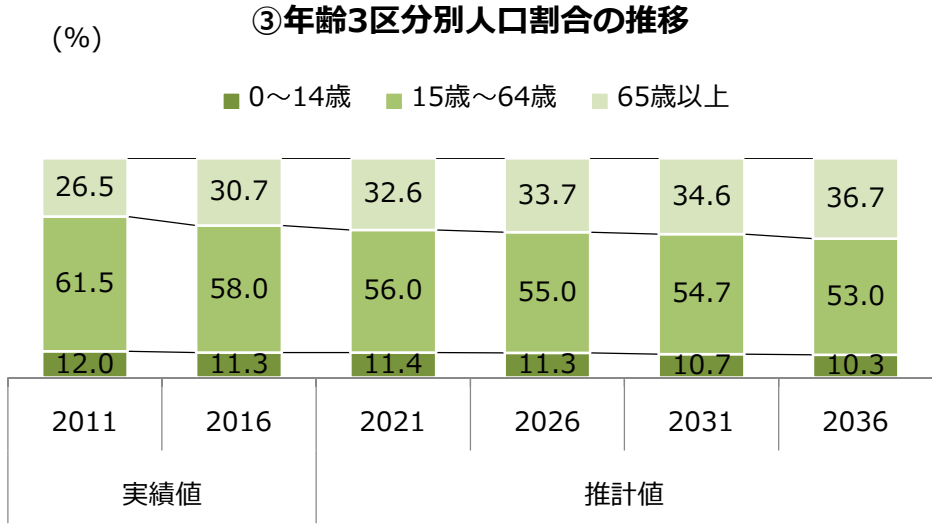
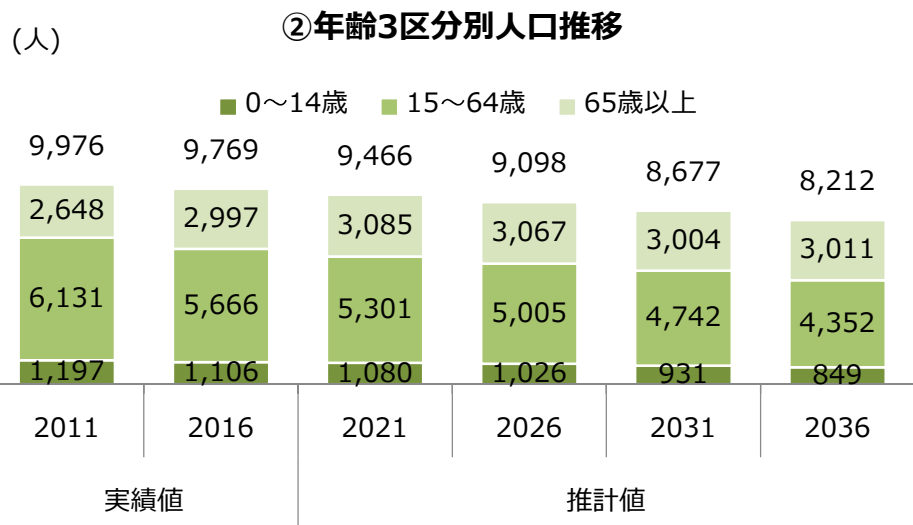
	総数	男	女	0～14歳	15歳～64歳	65歳以上	うち75歳以上
2021年	9,466	4,540	4,927	1,080	5,301	3,085	1,585
		48.0%	52.0%	11.4%	56.0%	32.6%	16.7%
2026年	9,098	4,357	4,740	1,026	5,005	3,067	1,808
		47.9%	52.1%	11.3%	55.0%	33.7%	19.9%
2031年	8,677	4,150	4,527	931	4,742	3,004	1,819
		47.8%	52.2%	10.7%	54.7%	34.6%	21.0%
2036年	8,212	3,915	4,297	849	4,352	3,011	1,752
		47.7%	52.3%	10.3%	53.0%	36.7%	21.3%
2016-2036 増減	-1,557	-780	-777	-257	-1,314	14	169
	-15.9%	-16.6%	-15.3%	-23.2%	-23.2%	0.5%	10.7%

- 人口は、2016年の9,769人から2036年には8,212人と15.9%減少する。
- 老年人口は、2021年に3,085人でピークを迎え、その後減少していくが、老年人口割合は30.7%から36.7%に増加する。
- 年少人口は、2016年の1,106人から2036年には849名となり、23.2%減少する。
- 生産年齢人口は、2016年の5,666人から2036年には4,352人となり、23.2%減少する。

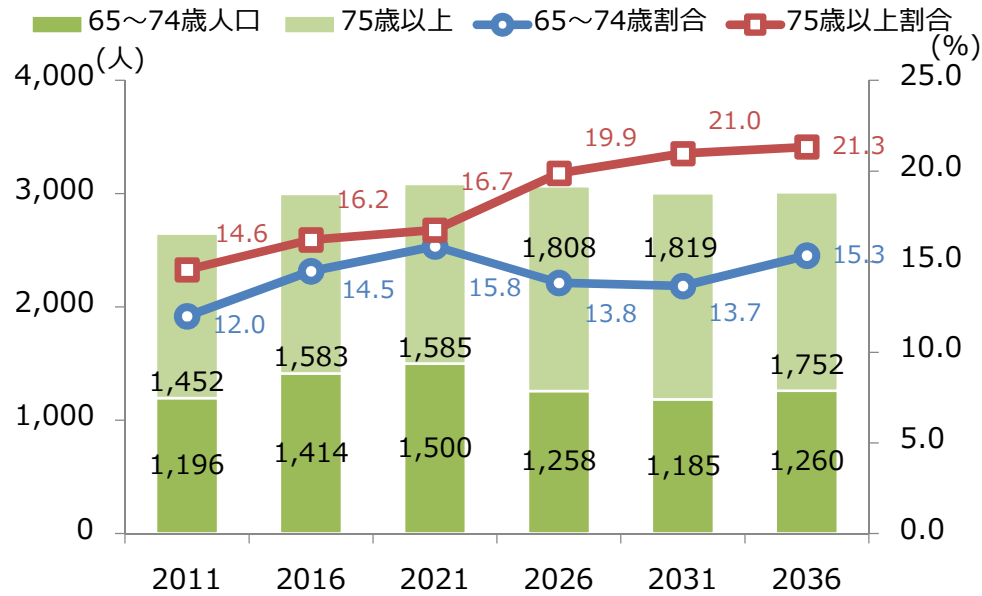
3.人口推計グラフ



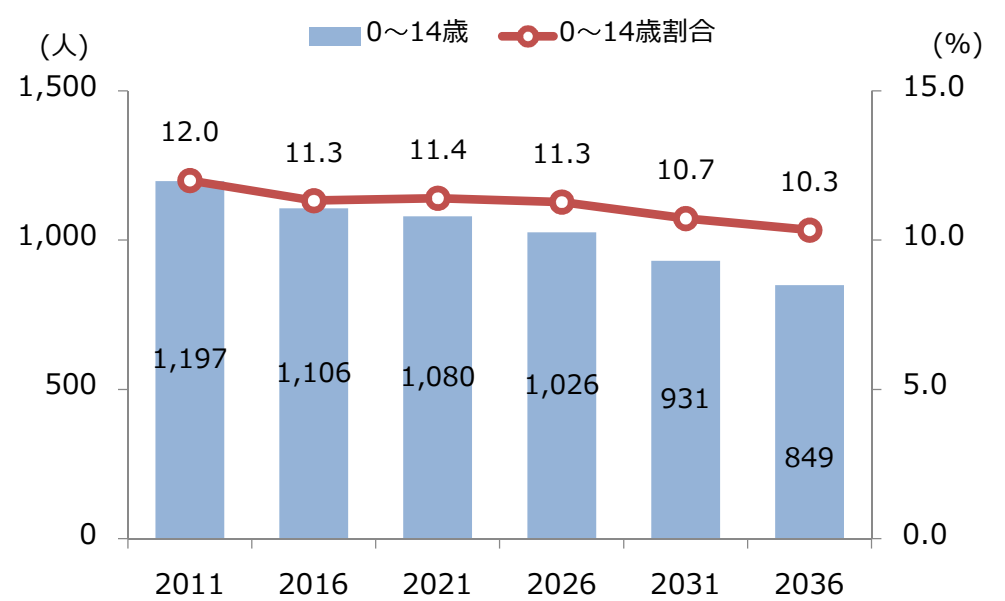
○就職に至る20~24歳の年代だけでなく、25~29歳の年代においても変化割合が1割以上のマイナスとなっている。
 ○30~34歳、35~39歳、40~44歳、45~49歳の年代がプラスとなっており、0~4歳、5~9歳、10~14歳、15~19歳人口のプラスの要因のひとつと考えられる。



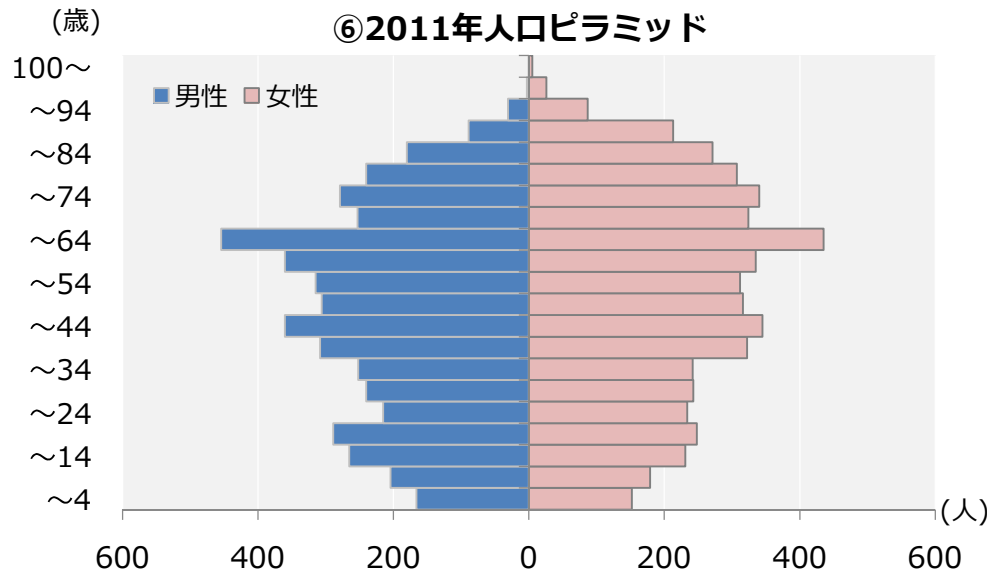
④ 高齢者人口の推移



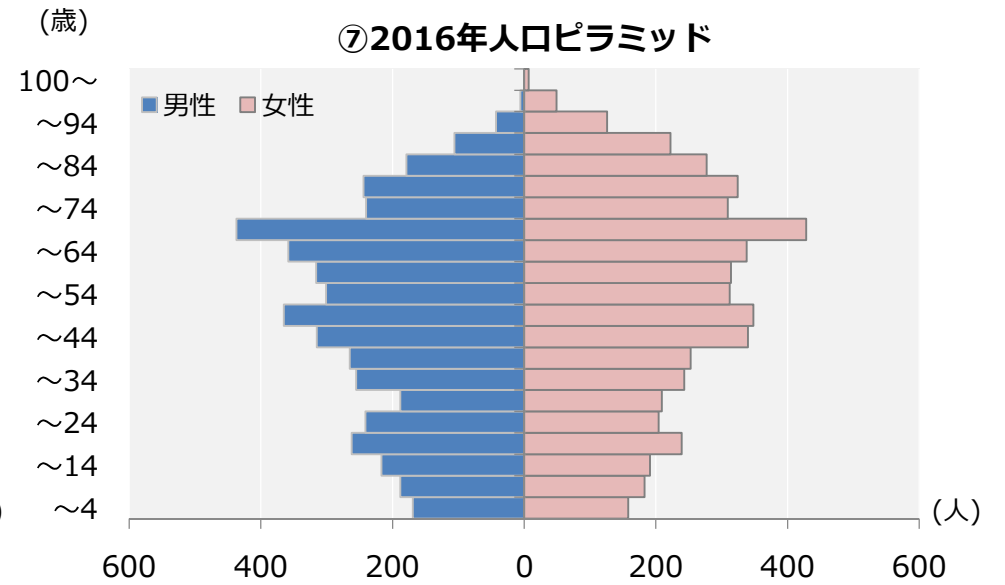
⑤ 年少人口の推移



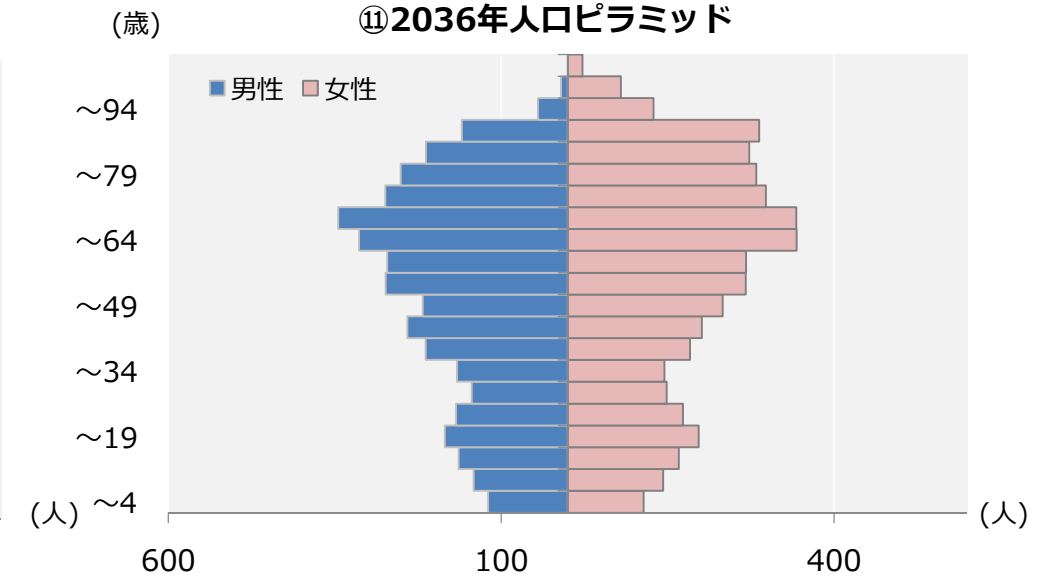
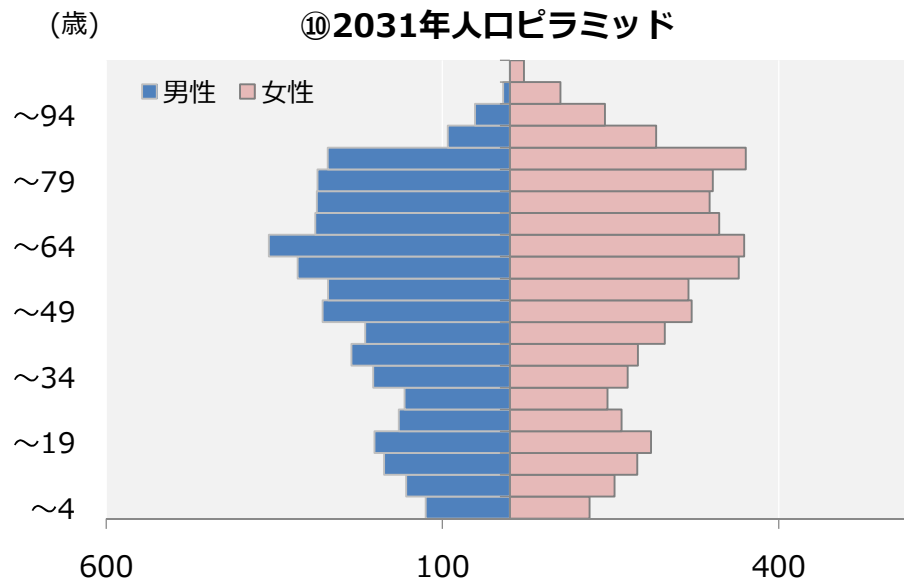
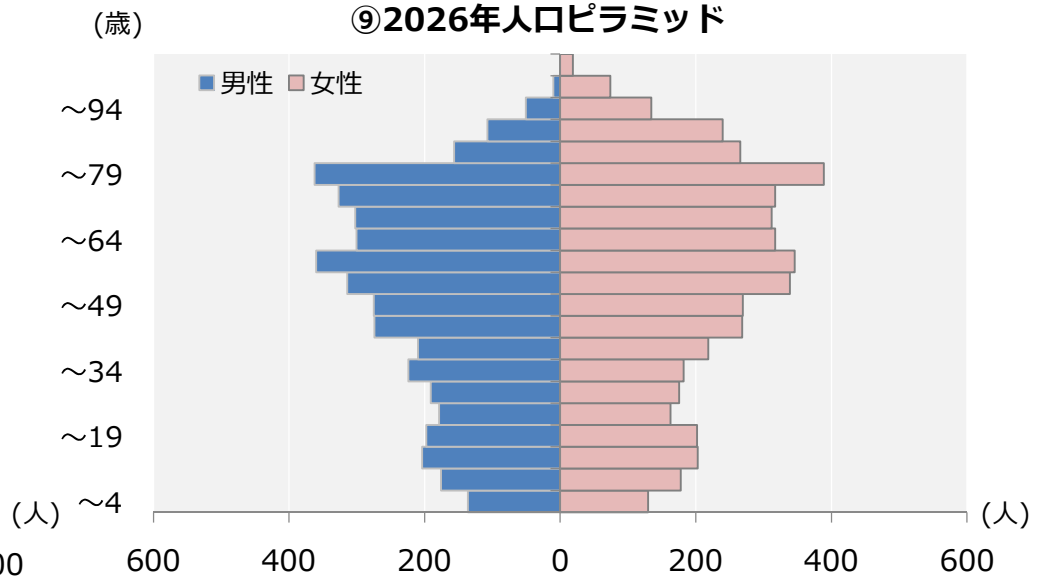
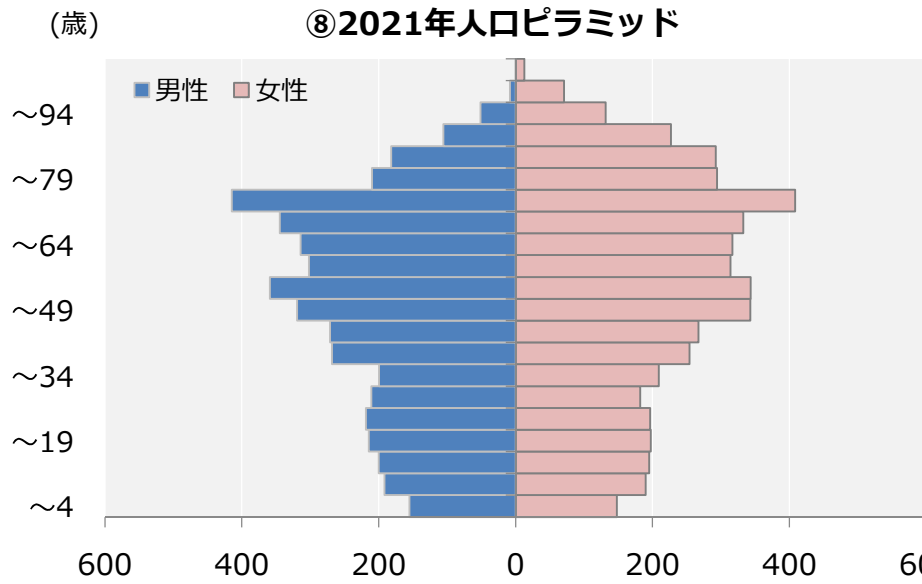
⑥ 2011年人口ピラミッド



⑦ 2016年人口ピラミッド

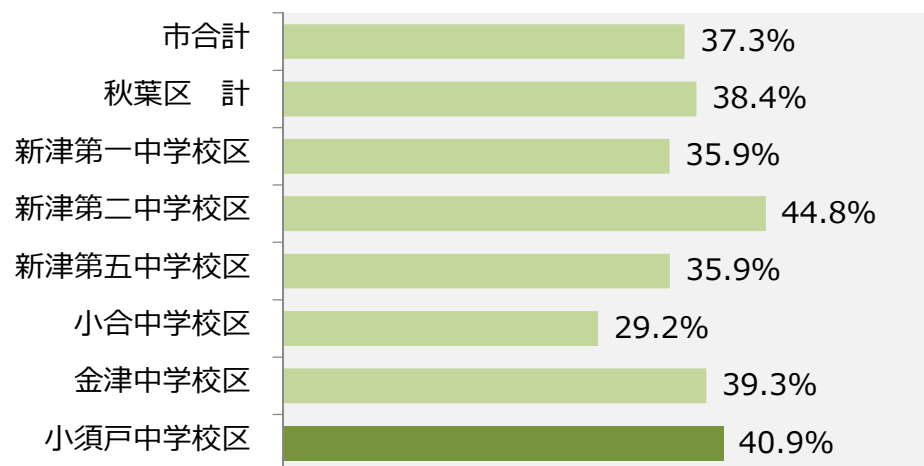


小須戸中学校区

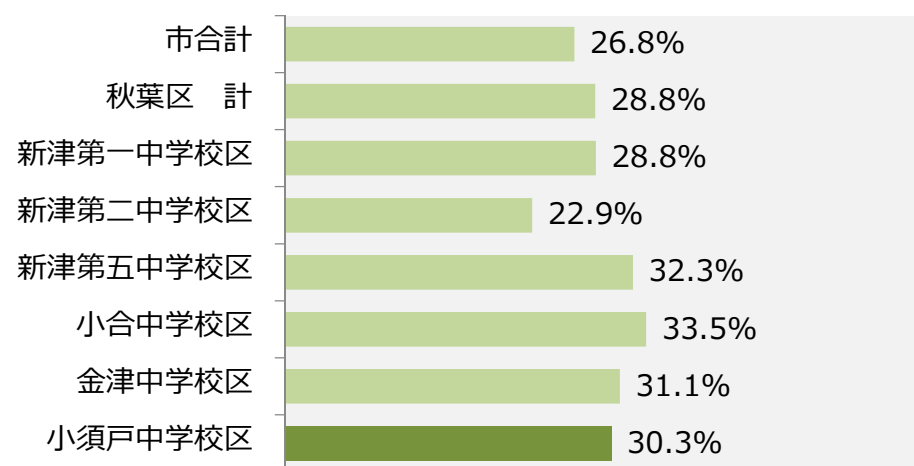


Ⅲ.健康データ（平成27年度新潟市国民健康保険・新潟県後期高齢者医療保険・協会けんぽ健診データ）

①健診受診率

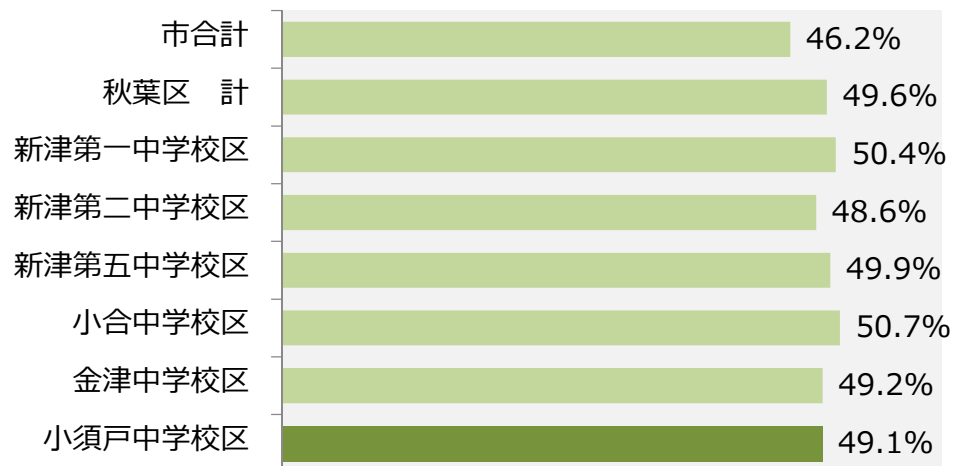


②高齢化率

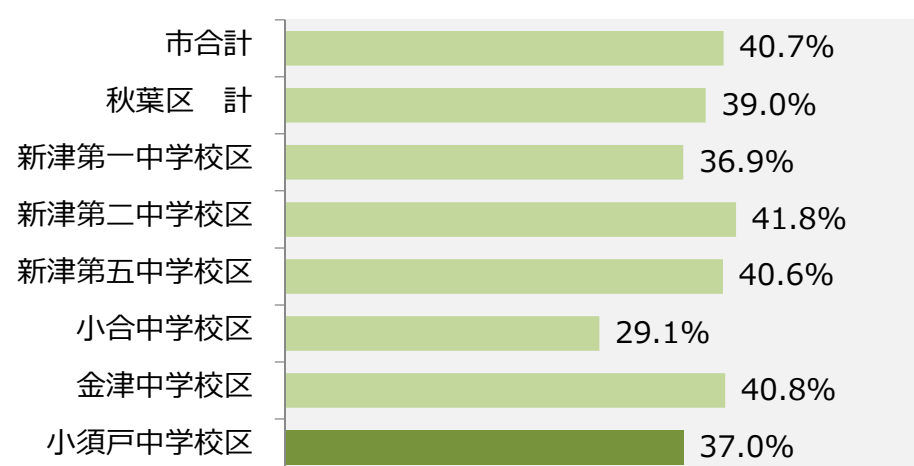


※平成27年9月末時点の住民基本台帳人口を基に算出

③血糖



④血圧（収縮期130mmHg以上）

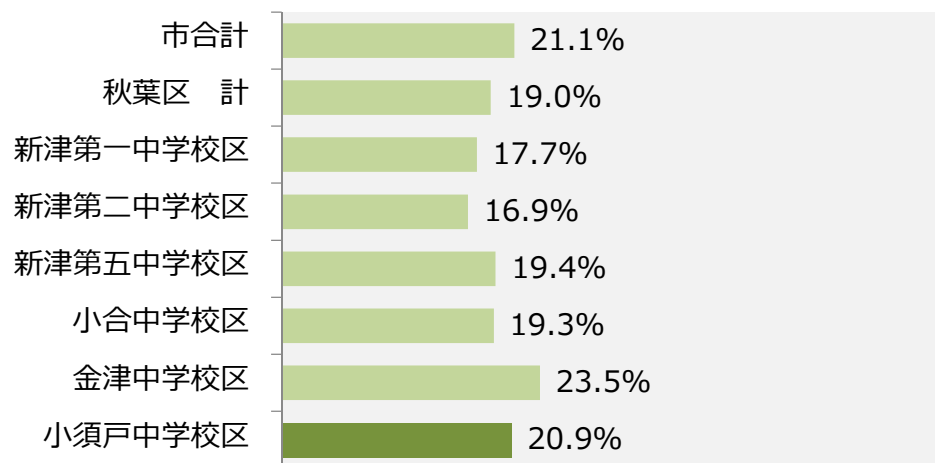


※国民健康保険・後期高齢者医療保険：HbA1c(ヘモグロビンエーワンシー)5.6%以上
協会けんぽ：空腹時血糖100mg/dl以上

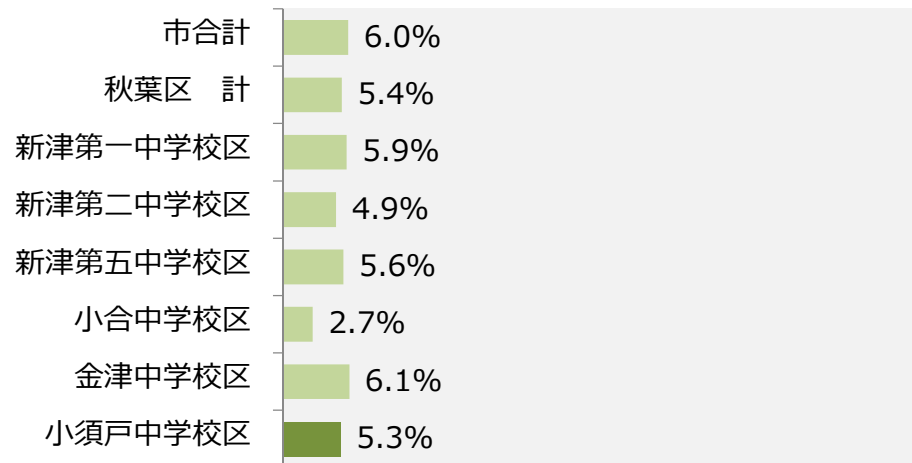
■ HbA1c（ヘモグロビンエーワンシー）
過去1～2か月間の血糖値の平均を反映し、糖尿病の診断にも使われている。

小須戸中学校区

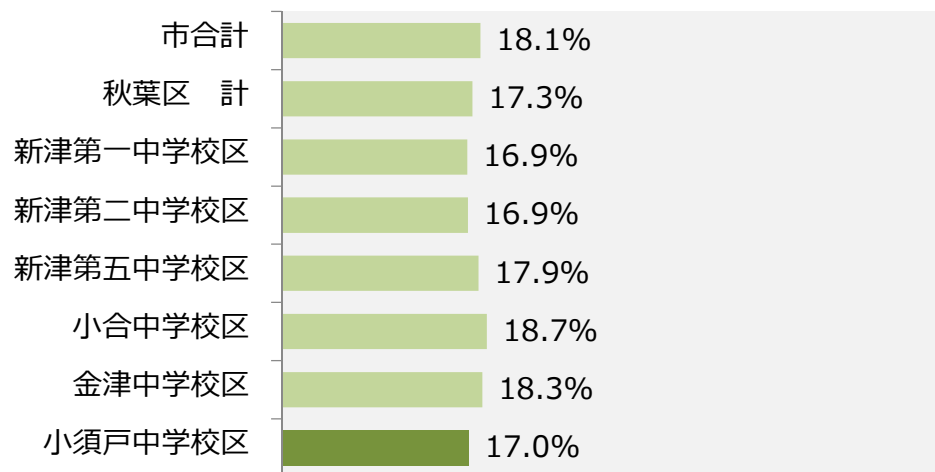
⑤脂質（中性脂肪150mg/dl以上）



⑥3項目(血糖・血圧・脂質)重複該当

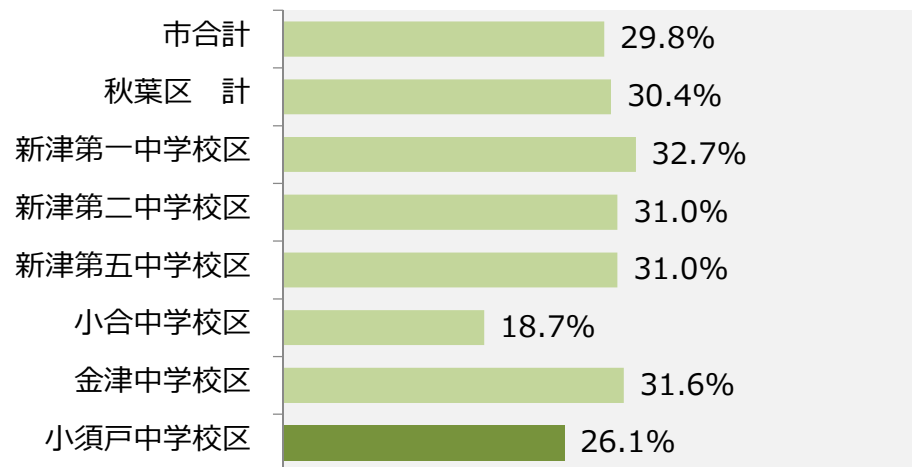


⑦喫煙



※現在、たばこを習慣的に吸っていると回答した人の割合

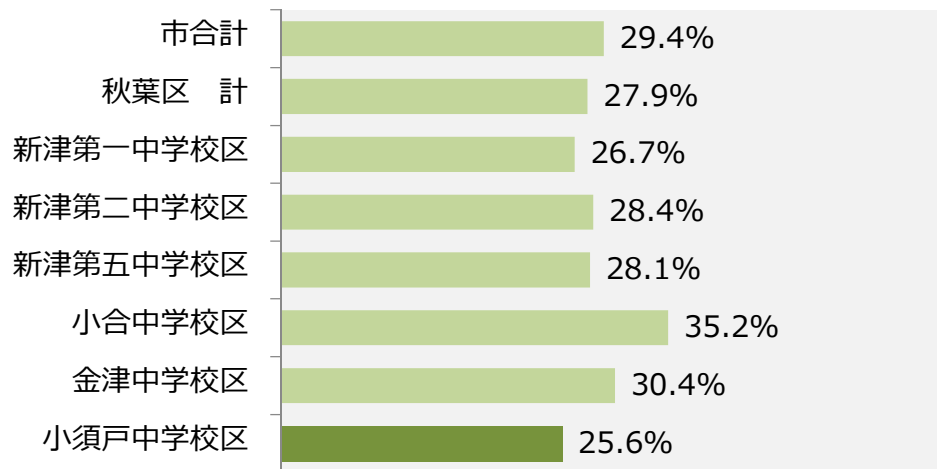
⑧運動習慣



※1日30分以上軽く汗をかく運動を週2回以上、1年以上実施していると回答した人の割合

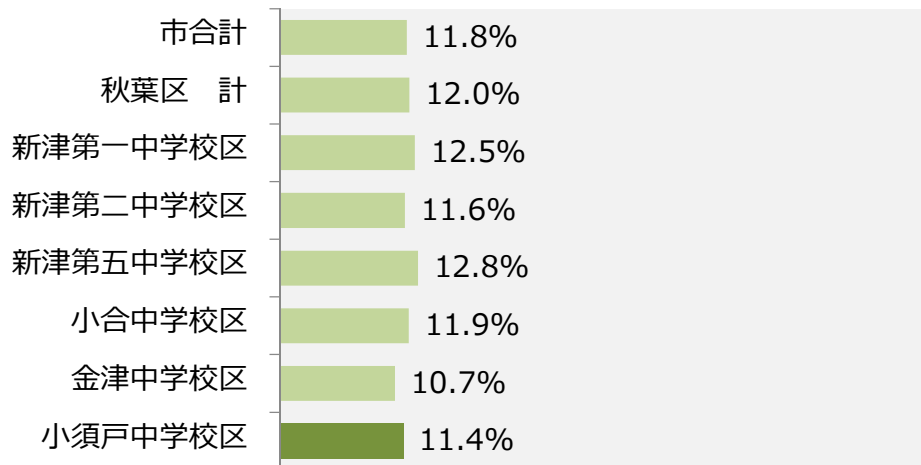
小須戸中学校区

⑨ 飲酒頻度（毎日）



※お酒（清酒、焼酎、ビール、洋酒など）を飲む頻度は【毎日】と回答した人の割合

⑩ 食習慣（夕食後の間食）



※夕食後に間食（3食以外の夜食）をとることが週に3回以上あると回答した人の割合

⑪ 患者予備群、治療放置群等（国保・後期高齢）

	健診 対象者数 (国保+ 後期) 人数	未把握		未通院 患者予備群 治療放置群	
		人数	構成割合	人数	構成割合
新津第一中学校区	7,962	2,377	29.9%	311	3.9%
新津第二中学校区	5,008	1,412	28.2%	184	3.7%
新津第五中学校区	6,627	2,135	32.2%	239	3.6%
小合中学校区	1,185	364	30.7%	37	3.1%
金津中学校区	2,586	747	28.9%	138	5.3%
小須戸中学校区	3,612	1,083	30.0%	140	3.9%
秋葉区 計	26,980	8,118	30.1%	1,049	3.9%

※平成27年度の国保+後期高齢の健診対象者（40歳以上）の状況

未把握・・・健診未受診及び生活習慣病の受診がない

未通院・・・健診において下記項目のいずれかに該当し、医療機関で

診察又は治療の必要があるが、同年中に生活習慣病の受診がない

・血糖：126mg/dl以上又はHbA1c6.5%以上

・血圧：140又は90mmHg以上 ・中性脂肪：300mg/dl以上

・LDLコレステロール：140mg/dl以上 ・HDLコレステロール：35mg/dl未満

■LDLコレステロール

全身の組織へコレステロールを運ぶ働きをしているが、多すぎると動脈硬化をすすめるため、悪玉コレステロールとも言われる。

■HDLコレステロール

善玉コレステロールともいわれ、血管壁に沈着したコレステロールを取り除き肝臓に戻す働きがあり、少ないと動脈硬化をすすめるが、多すぎても問題があるといわれている。

小須戸中学校区

IV.施設データ

1.施設一覧

施設分類	施設名	施設基本情報			避難所	コスト・利用情報						分析領域 ※3	
		複合施設 ※2	建築年			使用面積 (㎡)	コスト 実績(全市平均)			利用率・利用量 実績(全市平均)			
コミュニティ施設	小須戸まちづくりセンター	A	H26		1,548.49	○	367.0	円/人/回	(928.0)	22.3	%	(26.3)	2
コミュニティ施設	小須戸地区ふれあい会館		H2		1,277.00	○	378.0	円/人/回	(928.0)	11.8	%	(26.3)	2
コミュニティ施設	新保地域研修センター		S56		331.00	○	310.0	円/人/回	(928.0)	5.8	%	(26.3)	2
コミュニティ施設	鎌倉地域研修センター		S62		256.30	○	519.0	円/人/回	(928.0)	4.1	%	(26.3)	2
社会教育施設	小須戸地区図書室	A	H26		100.40		414.0	円/冊	(508.0)	1.1	倍	(1.9)	2
スポーツ施設	小須戸体育館		S44		2,171.00	○	219.0	円/人/回	(794.9)	2.5	人/100㎡/日	(6.0)	2
スポーツ施設	小須戸武道館		H26		598.54	○	1,320.0	円/人/回	(794.9)	5.7	人/100㎡/日	(6.0)	4
保養施設	小須戸温泉健康センター		H7	～ H8	1,048.30	○	341.0	円/人/回	(287.5)	271.4	人/日	(321.1)	4
学校教育系施設	矢代田小学校		S53	～ S58	4,216.26	○	65.7	万円/人/年	(81.3)	18.0	㎡/人	(24.1)	1
学校教育系施設	小須戸小学校		S60	～ S61	6,573.61	○	75.7	万円/人/年	(81.3)	28.3	㎡/人	(24.1)	2
学校教育系施設	小須戸中学校		S38	～ H25	6,596.80	○	74.5	万円/人/年	(88.5)	25.5	㎡/人	(28.5)	1
学校教育系施設	小須戸幼稚園		S47	～ H7	695.54	○	72.4	万円/人/年	(74.9)	17.8	㎡/人	(16.4)	2
子育て支援施設	小須戸保育園		S58	～ H12	1,179.00	○	84.1	万円/人/年	(106.4)	8.8	㎡/園児数	(8.6)	2
子育て支援施設	矢代田保育園		H21		667.66	○	101.4	万円/人/年	(106.4)	6.2	㎡/園児数	(8.6)	1
子育て支援施設	小須戸ひまわりクラブ		S54		117.59		18.4	万円/人/年	(13.9)	3.3	㎡/児童数	(2.7)	4
子育て支援施設	矢代田ひまわりクラブ		H20		115.93		18.2	万円/人/年	(13.9)	3.4	㎡/児童数	(2.7)	4
子育て支援施設	矢代田保育園子育て支援センター		H21		100.20		1,985.0	円/人/回	(1,319.4)	22.6	人/100㎡/日	(22.6)	3

小須戸中学校区

施設分類	施設名	施設基本情報			避難所	コスト・利用情報						分析領域 ※3		
		複合施設 ※2	建築年			使用面積 (㎡)	コスト 実績(全市平均)			利用率・利用量 実績(全市平均)				
高齢者福祉施設	小須戸老人福祉センター		S52	～	H5	749.02	○	934.0	円/人/回	(806.6)	4.3	人/100㎡/日	(12.7)	4
高齢者福祉施設	老人デイサービスセンター小須戸		H7			636.35			-			-		-
公営住宅	小須戸本町住宅		H2	～	H3	1,032.38			-			-		-
公営住宅	小須戸文京町住宅		S51	～	H23	5,648.05			-			-		-
公営住宅	小須戸大川前住宅		H9			1,618.15			-			-		-
公共用産業施設	花とみどり館（小須戸地区花とみどりのシンボルゾーン）		H4	～	H18	2,549.29		78.0	円/人/回	(287.5)	1,102.4	人/日	(321.1)	1
庁舎系施設	小須戸出張所		H9			633.82		5,543.0	円/人	(7,358.9)	63.4	㎡/人	(151.9)	1
教育系施設	小須戸学校給食センター		H6			872.65		332.0	円/食	(317.8)	0.7	食数/㎡/日	(1.0)	4

※1 平成28年度財産白書（平成27年度決算ベース）から引用

※2 アルファベットが同じものは複合施設

※3 分析領域の番号は下記項目のとおり

- 1.コスト状況、利用状況ともに相対的に良好な施設
- 3.相対的にコストが高いものの、利用が多い施設

- 2.相対的にコストは安いものの、利用が少ない施設
- 4.相対的に高コストかつ、利用が少ない施設

2.施設位置図



※校区の線は概図であり、細部については実際の通学区域と異なる場合があります。

※公営住宅は位置図には未掲載。

小須戸中学校区